

# 成蹊會誌



2008.7 No.107 SEIKEI ALUMNI ASSOCIATION



# 第31回 成蹊桜祭

平成20年4月6日  
於：成蹊学園内



今年も4月第一日曜日にあたる4月6日に第31回日に第  
蹊桜祭が開催されました。  
例年よりも1週間早い桜開花宣言だったので当日たのもど  
お天気は勿論のこと桜が残っているか心配だったので配だつ  
すが、開花後に一時気温が下がったこともあり綺麗もあり竹  
桜の元での開催となりました。  
今回は新実行委員長が就任して最初の年なので昨年なの  
のメインステージA、Bに加え第3ステージ、第4ステージ、第  
ステージを設けて規模も拡大しての開催となりました。ま  
それに伴いモダンジャズグループなど新たな参加者も参  
迎えることが出来たこともあり来場者は過去最高の過去最  
となりました。  
オープニングはお馴染み成蹊小学校太鼓部の和太鼓部の  
で始まり続いて今年より実行委員長に就任した高橋任した  
一委員長、さらに成蹊会の相川一成会長が挨拶をなが挨拶  
しました。その後メインステージでは旧制高等学校制高等  
志、OBオーケストラ、軽音楽OBバンド、コンパド、コン  
サウンズOB、ウインドオーケストラOB・OG、B・O・O  
AM「Z」、競技ダンス部、応援指導部チアリーダチア  
部、ジャズライブ、ベンチャーズバンドとフォーセとフォー  
ンツなどお馴染みのOB・OGを中心とした演奏やした演奏  
技が披露されました。  
1号館前の第3ステージではモダンジャズグループ、ヤズグル  
と軽音OBバンドの演奏が行われました。お天気も。お天気  
く桜も綺麗で椅子やテーブルもあるので野外JAZ野外JAZ  
ラブのような雰囲気で大勢の方が楽しんでいました。ま  
4号館内に設けられた第4ステージでは小学校のほ小学校  
の合奏が行われ普段接することが少ない和楽器に触和楽器に  
る時間もあつたようです。続いて現役の混声合唱団混声合唱  
グリックラブOBなどの美声を聞くことができ、さかでき、  
にメインステージに続くJAM「Z」の演技披露が演技披露  
りました。  
史料館では写真会の写真の展示があり素晴らしい素晴らしい  
真を見ることができました。卒業生のみならず入学ならず入  
希望する方にも人気がある構内を案内するキャンパスキャン  
ツアーも行われました。一昨年より中学校入試相談校入試  
メントも出店されるようになりこちらにも多くの人も多くの  
訪れていました。  
野外での催しでは毎年人気のお祭り広場やダンス場やグ  
してソーラーカーがあります。今年はお天気も良く天気も良  
電が充分出来たようソーラーカーもスピードも出ビード  
いたようでした。エアートランポリンも大勢の子供大勢の  
で賑わい、現役犬・引退犬の両方が来場した盲導犬した盲  
行訓練にも大勢の方が参加してくださいました。いまし  
更に記念撮影で人気を集めている着ぐるみも例年よりも  
ではラグビー部やアメフト部の男子部員が中心だつが中心  
のですが今年可愛い女子が担当してくれました。れまし  
庭では桜の元で茶道部の野点が行われ母校で美味し校で美味  
お茶を味わった方も大勢いらっしゃったようです。よう  
馬場では毎年午前中に武蔵野市の障害者向けボラ者向け  
ティアとしてサラブレッドの乗馬体験をしています。いま  
これは大変人気があり武蔵野市からも感謝されています。  
す。一般の乗馬体験サービスは午後から毎年乗れて毎年  
い方が大勢おられる為、今年から新しい試みとして試みとし  
門業者からポニー2頭をレンタルして午前中からポニー中  
乗馬サービスを開始しました。これもサラブレッドサラブレ  
に並んで大人気となり大勢の方に楽しんでいただくいた  
とが出来ました。  
馬術部は生き物を管理しているので日中は勿論の中は勿  
と毎晩部員が交代で泊まって24時間馬の世話をして世話を  
ますが、泊まるのは男性部員のみなので部員一人当部員一  
り一週間に3〜4泊しています。さらに10頭以上の10頭以  
サラブレッドの餌代を捻出する為に部員全員で1ヶ全員で  
泊り込みのバイトをすることなので、今年では、今  
代の足しになるように蹄鉄の販売をしたところ幸運ところ  
呼ぶとのことではほぼ完売だったようです。  
桜祭は年々規模が大きくなるに連れてボランティア  
として参加する卒業生や学生を多く必要とするようとな  
なつてきています。出店に伴う設営は勿論のことゴ論のこ  
の分別には膨大な予算と人手が必要とされており、れとお  
り箸と竹串は他のゴミと分別してはならないのならば  
すが一緒にしていることが多く終了後に現役の学に現役  
の皆さんが中心となつて再分別をしているのが現状の  
す。さらに万一の事故に備えてライフセービング部  
部員もすぐに駆けつけられるように待機しています。ま  
お酒の飲みすぎでライフセービング部にお世話になお世話  
た大先輩がおられ、学生の対処方法の見事さと母校事さと  
飲みすぎた大先輩の姿の両方に驚いた今回の桜祭で回の桜  
た。



# 成蹊音楽祭



→詳しくは  
本文10ページへ





随想

# お国自慢

致道博物館▶  
(西田川郡役所 国重要文化財)



◀松ヶ岡開懸場内  
映画オープンセット

▶詳しくは  
本文14ページへ

国名勝酒井氏庭園▶



◀松ヶ岡開懸場大蚕室



# ホームページのご案内!

成蹊会ホームページ

<http://alumnet.ne.jp/>



社団法人  
**成蹊会**

SEIKEI ALUMNI ASSOCIATION

---

**成蹊会行事詳細**

INFORMATION

- お知らせ **NEW**
- 結果報告
- 訃報

CONTACT

- 住所変更届け
- 入会・会費納入
- 成蹊会への寄付申込
- 記事掲載希望
- お問い合わせ

NETWORK

- 同窓会
- 地域成蹊会
- 職域成蹊会
- 各種OB会
- その他の集まり

ASSOCIATION

- 成蹊会沿革
- 組織の説明
- 事業の内容
- 会費について
- 業務・財務資料

成蹊関連リンク集

- サイトマップ
- 本サイトのご利用にあたって

---

**What's New**

10/3 訃報のページを更新いたしました。  
第27回「三重成蹊会」開催のご案内

9/28 訃報のページを更新いたしました。

9/26 地域成蹊会のページに八王子成蹊会の連絡先を追加掲載いたしました。

9/25 フォトギャラリー成蹊の四季を公開いたしました。  
「成蹊の秋」を掲載いたしました。

---

入会・会費納入 | 成蹊会への寄付申込

100周年記念 卒業生 | 「建学の日」エッセイ・ポスター募集

いのちのネットワーク A-net

---

応援します! 同窓会

成蹊の歌

- 校歌の歌詞カードpdf
- PC用壁紙・待受画面館

▼以下の2コーナーへのアクセスにはパスワードが必要です。

成蹊写真館

成蹊会掲示板

- 掲示板参加登録
- 会員規約
- 成蹊会の個人情報保護方針
- 各種証明書の申請について(成蹊大学履修課)

成蹊倶楽部

---

■成蹊会事務局 〒180-8633 武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1 TEL 0422-51-2244  
E-mail: seikeikai@jim.seikei.ac.jp  
※掲載写真及び解説は成蹊学園広報課の許可を得て掲載しております。

学校法人 成蹊学園

Copyright (C) 2007 Seikei Association. All Rights Reserved.

写真館の写真が大きくなりました。

校歌  
心力歌  
の印刷ができます。

同窓会開催のお手伝いをします。



## 成蹊学園の歌

- 校歌
- 心力歌

## 成蹊学園の歌

## 巻頭 成蹊桜祭／お国自慢／成蹊音楽祭

### 対談 中高一貫教育の現状を聞く

中学・高等学校校長 × 中学・高等学校同窓会長  
谷 正紀 × 相賀昌宏

### 就任挨拶

法学部長に就任して……………西崎 文子／7

### 特別寄稿

成蹊音楽祭と小学校器楽クラブ……………小石原耕作／10

### 随想

お国自慢……………酒井 忠久／14  
四半世紀めの坂上敦子……………小林いずみ／16  
徳島成蹊会立ち上げ奮闘記……………横田 賢二／18  
東京マラソン……………清水 和久／19  
べっぴん 莊野美術館にご来館を……………莊野 敏子／20

### 同窓のつどい

学校・年次会のつどい／26

小学校49回卒業合同クラス会

止水会

稲垣友美先生を偲ぶ会

宇野ゼミ同窓会

大学卒業20周年

'75年卒業中学Cクラス会

高校卒業40周年

成人を祝う会

高校7回同窓会

はちの子会（上期）

清忠会

小学校卒業10周年

小学校昭和46年度卒業生同窓会

大学卒業10周年

小学校同窓会委員会

高校卒業50周年

桜祭船越会

体育会・文化会・OB会・趣味のつどい／33

成蹊柔道部八十年記念集会

籠球部80周年の集い

第4回英語会OB総会

成蹊テニス会

準硬式野球部OB総会

大学ラグビー部甲南大学定期戦

ラグビー部卒業生を送る会

体育会蹴球部

業界・企業をつどい／36

旧三井海上成蹊会

三井生命成蹊会

成蹊VZ会

第10回櫻会

地域のつどい／38

上海成蹊会

オーストラリア・クイーンズランド成蹊会

秋田成蹊会

渋谷成蹊会

三重成蹊会

愛媛成蹊会

兵庫成蹊会

成蹊会会長が見た今年の卒業式・入学式／8

成蹊ラビリントス／13 表紙絵の言葉／21 大久保捨蔵先生を偲んで／22

働く成蹊人／24 小学校同窓会会長に就任して／25

叙勲／25 予告／41 第85回枯林忌／42

物故会員／43

新聞・雑誌コラム／44

地域同窓会連絡先／49

退職挨拶／50

学術報告助成事業研究助成報告の要旨／52

寄付金芳名録／59

成蹊会事業報告／60

成蹊会活動報告／63

表紙の題字は故上條信山先生、絵は岡田博史（文・44年）

出博史

成蹊会活

台連絡先

目／52

云 ア・クイー

い／38

成蹊会

のつどい

部

部OB

部



# 中高一貫教育の現状を聞く

中・高等学校長

谷 正紀 (高36年)

× 相賀昌宏 (高44年)

中・高同窓会長

司会・相川一成氏 (政経37年)

相賀 私は中学の何年卒でしたっけ。  
相川 あなたは、四十一年に中学、四十四年に高校卒業でしょ。谷校長は三十六年卒。

## 成蹊の中高一貫教育とは……

相賀 入ったところから「中高一貫教育」という言葉をよく聞いていたけれども、それ何なんだろうと思いつつながら卒業しちゃったので。

谷 その頃キャンパスは一緒になっていましたね、もう。

相賀 ええ、そうですね。

谷 私のころはまだ別だった。

相賀 現在の「中高一貫教育」と言った場合、何を指して、また何を指すのか、具体的に一度聞いておきたいなと。ひとりに聞かれても、僕も説明ができませんと困るので。

谷 一貫教育というのは、枠組みで捉えます。中学と高校が、制度的に一つ。最近都立でもできましたね。「中等教育学校」という名前です。  
相賀 「制度的」というのは……。

谷 いわゆる卒業は、中学から六年間

を一つの学校としてやるという事。それ以外で「中高一貫」と言うと、基本的に高校のときに入試をしない。中学校で始めて、高校卒業まで一緒に教育するという、これが本来の言い方だと思うんですね。そうはいっても、一部中学で欠けてくる人を高校で補充するということがあります。

もつと広義の、「一貫校」という表現は、中学・高等学校が制度的には独立しており、六年間でカリキュラムをどうしていくかとか、六年間でどう指導していくか、そういう教育を行っている学校という意味で「中高一貫」という表現がある。

今言った一番最後が一番広く捉えられている状況です。今の成蹊もこれに相当します。

相賀 昔、僕が中学一年のときに、化学は先生の手作りの教科書で、周期律表まで教えられました。本来のカリキュラムの中では、化学はたしかもつと上から習うんじゃないかなと思うんですが、

すが。

谷 指導要領も、十年に一度ぐらいの割合で変わっていますから、下でやったものが高校になっちゃうとか、昔小学校でやったのを中学校で教えるとか、変わってきている。

相賀 高校の先生と中学の先生がある程度話し合って、これを先に教えておいてくれとかいうことも一貫教育の一つの考え方かなと。

谷 そうですね。ただ、あまり大きくそれをやると、高校から入ってくる人がついていけないと思います。

相賀 そうなんですか。

谷 学校によっては、高校からはほとんど採らない。あるいは、高校から入った子は別クラスでやる。こういう学校は結構あるんですね。東大あたりを指す場合には明らかに中学で先取りして、最後のほうは受験を目指した勉強にするとすることは、多くありますね。

成蹊の場合は、どちらかというとそういう意味での前倒しは、そんなに積極的にはしていない。ただ、もちろん六年間にどう教えるかというのは、中学の先生も高校の先生も一緒になって話し合いをしているわけです。それとともに、成蹊の場合ですと、中学から「理科」という言い方ではなくて、物理、化学、生物、地学とか、分かれていますから、深さのほうは深いという

教え方になっていると思いますね。

高校から入ってきた生徒さんのなかには、中学時代に習わなかったものもあるかと思いますが、進み具合があまり大きく違うようなことはないですね。

相川 指導要領というのは公立対象、私立対象、一緒に出るんですか。

谷 文科省から一本です。

相川 公立はかなり縛られますが、私学も同様ですか。

谷 例えば世界史をやらなかったとか、こういうのは厳しいです。指導要領でこういうものを教えないと言っているのに、教えないでほかのことをやっている、まずいけれども、必ずしも早く知ってはいけないということはないはずですよ。

そういう意味では文科省が特に言っているのが、あれは指導内容の最低限度。一つのひな型にして、先生が工夫したり、そこを核にして、それは絶対教えるけれども、幅を広くするとか、ちよつと深く教えるとかは、裁量でできる。これは抜かしてはいけない、というのは明らかにあって、いわゆる高校の未履修問題が出たのがそこなんです。相川 大学の入試につながる科目は除いていくということで問題になりましたね。成蹊はそういうことはないのですか。

谷 そういうことはありません。成蹊はそういうことはあ

は幅広いですから、授業時間数も、土曜もあり多いですから、未履修ということはありませんね。むしろ、先ほど言ったように、細かく一つの教科が分かれている。「理科」と一括りにしない。それから書道なども、中学の指導要領では一応国語の分野の一つになっていますけれども、我々は書道を独立した教科として教えています。

相川 やりましたよ、私も。

谷 これからは「指導要領」というのは、「最低限」という言葉が非常に明解に打ち出されていますから、そういう意味で、学校側の自由裁量を少し持たせますよという意味で、そういう表現が出てくるのですが、成蹊は最初からそういう捉え方をやってきている。相川 その辺が、成蹊の中高一貫教育の特色というところですかね。もう少しはつきりしたところはないのですか。谷 例えば国語なら国語、英語なら英



相賀中・高同窓会会長

語で、それぞれのターゲットがある。自分たちで決めて、そこに合わせた中身でこの六年間を見ている。もちろん実際は個々の先生が、中学を担当する、高校を担当するとありますが、国語なら国語、英語なら英語という教科的にはやっぱり六年を見据えて教えています。

それは一貫教育の最も基本的なところだと思えますね。

相賀 中学一年に外から入って、一番びっくりしたのは、成蹊小学校から来る子はものすごく漢字が書けるんですよ。小学校では漢字教育が、相当されているほうだったんじゃないかなあ。そういう強みみたいなものって、あとで随分差が出てくるので、嫌な言い方ですが、そういう「売り」っていうか、あそこの学校はこれが強いよねというのを幾つか持っているというのは、これがとつても魅力で、漢字みたいなものはパソコンで引けばいいよとは言っても、やっぱ漢字が書ける、しかも小学校のときかなりやっていて忘れないんでしょうね。

谷 基本は、小学校では担任の先生が何でも教えるということですが、成蹊は、それだけじゃなくて、比較的分野ごとに先生をもっています。外から入ったときのギャップがある可能性はありますね。それはどこを特徴にするか

という意味でのことを特に定めてはいないで、各教科として工夫しているということですね。

相賀 昔は、今よりもっとクセのある先生がいたのかもしれない。漢文の時間は、「みんな、こんなの聞いてもわからないだろうけれど、実はね、中国語で発音するとしてもきれいなんだよ」って、いつも黒板に書いて発音してくれる先生がいました、やっぱ残りますね。ああ、そうか、それでいいんだ、みたいな。

谷 成蹊の先生は、どちらかというところいう方は多いですね。理科でも、地学だとか生物だとか、物理、化学と分かれていて、それぞれ先生がいますし、それぞれ自身で研究テーマを持っている先生もいますし、ちょっと深みの違う教え方は今でも特徴の一つとしてあります。

相賀 僕はあんまり、できないほうだったので、数学でもできないクラスだったんですけど、数学の女性の先生が、名前が忘れちゃったけれども、かわいらしい先生で、いつも歴史の話をするんです。「歴史は面白いわよ、歴史ってほんと面白い」。因数分解とか微積分とかやりながら、僕はそれがすごく刺激的で、べつに数学の先生だからといって数学だけじゃないんだというのは、すごく役に立った。

たぶんそういうものがいろんな教科の中にも、自分の興味のあるものを教科の中で別に出していくと、先生と生徒の間に何か別なものが生まれるような気がしますね。

### 六年間でキャリア意識の醸成を...

谷 私なりの表現ですけれど、六年間のキャリア意識の醸成教育。キャリア意識というのは、将来像を自分でどうやってつかみ取っていくかということ。そういったキャリア意識を醸成していく教育をやっていくこと。それは最後は本人の主体性をしっかりと気付かせることだと思えますね。

その素地は何かというと、やっぱり幅広い分野の学習があるんですね。それぞれが一括りではなくて、同じ歴史でも、それぞれの専門の先生が教えている。それがやっぱキャリア意識醸成教育の一つで、もともと成蹊が持っていた基盤があると思うんですね。

そういう専門分野のいろんな興味あることを教えていく、生徒の一人ひとりがそのどれかに目覚めるということで、結果的には手助けになっているというふうには思っています。

相川 中高六年間の中で、大体五年でいわゆる決められたものは終えてしまつて、あとの一年は個性を伸ばす、み

いうもの分の興味出して別なものね。

表現です意識の醸成は、将来取っていくキャリア意識を醸成していくこと。性を持つうんですね。何かという学習が取りなれ専門の専門やっぱりで、もともとあると思門分野のていく、れかに目には手助は思つて年間の中間の一年は個性





相川成蹊会会長

谷 当然、これは二つの側面があつて、成蹊はほとんど全員が大学へ行きます。中等教育の役割は、個人が一人ひとり多様な個性を生かして、自分が志望する、いかなる進路でも目指せる力をつけてあげる、というのが一つです。

それともう一つは、生徒の皆さんに知的や教養的なものを幅広く、学ぶ機会を持つてもらつて、それぞれが自分を見出すという、成蹊がもともと持った基盤的な要素だと思ひます。だから、今、成蹊の高校でも、二年から「緩やかに」文系・理系に分かれていっています。

相川 高校二年から。谷 ええ。そして、「緩やかに」とい

うのは何かというと、やはり必修教科があるから、それは一緒に受ける。三年になると、さすがにそれは少なくなりませんが、倫理や、政治経済などがあります。そういうものは共通だけれども、かなりの時間は進路別になります。今は十八のコース。

相川 十八？ そんなにあるのですか。谷 成蹊大学へ行く人、外部の大学に挑戦する人、その中で理系へ行くか、文系へ行くか、細分化していくと十八ぐらいになります。

相川 三年生の段階で。

相賀 私は出版社の人間で、やつぱり本を読んでもらいたいなと思つていて、「これは読んでおきなさいよ」というのを、いろんな教科の先生たちが、みんなお持ちだと思つてますよ。これは何かとても自分にとつて役に立つたところ、こういう本を集めてリストをつくつて、入学のときに、ぜひ先生たちが薦める本というのを一冊つくられたらどうでしょうか。

谷 私どもには、先生方自身が、読んで印象に残つた本、中学生に紹介したい本など、各先生が三つぐらい出したものをまとめてみんなに紹介する冊子があります。

英語教育はダイナミックに…

相川 英語はどうなっていますか。大

体我々は、中学一年から大学まで勉強して、しゃべれないで卒業したという年代ですが。

谷 英語はかなりダイナミックにやっています。「リスニング」とか、文章をまとめるとか。リーディングでも。

中高だけじゃなくて、国際教育センターでは、パーツともすごい量を読むというプログラムもいろいろ紹介したかといふと、昔に比べると、どつちかといふと、明らかに耳のほうとしゃべるほうですね、ここところはかなり変わりました。

相賀 いつも思うんだけど、本の名前も、せつかく原題があるのに、みんな原題を覚えられないじゃないですか。でも、一つの本を読んだときに、翻訳されたものの原題はノートするか書いておくと、あとで絶対役に立ちますね。

相川 今、外人の先生はいらっしゃるんですか。谷 ええ、二人。非常勤講師を含めるともつと多いです。専任扱いは二人です。

相川 外国人と生の英語でしゃべるといふ機会はあるわけですね。谷 あります。

相川 我々はないものなあ。

相賀 スポーツでも、外国の人とすることを考えると、野球とかサッカーを英語でしようとかね、そういうような

簡単な言葉だけでやると勉強になるかもしれないですね。そういう工夫は公立ではなかなかないけれど、私立だったら、実験的にやってみるか。やつぱり英語の能力は随分伸びていますか？

谷 一般的には上がつていて、それはそれでいいんですが、今、私はやつぱりリーディングの力、書く力も結構重要だと思つているんですよ。というのは、今メールがすごいですね。企業に入ると、どれだけ速く、的確に、読んで、速く、失礼のない表現で相手に対応できるのが、結構大事だと思います。その意味では、昔重視されていた教育の要素というのも結構大事だと思いますね。

相川 読めるけど書けない、しゃべれるけど聴けないというのがありますよね。谷 聴くのは、端的に言うのと、どれだけその環境に入ったかしかかないんですよ。英語の時間が学校で毎日一時間あったとしても、残りの二十三時間は別の世界にいたら何にもならないんですよ。

小学校・大学との連携は…

相賀 中・高は、一人の校長の下、身の濃い、深みのある教育という点はわかつたのですが、小学校から中・高・大学への、いわゆる小中高大、一緒のところにあつて、一貫教育という

でやる

。そう

はいけれ

いってみ

は随分伸

は上がつ

すが、

の力、

いるんで

がすごい

にけ速く、

たのない

が、結構

は、昔

いうのも

りど書け

いという

端的に

に入つた

時間が学

も、残り

にら何に

学との

は、一人

みのある

すが、小

いわゆ

めつて、



ことを言っている中で、どんなことが具体的に行われているんですか。

谷 小学校との間は、定期的に情報交換をして、ふだんの指導の問題、例えば中学校での生徒の日常生活的な問題や、成績の問題などを含めたりして、小学校と話をしています。だからといって、小学校でこれを教えよとか、あれを教えよとか、そこまではしていないけれども。

もうちょっと具体的な話で、今後どうしていくかということをしつかりと考えていかなきゃいけないのは、英語教育なんです。英語教育は、成蹊小学校からずつとやりだして、ほかの学校から来ている子は、基本的には英語を学習していないんです。半分以上はそういう子なんです。成蹊小学校か



谷中学・高等学校校長

ら百二十人ちょっと欠けるぐらいですが、外部から百三十余名来る。結局その中でどうするか。

今は中学校の第一学年は、「もも」「けやき」というクラスに分けています。いわゆる、以前に英語教育をうけていなかった、ほかの学校から来た子と、小学校からやってきた子に分けている。相川 「もも」ですか、それが。

谷 どっちが「もも」だか忘れちゃった(笑)、分けているんですよ。そうやって、一年間で追いつかせる。けど追いつくという表現も難しく、もう一方がどうなるかということもあり、まあ追いついてくれることを期待して進めています。そういうプログラムを持っています。

相賀 パソコンができない人は、パソコンができる人に随分助けられたんですよ、社内でも。ああいうふうに、英語ができる子ができない子を助ける風潮ができるといいですね。

相川 大学とはどうですか。

谷 今、大学の講義の聴講制度とか履習制度があるんですよ。ここ三年ぐらいい。大学の講義を受けて、所定の手続きをとって履修をちゃんとしたら、成蹊大学に進んだときその単位を先取り認定されるとか。これはプログラムが決まっています。国際教養科目という名前で、いわゆる政治学とか、教養、

国際何とかとかを、もちろん大学の先生が講義するのですが、国際教育センターがプログラムを揃えて、生徒に提供してくれる。

相川 大学に行ったときに、それは単位として残るのですか。

谷 そうです。その単位は先取り認定されるんですね。あと、成蹊大学の先生の模擬授業みたいながあります。各学部講義の雰囲気がかみやすくなって、自分の進路を決めていく。もちろん説明会もやっています。

高校側からは、私も含めて、結構成蹊大学で教えています。私は大学院で教えています。もう三十年です。成蹊大学の中で、非常勤講師では一番古いんじゃないかと自負しています(笑)。

相川 成蹊高校から成蹊大学へ進学する生徒は増えつつあるのですか。

谷 ええ。昔は半分ぐらい行っていたとか、六割行っていたときもありましたね。九〇年代になって少しずつ減ってきて、二〇〇三年は四分の一を切ったんです。その辺があつて、私自身も大学は成蹊だったものだから、いろいろ成蹊大学のよさというか、正しく理解する情報を生徒の皆さんに話しました。そうしたら、結果的には増えましたね。去年が一番多くて、四三%。

今春が一一九名ですから三七%ぐらいですね。減ってはいるんですけども、

多様化していますから。

相川 大学が？

谷 個人の志望も大学も多様化しているから、まあこの辺かなと。もちろん成蹊大学がさらにいろいろなことがある。その魅力をもつてまた行く人も増える。三五%確保できれば、少なくとも多様化している中でいいかなと。そこから上は、大学が頑張ってもらわないと、ということかと思えます(笑)。

相川 そうですねえ。

相賀 「建学の精神」であるとか、中村春二先生のことであるとか、もう一度見直そうみたいな動きの中で、建学の精神が、小学校から大学までの間に根づいているかどうかという辺は、どんなふうですかね。

谷 小学校は歴史的にいろんな行事をやつて、それはあるでしょうね。中学・高校は、ビジョンというものを定めました。基本的なものは、中村春二先生が言われたあの言葉、「個性の尊重」「品性の陶冶」「勤労の実践」に基づいたもので言葉をつくっているんです。時代や社会が変わっても、若者の教育の本質は同じですけれども、言葉が、「勤労の実践」というのは今の時代で何だという感じになっちゃうし、「個性の尊重」といっても非常に曖昧な表現でもあるから、それをもう少し

ますから？

望も大学この辺からにいろいろ力をもつ%確保でている中、大学がいうことすねえ。の精神」ことであたいな動学校からかどうかか。歴史的にはある。ビジョン本格的な「たあの陶冶」で言葉を社会が変は同じで「実践」という感じから、





すか。昔は女の子が少なかったんです。

谷 中学は今度一クラス三十六人にしましたが、四十人クラスのとときで言えば、二十五対十五。それが一クラス当たり数名減ったから、その比率で、二十二対十四です。高校は五対五で採ることを基本としています。だからもう少し差は埋まります。教育者の多くの人が言っていますが、それが真理かどうかは別にして、やっぱり男子が多いほうがいいといわれています。女子のほうが成長が早いですから、男子のほうがある程度多くないと、女子の勢いがより強くなってしまう、という言い方がよくされています。確かに、「そうだ」ということではなくて、そういう傾向になりがちですね。

### 素直で純粹…今どきの中高生

相川 次に、今の学生気質という話を聞きたいのですが、「個性の尊重」と言いながら、あまり個性があるように

見えないですが。

谷 私はやっぱり子どもというのは、どの世代も似たようなものだと思うんです。ただ、問題は、社会の今の価値観が、どちらかというと物財の豊かさだとかを指向しているとか、それに伴い規範意識が薄れているとか、主張が多い社会であることですね。子どもたちは、そういう中で翻弄されていて、そういうものの殻がついてきちゃっていることがあります。素直に一人ひとり見れば、子どもは子どもです。私はそう思うし、実際接してみても感じます。ところが、表面的に出てくる行動パターンだとか考え方というのは、やっぱり世の中のそういう風潮というものを非常に素直に出している。

ひと頃、制服を着崩すという話がありますが、それは今も厳しく注意はしていますが、だけどあれは何かというところ、テレビドラマとかで出ているから、やっぱりやってみたいんです。それじゃ我々の頃は何かといったら、校章をどっかに隠したりとか、帽子にポマードを塗ったりとか(笑)、いつの時代でもあったんだろうと思うけど。みんなである、つい斜に構えるところがあります。一人にいるときに注意すると、最近の子はものすごく素直。い子だなあと思えますよ。

相川 素直すぎる。

谷 まあそういうところもある。ほんとは素直で、純粹でね。ただ、逆に、ある風潮に会うとスツとそっちに流れる。両方、リスクと、いいところがある。だからきめ細かく、個人個人に目を向けてあげるといことが大切だなと思って、先生方はそういう意味で非常に気を遣ってやっておられる。そうやってなかなか回らないから、完全に見切れないときもあります。

相賀 子どもってやっぱり変化するんだと思うんですよ。自分でも悪いこともやったけれども、少しすると、また別の世界に変わっているんです。だから、学校は本当に忍耐力が要ると思います。最初から子どもを決めつけられないで、待ってあげるといのがね。先生はそういう考えだろうなと思って聞いていて、よかったです。

谷 逆もあるんですよ。これは実際の先生はわりあい淡泊なところがあるんですけども、例えばあることは耳にタコができるぐらい言い続けているということをしなないと。

相賀 あきらめないでね。むしろ最近の若い人のほうがちゃんとしているのかなとさえ思うときがありますね。

相川 時間がきました。今日はどうもありがとうございました。(了)

具体的なビジョンとして表現していません。その本質は変わっていない。それから、凝念もずっとやっていますね。我々、中学は毎日朝やっています。高校は週に一回。

相賀 男女の比率はどのぐらいな

いうところ  
純粹でね  
つとスツ  
ハクと、  
め細かく  
るという  
生方はそ  
くやっ  
なか回ら  
こきもあ  
つてやっ  
よ。自  
も、少  
わつてい  
ヨに忍耐  
り子ども  
のげると  
ええだろ  
かった。  
んですよ  
い淡泊な  
えはある  
い言い続  
めないで  
の若い人  
かなとさ  
きました  
さいまし



# 法学部長に就任して

にし ざき ふみ こ  
西崎 文子

法学部は今年開設四〇周年を迎えます。約二〇年続いた政治経済学部が法学部と経済学部とに再編されたのが一九六八年四月のことでした。日本が敗戦から高度経済成長の時代を迎え、学園紛争の嵐に包まれる中で誕生したのが新法学部だったわけです。

その後、目まぐるしい時代の変化を受けて、大学のみならず法学部をとりまく環境も変化しました。大学進学率が飛躍的に高まる中で、日本社会を牽引するエリート育成を主眼とする教育から、より多くの学生たちに高度の教養と社会で幅広く活躍できる力とを与える教育へと変わったように、法学部教育の目標の変化も見られました。そし



て、最近では法科大学院の創設をはじめとする司法制度改革や、日本および国際社会の変化の中で、再び法学部の理念が問われ、法学・政治学教育のあり方が見直されていることは周知のとおりです。

その中で、成蹊大学法学部は何をその基本精神として堅持し、創設五〇周年にむけてどのような目標を追求していくことになるのでしょうか。このように考えたときに、法学部として目指していくべき次の三点が浮かび上がってくるのではないかと思います。

第一点は、基礎を重視した着実な研究と教育とを目標としていくことです。矢継ぎ早の司法制度改革は、法学部の教員のみならず学生をも時代の要請に振り回されがちな状況に追い込んできました。政治学の分野でも、冷戦の終焉やグローバリゼーションといった目まぐるしい変化をうけて、取り組んできた研究や教育の課題があつという間に古びてしまうといった印象が生じたことは否めません。そのような中で、

成蹊大学法学部では、時代の変化の本質を見極め、長期的な視野に立つ研究や基礎的な教育を大切にする姿勢を崩さないでいきたいと考えております。

第二点は、教員が今まで以上に積極的に研究活動に従事し、教員全体の研究の質を高めるとともに研究者集団としての一体性や共同体性を育んでいくことです。現在、法学部の専任教員の平均年齢はかつてないほど若返っています。大学をとりまく環境が厳しくなる中、このような若手・中堅の教員が学内外で各種の仕事に追われる傾向も強まっています。その中で、法学部では若い伸び盛りの教員の研究実績を延ばし、国内外の研究者との学術交流を盛んにして、学部全体の研究活動の活性化を目指したいと考えております。

第三点は、法学部教育の質の向上です。法律・政治両学科のカリキュラムは、現在、比較的自由度が高く、学生が幅広い提供科目から自分の関心に応じて授業を選択できるようになっています。法科大学院を目指したり、英語能力を特に向上させたりといった個々の目標に定めるコースを用意しながら、同時に、「高度の教養」の会得を目指す多くの学生の希望に沿うように配慮してきました。しかし、学生には自由

と同時に規律（ディシプリン）によって伸びる部分が多くあります。自分たちの勉強の道筋を明確に見極め、卒業までの目標をしっかりと立てられるようなカリキュラム作りを目指したいと考えています。

成蹊大学法学部の伝統は、教員・在学生・卒業生が吉祥寺のキャンパスで学んだ数年間を大切にし、そこで培った自由の気風と寛容な精神とを財産として社会で活躍の場を探していくところにあります。吉祥寺に根ざしながら、広く日本社会や世界で活躍するような人材を育くむことを目標に、法学部の発展に微力ながら貢献したいと考えておりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（ディシ）  
筋を明確  
しっかりと  
ム作りを

学部の伝  
が吉祥寺  
を大切に  
と寛容な  
躍の場を  
。吉祥寺  
が世界で  
ことを曰  
が貢献  
、引き結  
しくお願

## 略 歴

1983年3月	東京大学教養学部教養学科卒業
1985年3月	一橋大学法学研究科修士課程修了
1990年5月	イェール大学大学院歴史学科博士課程修了 (Ph.D.)
1990年9月	成蹊大学法学部 助教授 就任
1998年4月	同 教授
2007年～2008年	成蹊学園国際教育センター所長

1983年	東京大	卒業
1985年	一橋大	修士課程修了
1990年	イェール大	博士課程修了 (Ph.D.)
1990年	成蹊大	助教授 就任
1998年	同	教授
2007年～2008年	成蹊学園	国際教育センター所長



# これが今年の卒業式だ!!

3月は卒業式の季節。桜はまだでも、春の訪れを感じられる頃、巣立つてゆく。

大学を卒業してから、縁もなく一度も出席したことはなかったが、成蹊会会長はいずれにも来賓として招かれる。

起立して紹介され、大学では祝辞まで述べるハメになった。私達の頃、どうだったか記憶にないが折角出席したので、招かれなかった中学を除いて3つの卒業式のレポートをお届けしよう。

## 「日の丸、校旗」

式の当日、いずれの学校の正門に右にブルーの校旗、左に日の丸が立てられていた。ブルーの校旗は3年前に「建学の日」と同時に制定されたものだ。会場にも校旗は飾られていたが、日の丸はなし。

## 「会場」

小学校、高校は本館講堂。昔のままでもともなつかしい。

今年の卒業生は小学校3組112名、高校は8組319名。2階のギャラリ―には小学校はこの日のために練習したという5年生全員の音楽隊が陣どり、父兄は講堂の席へ。高校は父兄でギツシリだ。年々父兄の出席が多くなり、卒

業生数以上の席を準備するのだそうだ。見事だったのは小学校は講堂への入場時に、高校は退場時にいずれも在校生による「威風堂々」の演奏であった。テンポがよく厳荘なこの曲が人を送る時にもピンと来るのだ。

大学は卒業式でなく学位授与式と呼ばれるが四学部1672名の卒業生と博士、修士、法科大学院修了者が北門を出た大学体育館に集まっていた。紅白幕に四囲をかこまれた会場は、ピツシリ。音響撮影担当もキツチリ動いていたがうしろの方はずっとザワザワ、父兄は四号館ホール、五号館でテレビ中継を見る。

## 「服装」

小・高校はモチロン蛇腹とセーラー服の制服。普段は首から胸にかけてホックをはずしている高校生もこの日はかりは苦しうだがきつちりとめていた。高校女子の中には軽く染めた髪やピアスも散見される。

面白いのは女子のスカート丈だ。小生が高校生よりはるかに長いのだ。我々の頃は小学校は男子は半ズボンで女子はヒザ小僧まる出しのスカートでそれが中学にすすむと長ズボンとヒザ

丈のスカートになってチョッピリ大人になったうれしさを感じたものだ。それが今は上へ行く程短かくなって高校生は全員がミニスカートだ。今やどの高校もミニなのだそうだが、成蹊の特色だしてオシトヤカにいけないものか。大学男子は通学時のジーパンTシャツのラフスタイルから脱皮。黒っぽいリクルートスーツで決めている。一方女子は華やか、ほぼ全員が着物に袴。頭には花をつけ履物は草履が多いがブーツ風のヒールも。学校まで貸衣裳屋が出張してくるそうだ。美容院へ行っただであらう女子とちがひ男子は高校生もポツサボサ。トサカもいた。この日の前にトコヤへ行くなんてことはしな

いんだろう。

## 「式次第」

小・高校は共に凝念から始まった。久しぶりにゴーンという鐘の余韻をきいた。卒業証書の授与は小学校は1人づつ名前を呼ばれ壇上にあがり校長から。証書はブック式で、筒はない。高校はクラスごとに名前を呼ばれ起立。代表がまとめてうけとる。今年は8人のクラス代表は全員男子。これは珍しいんだそうだ。ただ担任の先生は男女4人ずつ。オヤツ、ドキツ。

大学は学部ごとの代表が壇上で学長から学位証をうけとり、式終了後別会場で学部ごとの交付式がある。学部代



表は4人のうち男子は1人。

ひきつづき校長・学長の式辞・理事長の祝辞とかたちどおり。小学校の金納校長は中村先生の教えを説き、中村先生直筆の短冊をプレゼントする。さらに在校生送辞、卒業生謝辞。小学生の謝辞をのぞいてすべて女性だ。我々の頃と比べ様もない程、女子がふえているが、男の子どうしてるんだ。

特筆すべきは小学生の謝辞。原稿も持たずに、カミもせず一気に語った。校長も原稿をみないで皆の顔を見て話をするから君も私の顔をみながら話してくれと約束したそうだ。できることではない。

全員で歌うのは小学校は「蛍の光」も歌うが、あとは三校とも校歌のみで、「君が代」は勿論、あの「仰げば尊し」



ち男子は校長・学たちどお先生の教冊をプレゼント。卒業してすべもない程どうしは小学生もみせずもないで私の顔したそうのは小学校とは三校の論、あの



も「蛍の光」もなしだ。国旗国歌については学園の理事会で論議されたこともあった様だが、「仰げば尊し」と「蛍の光」は卒業式にはつきものだ。今でもテレビで卒業式の背景には流れている。いつからなくなったかという記憶もない程前からの様だ。生徒・父兄のすすり泣きもなくサッパリと終了したのであった。アアア。

式終了後は校庭に出て待っていた在校生からの花束のプレゼントと拍手に送られて巣立っていった。

法科大学院の学位証交付は大学院内教室でヒソソリと行なわれた。37名の卒業生だが仕事を持っている人もいて20名程の出席。年令もさまざまで、その後のパーティーもワインで乾杯、先方と親しげな歓談がつづき、ヒト味ちがう家庭的な聖囲気を感じた。



## ここからは入学式



ついでに入学式もレポート。桜吹雪に迎えられる新入生姿が成蹊の春の風物詩だが、今年は三月下旬に開花。三日の大学入学式がピーク。桜祭をはさんで、五日が小学校、七日の中学校の頃にはもうわずか。例年より早く芽吹いたケヤキの新緑が鮮やかであった。

なんとといっても圧巻は小学校。一クラス二十八名男女同数の入学生が、男女ペアで手をつなぎ本館講堂へ。会ったばかりの友達だらけの中キチンとすわって凝念も。先生全員で歌う「春の歌」につづいて、いつ練習したのか「さんば」を一番から三番まで大合唱。なんと可愛いことか。

少子化時代、親の愛をひとり占めにしているのだろうか。父兄席は子供達の倍以上。家族総出の感だ。

これは小学校に限らず、中学校、大学生もほとんど親子連れ。正門前で大写真真部の学生が親のカメラでとる記念写真に長い列ができた。

小学生が中学、高校と次第に体が大きくなってゆく様を実感。同じ敷地に集う成蹊のいいところだ。

相川一成(政経・37)

式もレポート

新入生姿が

三月下旬

ピーク

小学校、七

日。例年

より早く芽

吹いたケヤ

キの新緑が

鮮やかであ

った。

なんととい

っても圧巻

は小学校。

一クラス

二十八名

男女同数

の入学生

が、男女

ペアで手

をつなぎ

本館講堂

へ。会

ったば

かりの

友達だ

らけ中

キチン

とす

わって

凝念も

。先生

全員で

歌う「

春の

歌」に

つづ

いて、

いつ

練習

した

のか

「さん

ば」を

一番

から

三番

まで

大合

唱。

なんと

可愛

いこ

と

か。

少子

化時

代、

親の

愛を

ひと

り占

めに

して

いる

の

だ

ら

う

か

。父

兄

席

は

子

供

達

の

倍

以

上

。家

族

総

出

の

感

だ。

これ

は

小

学

校

に

限

ら

ず

、中

学

校

、大

学

生

も

ほ

と

ん

ど

親

子

連

れ

。正

門

前

で

大

学

写

真

部

の

学

生

が

親

の

カ

メ

ラ

で

と

る

記

念

写

真

に

長

い

列

が

で

き

た

。小

学

生

が

中

学

、高

校

と

次

第

に

体

が

大

き

く

な

っ

て

ゆ

く

様

を

実

感

。

同

じ

敷

地

に

集

う

成

蹊

の

い

い

と

こ

ろ

だ

。

相

川

一

成

(

政

経

・

37)

相

川

一

成

、



# 成蹊音楽祭と 小学校器楽クラブ

こいしはらこうさく  
小石原耕作

当日は、小学生有志14人による琴の演奏に始まり、同じく小学校の太鼓部と brass バンド部の発表。中学、高校のウインドオーケストラとストリング

オーケストラ、OB、保護者のコーラス、オーケストラという、成蹊の小学生からOB、また更には音楽の世界で活躍されている成蹊出身のプロフェッショナルまでが一同に集う催しであった。OBのオーケストラ・コーラスを指揮された高井優希さんは小・中学の音楽の高井寿雄先生のお孫さんであるし、第2部の特別演奏会は小学校から成蹊に学び、中学時代にトランペットと出会って今やもともと注目を集めるジャズトランペッターとなられた市原ひかりさんの演奏であった。まさに成



蹊の音楽教育・活動の歴史とそれが花開いた様を見る思いであった。

## 小学校器楽クラブ

かつて昭和三十年から平成三年まで成蹊小学校には器楽クラブなるものが存在した。

成蹊小学校器楽クラブの活動は一時部員数300名を数えるまでに発展、内外にその存在が知られ、成蹊教育の特色のひとつとして高い評価を受けるにいたったが、その存在についてはクラブに在籍した多くの生徒、また指導者たちの記憶から口の端に上ることはあっても記録らしきものはほとんど残されていないという。小学校教諭中野渡先生は、数少ない資料と取材から36年に亘る器楽クラブのほぼ全容を原稿にまとめられ、現在の成蹊小学校校報誌「すもも」の前身である「成蹊教育」30号に寄稿された。

先生はの中で「成蹊小学校器楽クラブは、一人の音楽教師の理想のもとに、一私学が学校をあげて楽器が習える環境作りに協力したという稀有な事例」「成蹊の戦後教育のひとつの成果」と評価されている。

当時成蹊小学校で音楽を教えていらした小島三雄先生は、オーケストラを含む様々な音楽的経験を生徒の習い事にとどまらせない長いタイム・スパンで経験させ、子供たちに一生に渡る音楽生活をもたらそうとされた。またその時点でそのようなことが実現できるのは一貫校の私学ならではの認識を持たれ、世間一般がどうであれ。成蹊の子供が望み、成蹊小学校が与えることができるのならそれでよし、とお考えだったようだ。このお考えは今の時代にこそ価値を持つ。オープンスクールに集まるご父兄のチェックポイントの一つは、どんな個性的なプログラムをもつて教育理念を実践しているか、すなわちコンセプトとストラテジーという点をチェックされることが多いからだ。不安定な公立校教育をあえて避け、保護者と学校の同意のもと納得の行く教育を目指すために私学を選ばれるケースが多いのだから、その具体的方法に関心を示すのは当然である。

器楽クラブは当初ヴァイオリンの指導から始まったが、次第に他の楽器指導も加えられた。これはおそらく小島先生の、最終的には成蹊に生徒だけによるオーケストラを組織したいという思いからではなかったか。

すべての始まりのバイオリン同好会は4年生以上の希望者50名の参加を得て昭和三十年5月に発足した。クラブ

は翌年、PTA教養部の所属となり、「器楽クラブ」となる。3年生にも門戸が開かれ、クラブ員数は約1000名。更に翌年、現在大学4号館のある場所にあった学園小講堂にて第一回の発表会開催。2年生の参加がみとめられ、フルートとチェロの部が新設となる。

翌昭和33年に部員数は180名に及び、4年生以上は学年毎にジュニアオーケストラを編成できるまでになる。11月には手狭になった小講堂に替え荻窪の杉並公会堂で第一回の発表会をおこなう。昭和38年からは成蹊小学校の正式の課外クラブとなり、よって杉並公会堂での発表会も正式な学校行事となり指導面、運営面ともに充実したものである。既に部員数は全生徒数の約1/4にあたる200名を超えていた。第8回の発表会からは、クラブ員以外の6年生も全員参加し演奏するという学校行事としての形も整った。

45年にはクラブ員数が最高の310名となり、指導者数も20名に上る。クラブ員の増加、質的向上に伴い段階的に高度な楽曲の演奏も可能となり観客の好評を博すが、規模の拡大に伴いレッスンの設定など種々の問題も浮上し始め、活動開始以来始めて入部希望者の制限がなされた。この後も器楽クラブの技術的、質的向上は続くが規模は縮小されていく。

規模、質ともに拡大し成蹊教育のひとつの特徴としてその存在が広く知られるようになるにつれ、器楽クラブは

A教養部となる。クラブ員は20名、小講堂に生参加の部員数は180名に及び、4年生以上は学年毎にジュニアオーケストラを編成できるまでになる。11月には手狭になった小講堂に替え荻窪の杉並公会堂で第一回の発表会をおこなう。昭和38年からは成蹊小学校の正式の課外クラブとなり、よって杉並公会堂での発表会も正式な学校行事となり指導面、運営面ともに充実したものである。既に部員数は全生徒数の約1/4にあたる200名を超えていた。第8回の発表会からは、クラブ員以外の6年生も全員参加し演奏するという学校行事としての形も整った。45年にはクラブ員数が最高の310名となり、指導者数も20名に上る。クラブ員の増加、質的向上に伴い段階的に高度な楽曲の演奏も可能となり観客の好評を博すが、規模の拡大に伴いレッスンの設定など種々の問題も浮上し始め、活動開始以来始めて入部希望者の制限がなされた。この後も器楽クラブの技術的、質的向上は続くが規模は縮小されていく。



発生当時の学園、関係者の善意、理解によって継続されてきた特権性を学園内の部外者から問題視されるようになり、結果的に平成三年度の小学校完全週五日制実施に伴い廃止が決定される。

私自身も音楽を小島先生に習った世代であるが、当時級友たちは音楽室にあった楽器から打楽器など通常のお稽古事では使われないような楽器を含め小島先生の指導で自分の希望の楽器を決め、更に本格的に外部に指導者を求めてレッスンに通っていた。その種類はチェロ、ベース、小太鼓に及んだし、

フルートのレッスンも盛んであった。斯く言う私は小学校の2年から5年間、ヴァイオリンをやった。とはいえず決して模範生徒ではなかったから、家での練習は最低限、放課後のレッスンの自分の番がくるまでは校庭で遊びまわることが楽しみという子供だったようだ。

当時は既に杉並公会堂での発表会が定例化されていた時代で、小学校を卒業された先輩たちや中学高校の現役ブラスバンド部員も加わり、大所帯のオーケストラであったと記憶する。

改めて当時の発表会の写真を見れば

—— プログラム ——

星 会 の 節	指揮者 小林 芳子
あ い さ つ	小中 部 員 杉 山 雅
第 一 部	
1. 全 員 合 奏	器 楽 ク ラ ブ 全 員
ジ ン グ ル ベ ル	
2. バ イ オ リ ン 合 奏	二 年 生 全 員
A 櫻 木 家 家 譜	< ス ペ イ ン 民 謡 >
B ロ ン ド、ロ ン ド、ア ム	< ヨ ー ロ ッ プ >
3. ジ ュ ニ アー オ ー ケ ス ト ラ	三 年 生 全 員
A 聖 母 シ ン フ ォ ー ム	< ハ イ ド ン >
B ラ イ ン ス ト、ホ ー、グ ラ ン	< ア イ ザ ッ ク >
4. ジ ュ ニ アー オ ー ケ ス ト ラ	四 年 生 全 員
A コ ン パ ー ク ロ ン ベ ー ス	
B イ ン グ ア ン、ブ リ ン キ ャ	
5. ジ ュ ニ アー オ ー ケ ス ト ラ	五・六 年 生 全 員
A バ ン デ ッ ト の 楽 隊	
B マ ン マ ン、フ ェ ス テ ィ ャ ル	

当時のプログラム

私たちは案の定もつとも目立たない位置を与えられている。当時の私のヴァイオリンに対する姿勢は決して褒められたものではなかったが、小島先生が撒いてくださった器楽演奏の楽しさという種はその後同じ弦楽器ながら得物をギター、コントラバスに換えて仲間とバンドを組み、子供が出来るからには一緒にギターを弾いたり娘のピアノと合奏するなど、自分の中で大きく開花したと感じている。当時のバンドの仲間たちとはおそらく一生の付き合いになろうし、自分の生涯の音楽に対する姿勢を、単に100%受身の聴衆という枠から解き放つてくださった小島先生にお礼を申

し上げたい。音楽を生涯の友に出来た私を先生は褒めてくださるだろうか。また今でも交誼の絶えない旧友たちを見回せば小島先生のご指導で始めた楽器から発展して本格的に演奏活動を行い、いまでも続けている、または既に後輩を指導している例も数多い。

その時代の判断で廃止に至った器楽クラブであるが、17年を経た今このとき、実は成蹊学園に本当に必要な重要な要素を含んだ活動ではなかったのかと改めて感じる。それは「他校に真似の出来ない成蹊独自の、歴史ある教育プログラム」であり、「小学校から大学までの一貫教育の象徴」だったと思われるからである。そして今回の成蹊音楽祭は器楽クラブの精神を正しく踏襲していたといえる。

歌、音楽とは不思議なもので、時に人を励まし、時に慰めとなる。一緒に歌うことで気分が高揚し、奮い立つ。また他の何よりも鮮明に昔の情景を思い出させてくれる。

歌はまたひとつの符号ともなりうる。他人は知る由もない「合言葉」たる学園の歌をともに歌える仲間にはより強い親近感を覚える。成蹊小学校では箱根の夏の学校で歌う歌、波左間の海で歌う歌、運動会の歌、などが決まっていた。今でも娘と一緒に歌えば、今は新しい建物の下敷きになってしまったかつての箱根の乗風台を渡る風や、赤ふんで必死で泳いだ波左間の海の塩か

らさと師範が口に放り込んでくださった氷砂糖の甘さが脳裏に鮮明に蘇る。その意味で在学・在園の全生徒・学生がともに歌える歌を多くもつことは、学園への帰属意識を倍加させる力となる。

現在の成蹊音楽活動

成蹊音楽祭当日のプログラム第一幕の幕開けは小学校生徒の琴の演奏であった。琴は日本の伝統楽器・楽曲に親しむことを目的に、中野渡、倉内両小学校教諭の指導により全員が五年生の一学期に取り組むものの、授業参観以外にはお披露目の機会もなく、現在の成蹊小学校の音楽教育の内容をOB、関係者に広く知らしめる好機としてプログラムに加えられた。有志としてこれに参加した子供達は早朝や週末を練習に当て、また他の楽器に比べ準備に手間取るため当日はプログラムの最初に演奏するなど関係者の工夫と努力により実現した演奏であった。

和太鼓のクラブは東京の私立小学校のなかでも珍しいクラブだ。宮下先生から林先生に引き継がれた相当の歴史があり、現在部員18名。毎週金曜日のクラブ活動の時間に練習を行い、私学の音楽祭である東初協音楽祭や地域のイベントなどで演奏を披露している。小学校ブラスバンド部は部員10名。金管楽器や木管楽器、打楽器含む本格的なブラスバンドであり、中学高校に進んでからも活動を続け、時には母校小

口に放りさきが脳裏に鮮明に蘇る。その意味で在学・在園の全生徒・学生がともに歌える歌を多くもつことは、学園への帰属意識を倍加させる力となる。

音楽活動

当日の小学校生徒の琴の演奏であった。琴は日本の伝統楽器・楽曲に親しむことを目的に、中野渡、倉内両小学校教諭の指導により全員が五年生の一学期に取り組むものの、授業参観以外にはお披露目の機会もなく、現在の成蹊小学校の音楽教育の内容をOB、関係者に広く知らしめる好機としてプログラムに加えられた。有志としてこれに参加した子供達は早朝や週末を練習に当て、また他の楽器に比べ準備に手間取るため当日はプログラムの最初に演奏するなど関係者の工夫と努力により実現した演奏であった。

和太鼓のクラブは東京の私立小学校のなかでも珍しいクラブだ。宮下先生から林先生に引き継がれた相当の歴史があり、現在部員18名。毎週金曜日のクラブ活動の時間に練習を行い、私学の音楽祭である東初協音楽祭や地域のイベントなどで演奏を披露している。小学校ブラスバンド部は部員10名。金管楽器や木管楽器、打楽器含む本格的なブラスバンドであり、中学高校に進んでからも活動を続け、時には母校小

学校に戻って合奏や指導を手伝っているという。

成蹊には生徒の母親のコーラスがある。子女が成蹊に学んだ縁で集まった方々が、その後何年にも亘りともに音楽を楽しんでおられるわけで、素晴らしいことだと思う。中には30年の長きにわたり在籍されている方も居られるという。

当時器楽クラブに在籍され、その後学園を単立した後もOBオーケストラで演奏を続けられている方も多い。今回も、器楽クラブ以来ずっと演奏を続けられておられる先輩方が多数参加されていた。



杉並公会堂の舞台

とはいえ、開催に際し関係者の苦勞は一方ならぬ物があったように聞き及ぶ。特に進行については前述した琴や太鼓などの楽器の搬入が最大のネックであった由、進行を計画された関係者各位、実作業を担当されたボランティアの裏方各位のご苦勞を称えたい。

今回の成功を踏まえれば、今後第二回以降の成蹊音楽祭の規模は当然拡大されることになろうが、そうなるというゆるハコを学外に求めなければならなくなるのが憾みである。個人的には学園敷地内にこれ以上の建造物が増えることは必ずしも歓迎しないが、全学で使用できる文化催事、音楽教育のための汎用性のある施設というものは一考に価すると思える。

### 「宇」としての成蹊学園

ところでこの第一回成蹊音楽祭、多くの成蹊大学学生諸君が演奏に、また裏方のボランティアに活躍されたが、実は大学としての参加はなされなかった。理由は1月18日より定期試験が予定されていたからで、そもそも試験の一週間前からはクラブ活動も禁止なのだ。第二回以降の企画立案の際は是非全学の予定確認のうえすべての学園関係者が参加可能な日取りを設定していただければ、更に大勢の諸君の参加が得られよう。

とはいえ第一回の成蹊音楽祭は、小學生からOBまで、成蹊学園関係者が

横断的に集まり、ひとつのイベントを為したところにその意義がある。そしてその企画の精神において、在学中の学生生徒、またその保護者が成蹊に望むものの一部を補完できたといえる。実際、出席された多くの方が、「学園の一体感」を感じたとコメントされていた。

外部から子女を入学させた保護者の多くは、入学前に漠然と感じていた「学園」というもののまとまりが、中に入ってみるとほとんど感じられないという。それは、稀有なワンキャンパスをもつ総合学園でありながら、わずかの例外を除いては全学合同のイベントが無いことにも起因している。かつて成蹊学園が総長先生の下、小学校から大学までともに学んだ時代を知るものにとつて上下の繋がりは至極当然のものであった。小学校から上を見れば、級友たちの兄、姉が通う中学校があり、クラブの大先輩たちの高校、夏の学校の水泳師範が居られる大学があった。夏に使う学園でたったひとつの大学の

プールは小学生にとつては日本海溝ほどの深さと冷たさであったし、先生方が教えてくださる虹芝寮の歌から、大学山岳部の先輩たちの活動を知ったりしたものであった。自分の通う小学校の延長線上に自然に存在する中、高、大学。一貫教育という呼び方こそ意識しなかったが、その実感はごく当たり前に自分の中にあつた。

成蹊学園は外部からみれば一貫教育

を標榜し、小学校から大学までがひとつのキャンパスに学ぶ、今や特に東京では他にほとんど例を見出せない学校ということになってはいるものの、小中、高、大の各学校は独自の学校長の下独立して運営され、文化祭などの行事も個々の予定に従って実施される。

また、同窓生組織である成蹊会が主催し、学園が後援している行事としての成蹊桜祭は回を追うごとに盛会となり、今や小学校も正式に参加しているが、中高に関しては個々の有志の参加はあるものの学校としての正式の参加には至っていないという。

とりあえずは実績ある成蹊桜祭が一日もはやく全学参加の「オール成蹊の集い」ともいえる行事となることを願っている。各学校それぞれの目的、方針を慮りつつ、学園全体の利益、将来を見据えた意思決定が更に高所において為されれば、成蹊の個性というものもより明快なものに出来、外部への学園の訴求もより分かりやすいものとなるろう。

この成功裏に終わった小さな試みが、成蹊学園の上下の繋がりをより確かなものとし、在学生、OB各位に成蹊をひとつの「宇」として意識していただく縁となることを切に願う。

(法・50年)

小学校から入に学ぶべ  
んど例を  
なつては  
谷学校は  
吾され、  
正に従つ  
生組織で  
後援して  
回を追う  
儀も正式  
しては個  
子校とし  
ないとい  
は実績あ  
子参加の  
える行事  
子校それ  
学園全  
志決定が  
成蹊の  
ものに出  
り分かり  
に終わつ  
下の繋が  
子生、O  
として  
ことを切



## ～私の推める本～

## 『出口のない海』

横山秀夫著（講談社、本体価格590円）

えのもとまき  
榎本真紀（法・平15年）

私は成蹊小学校和太鼓部の第一期生です。小学五年生の特別学習（現在の部活動）で和太鼓と出会い、それ以来十五年以上和太鼓の演奏を続けております。

私が現在所属します深川富岡八幡葵太鼓には、『回天』という演目があります。

この曲は、人間魚雷回天を題材に福岡県囊祖八幡宮の囊祖太鼓によって作曲され演奏された、日本人の精神・風土回帰をテーマとしたものです。私達葵太鼓はその囊祖太鼓に感銘を受け、この曲を演奏することで戦争反対と平和を願っています。

ご存知の方も多いとは思いますが、この回天とは太平洋戦争末期に実在した特攻兵器の名前です。回天に搭乗する人間は、その魚雷を直接操舵し、敵艦に自らを体当たりさせる事でその艦船を沈めます。戦争末期、敗戦の色が濃くなり始めた日本軍に救世主として現れました。「天を回らし、戦局を逆転させる」として名付けられた回天。では回天の搭乗員達は、決して還れぬ特攻兵器に、一体どのような気持ちで乗り込んだのか。そもそも何故そのような非人間的な兵器が開発されるに至ったのか…。疑問ばかりが湧き上がり、以前の私には何の答えも浮かんできませんでした。

これまでただ太鼓の演目のひとつとして『回天』としか向き合った事のない自分が、ふと入った書店で偶然手に取った『出口のない海』。導かれるようなものを感じ、早速読み始めました。この『出口のない海』は勿論、小説であって実話ではありません。しかし、ここで語られるひとつひとつこそが、多種多様な人生を生きだした戦死者や戦争体験者一人一人の持ち寄った事実なのだと思えます。

夢に溢れた快活な学生達が、自ら特攻兵器の一部となっていった時代。極秘作戦であるが故、誰にも明かせぬまま迫り来る死と向き合い、死ぬ意味を問いながら任務へと向かう果てしない苦悩。夢や愛を信じるこ



とで今自分が生きている喜びを感じ、生きたい己・散りたい己の両方と闘い続けた毎日。そしてその苦しみ抜いた彼らが結果、死んでいったという事実…。

史実を並べただけでは繋がらない全てが、小説であった故により自分を歴史や事実に近づけてくれたように思いました。

現代を生きる私達が、時代の産物と呼び神格化して語る時「お国のために」の一言で括ってしまっている、実在した人々。日本の教育が教える事のないその人生は、かつての日本に確かに存在していました。ただ彼らは、その人間らしい思考や事実を、自分の口で伝えることなく死んでいきました。一つの時代に生きた様々な人間のこのような想いを、この小説は説得力をもってしっかりと描き出してくれていました。

人間を兵器の一部として「使用」する事が現実になる時代を、私はこの目で見た事はないし、これからも見たくありません。でも、必ずしも望んでその結末を受け入れた訳ではない、彼らの残してくれたものの手がかりを得るために、この小説をご紹介させていただきました。私達は摺んだ手がかりを必ず、伝えていかななくてはならないからです。

ご紹介するにあたり、一昨年映像化された同名の映画も見ってみました。設定がかなり違っていたので、映画しかご覧になっていない方は是非原作もお読みいただき、また違った味わいに触れてみてはと思います。

これは私の大好きな祖父母の青春時代の事。ならば私自身が可愛い孫を持つ頃に、また廻ってきてても不思議ではないという事。悲しい歴史を決して繰り返さない強い意志は、まず知る事から始まります。そして知るだけでなく、彼らの苦しみを自分や愛する人たちに置き換えられる現実的な想像力が常に必要です。

私は自分が大切にしてきた和太鼓を通じ、ひとつ新しい想像力を手に入れました。当たり前の事を改めて胸に刻むというのは、簡単に見えてなかなか日常で出会えない事です。

みなさんも、たった三百数ページに生きる、魅力的で人間らしい、命そのものの彼らに会いに行ってみてはいかがでしょうか。



胸に刻むというのは、簡単に見えてなかなか日常で出会えない事です。

# 随想

成蹊会誌用箋

## お国自慢

さかいただひさ  
酒井忠久

直木賞作家藤沢周平は鶴岡市の出身である。私は藤沢さんからの葉書三通を大切にもっている。「文化というものは保護保存する強い意志がないと残らないものだ」ということを学びました。荘内の文化の保護と保存にごくろうさまですが今後ともご尽力ください」と、その一言が暖かく励みとなる。一周忌のとき、鶴岡市松ヶ岡と東京・銀座で私達が主宰して藤沢周平追想展を開催した。藤沢周平の人気は高く大勢のファンからお越しいただいた。つい最近も東京世田谷文学館、宮城県の仙台文学館が主宰して追想展を開催したとこ

ろ、こんなに混んでいる文学館は初めてみたと地元の方がいうぐらい盛況であった。藤沢文学の魅力は、一般にいわれているように、卓越した描写力、美しい叙情性、端正な物語のつくりなどあげればきりが無い。架空の藩であるが海坂藩ものは、荘内藩の城下鶴岡をモデルとしたといわれ、物語はもちろんフィクションである。作家井上ひさしさんが、藤沢作品にしたがって作成した海坂藩城下絵図は、確かに鶴岡の町割りそのものである。最近、藤沢周平原作の映画化が相次ぎ、「たそがれ清兵衛」「隠し剣鬼の爪」「蟬しぐ

れ」「武士の一分」が話題を呼んだ。地元庄内で撮られていることから、そのセットをつかって映画を誘致しようと庄内映画村ができ、その作品として藤沢作品五作目の映画「山桜」（主演 東山紀之・田中麗奈・監督篠原哲雄）が今年春公開される。ご遺族の遠藤展子さんをして「まるで父の小説を読んでいるよう、本のページをめくるように父の原作の映画ははじめて」といわれるように素晴らしい作品である。是非皆様からご覧いただきたいものと思う。そして海坂藩の舞台で出てくる食についてはまさに庄内の食である。海の幸、山の幸、又在来野菜は京都について多いといわれる。ここで海坂藩のモデルとなった荘内藩鶴岡城下の歴史を簡単に紹介する。徳川四天王の筆頭酒井忠次は重臣としてよく役割をはたし、戦功をあげ織田信長、徳川家康から太刀を賜うなど、東三河の旗頭となり活躍した。その太刀 真光 信房は酒井家の重宝として国宝に指定されている。徳川信康、築山殿の一件では、ただ主家を思う余り辛い立場にたち、その後の二代家次、三代忠勝は、千葉碓井、高崎、高田、松代などに赴任し守りの要に徹した。鶴岡と支藩松山藩には徳川信康を祀る社が建立され、人

知れずお祀りをされてきた。この地庄内は、これまで武藤氏、上杉氏、最上氏と統治が変わったが、酒井家三代忠勝が元和八年松代から荘内に入部以降は動くことがなかった。寛永九年加藤清正継嗣忠広は所領没収のうえ、荘内に配流された。荘内藩では丁重に扱い、藩主は時々見舞いにもいったといわれている。天澤寺では毎年法要がおこなわれている。今でも熊本の方からは、加藤公が大変お世話になったと感謝され交流がづづいていく。七代忠寄は老中となり、江戸表で活躍するが長年のお役目は財政を逼迫させた。九代忠徳は、財政再建をめざし農政を改革し、財政が立ち直ったところで、文化二年藩校致道館を創立する。人心の荒廃は婉曲でも教育が肝要と、当時異学といわれた徂徠学をとりいれ、個性の尊重と自発学習の推進、会業（ゼミナール）を主とし、成績優秀なものほとんど進級させ、有為な人材育成につとめた。藩校致道館の理念に沿い、今で言う小学校から大学院まで整った学制と配置がなされている。徂徠先生答問書は、庄内藩水野元朗と匹田進修の間に荻生徂徠が答えたもので、遠国ゆえにいわば通信教育である。その原本の後半が致道博物館に現存している。当時江戸

をされてで武藤氏わつたが松代からなかつたは所領没荘内藩舞いにもは毎年法も熊本の話になついる。七で活躍す坦させたさし農政とろろでする。人安と、当りいれ、会業（ゼミナール）を主とし、成績優秀なものほとんど進級させ、有為な人材育理念に沿い、今で言う小学校から大学院まで整った学制と配置がなされている。徂徠明と匹田もので、める。そ現存して





では、この答問書が徂徠学の絶好の入門書としてベストセラーとなった。萩生徂徠は「梅が香や隣は萩生惣右衛門」と当時戯れ歌でうたわれたように人気が高かった。元禄の赤穂浪士討ち入り後の処分では室鳩巢などが賛美助命論を展開し紛糾、徂徠の提唱した法にのっとり、義にも叶った厳正公平な処分を決着したことで知られている。

藩校致道館は国の史跡指定となっており東北では唯一の藩校遺跡である。私が勤務する財団法人致道博物館の名称は藩校致道館に由来する。明治になって藩校致道館の廃校により、個人的に藩校の教えを習っていたが、個人的な党派をつくってはならないと、公正な団体のもとに酒井家学問所文会堂、戦後に財団法人以文会そして財団法人致

道博物館となって郷学の伝統を受け継ぐ。当館では、少年少女古典素読教室、論語、詩経や左氏伝などの考究を続けている。博物館として考古、民俗、歴史、美術、そして建造物の保存など幅広く庄内地域の資料の収集保存展示をおこなっている。また致道館文化振興会議が組織され、致道館文化を受け継ぐべき努力がなされている。そして、平成一九年六月漢字文化振興会主催の全国藩校サミットが鶴岡を会場に開かれた。これまで湯島聖堂、会津、多久、高梁、高遠で開催されてきた。シンポでは、地元から朝陽第一小学校校長、生涯学習施設里仁館館長、会津日新館閉谷学校、萩博物館の皆さんに全国各地風土環境にあったそれぞれの個人的な藩校があり、時代をこえた教育理念をかたっていた。今年には熊本で

開催される。天保十一年、突如として酒井忠器が長岡へ、長岡の牧野忠雅が川越へ、川越の松平齊典が庄内へという三方お国替えの幕命がくだる。庄内藩では早速長岡の調査にはいり、移る準備を万端整えると同時に留まることも視野にいれロビー活動も始めた。一方この幕命に大いに不安に思った庄内の人々は、幕府に国替えを取りやめるよう嘆願運動を開始する。各地で集会

を開き、藩の警護をやぶって山を越え、江戸へ行き直訴、駕籠訴を履行した。そういった努力が実って幕閣矢部駿河守の裁断により前代未聞の三方お国替えの幕命が取り消される。その後矢部は悲運な運命をたどるが、庄内の恩人として鳥海山の大物忌神社に矢部駿河守を祀る社を建立、今でも秋お祀りがおこなわれている。三方お国替えの記録三巻全巻五十メートルにもなる「夢の浮き橋」(致道博物館蔵)は千葉の国立歴史民俗博物館で公開され大変な反響をよんだ。このお国替えについては、藤沢周平の長編歴史小説「義民が駆ける」に詳しい。ただし領地安堵したが、その後の処置として千葉の印旛沼の工事を請け負わされ多大な出費を負わされることになる。さて幕末世の中騒々しくなってくる。会津藩は新選組の浪士隊を配下に京都取締を担当し、庄内藩は、新徴組等の浪士隊を配下に江戸取締を行う。薩摩の挑発をうけ、薩摩の三田屋敷の焼き討ちを主導、鳥羽伏見の戦いへと進んでいく。そして徳川慶喜が恭順の意を表し江戸開城、会津・庄内などには征討令がだされ、

何故の征討令かと赦免を嘆願したが却下され、奥羽列藩同盟を結ぶ。戊辰戦争へと突入、脱落する藩も相次ぎ最後に庄内藩の降伏の幕を引く。この戦後処理にあたって、旧藩主を上座にすえ礼儀たたく寛大な降伏処置をおこなわれたことに庄内藩では感銘を受けた。後に西郷隆盛の指示によるものと聞き、旧藩主以下七〇名が鹿児島を尋ね、西郷に教えを請うた。西郷からアドバイスをうけ、賊軍の汚名を濯ぐため、産業を興し社会に貢献しようとして旧藩士三千名が松ヶ岡を開墾し、蚕室十棟建設、蚕糸業を始める。現在国の史跡指定、松ヶ岡開墾場となつて現存の蚕室五棟本陣の建物は博物館や体験観光的に活用されている。西郷が遺韓論で下野し私学校を創設すると、他県人は入れないが庄内は特別と二人の入学が許可される。後の西南戦争ではこの二人は西郷とともに戦い戦死する。この時、庄内も西郷ともに立つのではないかと警戒を強めた政府軍、旧藩主兄弟二人が西郷の薦めにより七年間ドイツ留学中で留守であり、依頼がなく西郷の本意でないことを悟り無念の思いで自重した。明治二二年西郷の賊名が解かれ名譽回復なると東京上野に西郷の銅像が建つが、酒井もこの建立のための発起人の一人として名を連ねた。それだけでは庄内は気がおさまらなかった。西南戦争の時にともに戦い死する覚悟

伏の幕を引く。この戦後処理にあたって、旧藩主を上座にすえ礼儀たたく寛大な降伏処置をおこなわれたことに庄内藩では感銘を受けた。後に西郷隆盛の指示によるものと聞き、旧藩主以下七〇名が鹿児島を尋ね、西郷に教えを請うた。西郷からアドバイスをうけ、賊軍の汚名を濯ぐため、産業を興し社会に貢献しようとして旧藩士三千名が松ヶ岡を開墾し、蚕室十棟建設、蚕糸業を始める。現在国の史跡指定、松ヶ岡開墾場となつて現存の蚕室五棟本陣の建物は博物館や体験観光的に活用されている。西郷が遺韓論で下野し私学校を創設すると、他県人は入れないが庄内は特別と二人の入学が許可される。後の西南戦争ではこの二人は西郷とともに戦い戦死する。この時、庄内も西郷ともに立つのではないかと警戒を強めた政府軍、旧藩主兄弟二人が西郷の薦めにより七年間ドイツ留学中で留守であり、依頼がなく西郷の本意でないことを悟り無念の思いで自重した。明治二二年西郷の賊名が解かれ名譽回復なると東京上野に西郷の銅像が建つが、酒井もこの建立のための発起人の一人として名を連ねた。それだけでは庄内は気がおさまらなかった。西南戦争の時にともに戦い死する覚悟

伏の幕を引く。この戦後処理にあたって、旧藩主を上座にすえ礼儀たたく寛大な降伏処置をおこなわれたことに庄内藩では感銘を受けた。後に西郷隆盛の指示によるものと聞き、旧藩主以下七〇名が鹿児島を尋ね、西郷に教えを請うた。西郷からアドバイスをうけ、賊軍の汚名を濯ぐため、産業を興し社会に貢献しようとして旧藩士三千名が松ヶ岡を開墾し、蚕室十棟建設、蚕糸業を始める。現在国の史跡指定、松ヶ岡開墾場となつて現存の蚕室五棟本陣の建物は博物館や体験観光的に活用されている。西郷が遺韓論で下野し私学校を創設すると、他県人は入れないが庄内は特別と二人の入学が許可される。後の西南戦争ではこの二人は西郷とともに戦い戦死する。この時、庄内も西郷ともに立つのではないかと警戒を強めた政府軍、旧藩主兄弟二人が西郷の薦めにより七年間ドイツ留学中で留守であり、依頼がなく西郷の本意でないことを悟り無念の思いで自重した。明治二二年西郷の賊名が解かれ名譽回復なると東京上野に西郷の銅像が建つが、酒井もこの建立のための発起人の一人として名を連ねた。それだけでは庄内は気がおさまらなかった。西南戦争の時にともに戦い死する覚悟

伏の幕を引く。この戦後処理にあたって、旧藩主を上座にすえ礼儀たたく寛大な降伏処置をおこなわれたことに庄内藩では感銘を受けた。後に西郷隆盛の指示によるものと聞き、旧藩主以下七〇名が鹿児島を尋ね、西郷に教えを請うた。西郷からアドバイスをうけ、賊軍の汚名を濯ぐため、産業を興し社会に貢献しようとして旧藩士三千名が松ヶ岡を開墾し、蚕室十棟建設、蚕糸業を始める。現在国の史跡指定、松ヶ岡開墾場となつて現存の蚕室五棟本陣の建物は博物館や体験観光的に活用されている。西郷が遺韓論で下野し私学校を創設すると、他県人は入れないが庄内は特別と二人の入学が許可される。後の西南戦争ではこの二人は西郷とともに戦い戦死する。この時、庄内も西郷ともに立つのではないかと警戒を強めた政府軍、旧藩主兄弟二人が西郷の薦めにより七年間ドイツ留学中で留守であり、依頼がなく西郷の本意でないことを悟り無念の思いで自重した。明治二二年西郷の賊名が解かれ名譽回復なると東京上野に西郷の銅像が建つが、酒井もこの建立のための発起人の一人として名を連ねた。それだけでは庄内は気がおさまらなかった。西南戦争の時にともに戦い死する覚悟



重要文化財田麦保民家旧渋谷家住宅

でいたが其れをしなかったのは、西郷の思想・思いを後世に伝えたいからだとして西郷の教えを纏め西郷南洲翁遺訓を刊行、九州から東北まで全国に頒布してまわる。内村鑑三の愛弟子黒崎幸吉が鶴岡で学生に講演したときに「キリスト教」のことより「君たちは地元で編まれた西郷南洲翁遺訓をしっているか、これは日本に誇れる本」と紹介し、その時学生の長谷川信夫さんが刺激をうけ南洲翁遺訓を考究、ついには南洲会館、南洲神社をたて、南洲会を設立した。この南洲翁遺訓を社是に取り入れている京セラの稲盛和夫さんを何度か招聘し講演会をするなど現

在も活発に活動を続けている。以上のよう鹿兒島との縁から、昭和三二年に鶴岡と鹿兒島は兄弟都市盟約を結び、小学校、中学校、社会人など年代層にわたり広く交流が続けられている。このような海坂藩のモデルとしての鶴岡市、平成一七年には周辺の町村と合併し、東北二面積の広い市となった。平成二一年に藤沢周平記念館が開館予定となっている。藤沢ファンにとって待望の記念館と想っていたところ、親友で成蹊大学同期の松田修一さんからご紹介の中西健二さん、この藤沢周平記念館の仕事で鶴岡に来たという。藤沢さんの話をしながら楽しく会食をした。このように思わぬところで同窓生と会う機会が増えた。山形県教育委員長に就任された石坂公成さんは医学博士でラホイヤ・アレルギー免疫研究所名誉所長として国際的に活躍されている山形成蹊会の大先輩である。山形成蹊会初代会長として大変お世話になった庄内交通社長の本山彌さん、株式会社でん六社長鈴木隆一さんには、お忙しいのに誠実に事務局をひきうけていただいている。子供達に一日歩かせて郊外の文化施設を回る企画の協力依頼にこられた、ホノルルマラソンや鶴岡百キロマラソンに出場した健康的で活動

的な鶴岡北高の百瀬美奈子さん。山形成蹊会は多士済々である。「桃李もものいわざれども、下おのづから蹊を成

す」。成蹊同窓生は活躍中である。

致道博物館館長（政経・44年）

## 四半世紀めの坂上敦子

こはやし  
小林いずみ

敦子

小林いずみ



1980年9月27日、日本外洋帆走協会主催の大島・初島レースにおいて成蹊大学外洋帆走部4年の坂上敦子がトマホーク艇でレースに参加中落水し22歳の命を落としました。大学4年の私達は既に部艇「桃李」を離れ、それぞれが社会人の艇にクルーとして乗船していました。彼女が事故にあったその日は朝からの小雨で、9月とは思えない冷え込みの日でした。同じく他の社会人艇のクルーをしていた私はその日三崎の小網代にいたものの、レースには参加せず合宿所で所在なく時間を過ごしていました。夕方慶応の学生が私

のところ坂上の落水を連絡してきました。その時期現役学生は試験の最中で船には来ておらず、一番近くにいた私を探し出したというわけです。シーボニアにあるレース本部に駆込んでみると、既に初島沖での落水から2時間以上が経過しているものの彼女の救助は確認できていない状況でした。その後トマホークは船体を放棄し、乗組員は近くを航行中のギリシャ船籍の貨物船に救助されました。結局1週間にわたって続いた海上保安庁の捜索とヨット仲間の多くの協力で一月以上かけた石廊崎から九十九里までの歩行捜索にもかかわらず2人の遺体を発見することはできませんでした。事故から1週間以上、海上は毎日のように強い北風が吹き続け困難な捜索でした。卒業を間近にした仲間の事故死は社会に出

生は活躍中  
物館館長  
上の落水  
期現役学  
おらず、  
たという  
レース本  
島沖での  
ているも  
いない状  
は船体を  
中のギリ  
ましたそ  
を落とし  
た海上保  
くの協力  
九十九里  
2人のの  
せんでし  
上は毎日  
困難な捜  
仲間の事





トマホーク上の坂上敦子

て行く私達の人生観にさまざまな問いを投げかけていたように思います。

それから27年、昨秋のある日、突然成蹊会事務局から電話をいただきました。「坂上敦子さんのご家族に会いたいという方が学校にいらしたのですが、小林さんは連絡先をご存知でしょうか。夢に出てきた坂上さんのことをどうしてもご家族に伝えたいとおっしゃっているのです。」とのこと。体に旋律が走るとはまさにこの時の自分であったとおもいます。結論から言えば、27年前の事故当時学連に所属していた2学年下の他校の男子学生が、事故の晩に坂上と三橋氏から助けを求められる夢をみたのだそうです。彼は夢の中で2人を助けようと試みたものの、ど

うしても手が届かず引き上げることができないと謝ったところ、坂上は「大丈夫、ありがとう」といつて彼の夢から消えたのだそうですが、実は夢を見た晩にはまだ彼は2人の事故のことを知りませんでした。そして翌朝初めて2人の遭難を知り愕然としたそうです。夢の中でのお出来事とはいえ、「もし自分があの時手を伸ばして彼女を捕まえていれば助かったのではないか」という自責と、一方で「もし届かない手を伸ばして自分が彼女の側に落ちていたら今の自分はいないかもしれない」との思いが事件以来今日まで彼の中では錯綜しつづけていたのでしょう。本人のたつての希望で坂上のお姉様と一緒に東北にある彼女の墓参りをし、ようやく25年間心に溜まっていた重荷を下ろされたようでした。

私はといえば、事故当時、翌年に行われるポートピア博記念のサンフランシスコ・神戸の単独航海レースへの参加を迷っていました。前年大学3年時に行つた南太平洋への3ヶ月間のクルージングで自信を喪失し、それを何とか克服したいとスポンサーからの声だけで参加に心が揺れていました。今考えれば無謀極まりない事ですが、なにしる子供のとときから「探検隊員」にな



外洋汎走の仲間達と

りたいと思っていた好奇心の塊で、体だけは丈夫と来ているものですからはやる心はひとしおでした。結局坂上敦子の事故があり、これ以上家族を含め周囲に心配をかけることはできずにその話は断り、フツターのOLになる道を選択しました。しかしながら結果的には「探検隊員」根性はその後も消えることなく、仕事でも私生活でも相変わらず未知の世界に興奮する人生を送っています。

学生という夢の世界から実社会に出て、それまでの生活にはなかつた様々な人間関係や自分の力で生きていくという現実と直面していく大きな転換の

時期、彼女の死を経験した私達の仲間はおそらく、同期の学生達とは違つた何かを引きずつて社会人になつていったと思います。当時の我々の間には言葉にしない「何か」を共有していたのです。

それから四半世紀がすぎ、私にとつてのヨットは、それがセーリングであれ港での整備であれ「流れる時間の豊かさ」がなによりの贅沢です。日々の生活の中では時計を見ながらこの5分、この10分に何が片付けられるかを考えながら時間に追われ、30分、1時間の時間をケチケチしながら過ごしているわけですが、なぜかどこに向うでもなく風を受けて走る船の上で、水平線を眺めながら様々想いをめぐらす3時間、4時間は無駄に思えるどころか至福の時と感じます。忙しくなればなるほど「同じ釜の飯を食べ」「同じ時代を越えた」船の仲間との時間が自分の人生の宝と思える年齢になりました。そしてそこには目に見えない坂上敦子も共存しているようです。

メリル・リンチ日本証券 代表取締役社長(文・56年)

死を経験同期の学  
つて社会  
。当時の  
何か」を

半世紀が  
、それが  
であれ  
よりの整  
時計を目  
が片付け  
追われ、  
チしながら  
なぜかど  
走る船の  
々想いを  
に思える  
。忙しく  
「食べ」  
どの時間  
齢になり  
見えない  
です。  
子日本証  
年)

# 徳島成蹊会立ち上げ奮戦記

よこたけんじ  
横田賢二

昨夏(平成19年)7月下旬、暑い夏の真つ盛りの日でした。上京の折、思い切つて「成蹊会」の事務所を訪ねました。全国に「地域成蹊会」の同窓会

組織があり、その会合等を成蹊会誌等で見ると、徳島県にも「地域成蹊会」があればいいのになあとずつと思つていました。当日、全国に「地域成蹊会」がないのは、徳島とあと2、3県だけと聞かされ、成蹊会事務局から、



資料提供や開催に向けて協力していただけるとの話を頂き、帰りの電車の中で、面倒なことになつたなあと感じる自分がいました。

徳島県出身で、成蹊卒業生の人数が少ないのは覚悟していましたが、同期生は私一人でしたので、名簿(46人)の中から、設立の準備のための準備委員の人選から着手しました。

平成19年10月13日(金)に県内銀行にお勤めの山田氏(経済S57卒)と佃氏(工S59卒)にお声がけをし、あとは家内の高校時代の同級生で、偶然、成蹊卒の窪田さん(経済S58卒)に集まっていただき、「設立準備会」と称し、会席を持ちました。早速、全員が樺並木や吉祥寺の街での青春時代に戻り、各人、初対面とは思えないほど、盛り上がった準備会となりました。名簿の中で、最年長・大先輩の善成先生(善成病院院長)(旧高S25卒)を山田、佃、両氏と共に尋ね、発起人代表に就任頂く旨、ご了解頂き、いよ

いよ徳島成蹊会立ち上げに向けての下準備が整いました。

設立総会は、平成19年11月30日(金)午後7時から徳島市内の「ホテルグランドパレス徳島」にて開催されました。事前準備等のため、開催1時間前にホテルに到着し、案内看板と会場入口表示を見て、不安の中というか、「徳島政計会設立総会」と掲げられており、あわてて、修正依頼しました。

急な案内にもかかわらず、18名の県内在任卒業生を初め、成蹊会からは高橋事務局長(なんと驚き偶然、小生の高校時代の同級生が奥様でした)にお越し頂き、兵庫成蹊会から古川氏(高S41卒)、大阪成蹊会から山口氏(工H5卒)の来賓も含め、総勢21名での開催となりました。

横田が司会を務め、まず善成発起人代表にご挨拶を頂いたあと、高橋事務局長にご祝辞を賜り、古川氏の音頭で乾杯、祝宴となりました。

途中で全員の皆さんに自己紹介して頂き、成蹊に対する熱い思いや、それぞれの学生時代の楽しいお話に、会場は、大いに盛り上がりしました。諸先輩の方々から開催のお礼を言つて頂いたときには、開催して良かったと感じたのは、言うまでもありません。



高橋事務局長指揮により「成蹊校歌」合唱のあと、仙崎先輩(経済S47卒)による万歳三唱、そして、お聞きとなりましたが、ほとんどの方が二次会へも参加され、思い出多い、記念すべき一日となりました。

今後は諸先輩や発起人の皆さんのご意見をお聞きしながら、細く、息の長い成蹊学園同窓生活動を続けていけたらと考えています。

徳島のかなたから成蹊にまだまだ熱い思いを持ち続ける同窓生集団があることをご報告し、徳島在の成蹊卒業生の



長指揮、と、仙崎三唱、か、ほとん、思い、りました、輩や発起しながら、窓生活動、ます。たから成、徳島在





# 東京マラソン

しみずかずひさ  
清水和久

お知り合いがおられれば、徳島成蹊会までご連絡くださるよう、お伝えください。

最後になりますが、お力添えを頂き

ました成蹊会事務局スタッフの皆さんに厚くお礼申し上げます。  
(経・53年)

いよいよである。マラソンのスタートラインに立つときのわくわくする気持ちは他では味わうことがないくらいに心ときめく瞬間である。

マラソンは日本人にとってなじみの深いスポーツである。オリンピックや世界陸上でも日本代表の方の活躍は目覚ましい。成蹊出身の早川さんはホルマラソンで女子の優勝をしている。そこで私の文章である。マラソンと

いう文字でしか共通する部分はない。

というのも市民ランナーの中でも本気のランナーとたまたま東京マラソンに抽選で通ったからわくわくしているミナーなランナーでは意気込みが違い、私が後者であるから。それでもこのスタートラインに立つときの気持ちは運動会の徒競走の順番を待つくらいのおわくである。

マラソン未経験者にマラソンの話をするに決まって「私には完走できそうにない」という言葉が返ってくる。私だつて42・195kmでは途中で何度も止めたくなります。歩きたくありません(実際、歩いちゃいます)。

マラソンに少しでも興味ある方に私が申し上げたいのは、一度マラソンに参加してみたいかがですかということです。偉そうに百聞は一見にしかず

というのではなく、たくさんの方と一緒に走り出す。この場の雰囲気『わくわく』を感じてほしいからです。それじゃあ完走できないじゃないかと言われそうですが、完走できなくていいじゃないですか。途中で止めたっていいじゃないですか。走れるところまで走って、歩けるところまで歩いて、もうだめだなんて思ったらそこまで。

またマラソンに参加するには十分に練習をしてからと思込んでいるならば、本末転倒かもしれないけれどマラソンに一度出て『わくわく』を体験してみ、それから練習を少しずつ始めてみるのもいいんじゃないでしょうか。『わくわく』を思い出すことで練習も少し楽しくなります。練習の度にまわりがたくさんの方のランナーが走っているんですから。自分がペースを上げればたくさんの方のランナーを追い越し、歩いたらたくさんの方のランナーに追い越されるんです。

とは言うものの練習をあまりしないで参加した東京マラソン。この大会の注目度合いは他の大会の比ではありません。私はいままでも荒川市民マラソンと湘南国際マラソンに参加しました

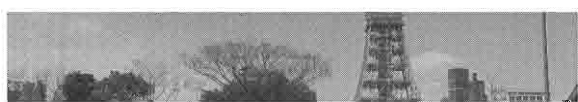
が、東京マラソンに出るといって周りの反応が違います。それはお正月の箱根駅伝ながらテレビで中継されるから。そして多くのタレントさんが参加するから。市民ランナーの中でもいろいろのエピソードを絡めてテレビに映るランナーがいるから。だから東京マラソンに参加するということは自分が注目されているかの如くの勘違いさえさせてくれます。

さらにランナーをわくわくさせるのが大都会の中を3万3千人が駆け抜ける光景。その日、東京は劇場になりました。新宿〜飯田橋〜皇居前〜日比谷〜品川〜銀座〜日本橋〜浅草〜築地〜豊洲〜有明。ランナーだけでなく沿



ランナーを出ます。その間にテレビに映るランナーがいるか加するといふかの

ランナーをわくわくさせるのに3万3千人が駆け抜ける光景。その日、東京は劇場になりました。新宿〜飯田橋〜皇居前〜日比谷〜品川〜銀座〜日本橋〜浅草〜築地〜豊洲〜有明。ランナーだけでなく沿





道の観客、ボランティアの方の協力なくしてはできあがらない劇場。

この中を走っていると感傷的になります。よく30キロを過ぎてからが本当のマラソンだと言われます。歩こうか否かを悩みながら走っている。そんなときに観客の声援を受けると涙がこぼれそうになります。観客の声援はランナーの背中を後押ししてくれます。ステキです。

そしてフィニッシュ。ゲートの直前まで歩くか否かの葛藤は続きました。ボランティアさんが完走者の首にメダルをかけています。みんな誇らしげです。この光景はステキすぎます。マラソンはいいですよ。

最後に支えてくれたボランティアの皆さんに感謝。

一世印刷(経・平5年)

# べつぷ 莊野美術館にご来館を

切絵(黒和紙)の裸婦と白和紙に描く水墨画と

庄野敏子

切絵(黒和紙)の裸婦

夫・庄野昌は、灘中学から成蹊高等学校を一九四五年に卒業・東京大学農学部農業経済学科を経て、当時アメリカの占領政策下の農林省(現農水省)農業普及部において、約二十年間日本の農業指導に当り、一九六九年日本工営株式会社海外コンサルタント事業部に勤務、滞在外国は二十ヶ国に及びました。飛行距離は、地球のまわり(四万キロ)を約二十六周程だと云い、残した手帖に刻明に記録されています。

彼が黒和紙をカッターで切って仕上げる切絵をはじめたのは、五十才からでふとしたきっかけから切絵を知り終生のテーマとも云える裸婦を死の直前まで、二十八年間切り続けました。

すべての色を吸収する黒一色の中に、流れる線と影の太さで浮かび出る、女の内面の美を秘めた裸婦は、思わず息をのみ幻想をささうもので「昭和の浮世絵」「幻想のエロチシズムをささう



庄野昌の切絵の世界」とも云われ、日本でこのような切絵作家は、他にいないと云われています。彼はオリジナルな切絵を作るにあたり『人類の歴史とともに美の対象として女の姿は、何千何万と描かれ刻まれてきているがこれからもそれは続けられることだろう。今まであまり描かれていなかった手法



で女の美しさを把えたいというのが、切絵の道に踏みこんだ動機である。  
線描写の日本画法と陰影描写の洋画法を組み合わせ、単純化を試みながら製作に打ち込む時間は楽しいひとときである。デッサン・下絵・切り込み・仕上げの各工程で出来上りを想定しながら、完成させていくのだが、思うようなものにならなかったり、思わぬ美

を把えた  
べつぷだ  
半画法と  
単純  
時間は  
ン・下  
で出来  
ていく  
なかつ



故 莊野昌 (旧高・20年)

1925 12月19日生  
 1945 成蹊高等学校卒  
 1948 東京大学農学部農業経済学科卒  
 同年 農林省勤務以後普及事業、  
 特に普及活動の指導に専念  
 1985 「莊野昌切絵」出版



しさにうたれたりというものが、これまで十年の過程であった』  
 『美人にもいろいろな美人がある。顔のつくり、表情は姿態、所作と結びついてその人の内面的美しさを醸し出しているが、その美しさを切取った線の流れと影の太さでどこまで描き出すことが出来るか当面の課題だ』  
 『和紙は光をやわらかく反射する性質を持つている。切絵をはじめ強く意識したことであるが和紙のこの特性

莊野敏子

1927 大分市に生れる



をどのように生かしていくか。私の切絵に与えられた課題の一つでもある』  
 今回掲載するにあたりオリジナルな彼の切絵裸婦を掲載出来ないことは意味がないに等しいと云えるし残念ではありません。  
 白和紙に描く水墨画  
 さて私の水墨画は、白和紙に墨と水を筆につけて黒く描く水墨画で、一九八四年千葉県農業改良課で農漁家の生

活改善を推進する仕事から退職後からはじめました。色のない墨の世界に魅せられて二十数年描いて来ました。色がない世界と云われますが、五色出ると云われ二度と描けない偶発的な表現は、モノクロの墨の幽玄な色の調和の世界でもあります。母や若くして逝った妹達への鎮魂歌にと描いた「地藏菩薩」や「牡丹華」、或いは「銀座六丁目」「タイ国の大理石寺院(マツト・ベンチャマ・ポピット)」「雨の上杉廟」等は、墨ならではの世界とも云えます。  
 美術館は、別府駅から近い静かな山の手であり約三十坪の館内は、ゆとりをもって三十点程展示可能なスペース(二十三坪)で、切絵と水墨画(墨彩画を含む)を常設し時々、企画展・貸画廊の他に水墨画を楽しみたい方々の教室も開催する予定で、年三回展览展示を考えられています。  
 東洋のナポリとも云われる、山と海と青い空の風光明媚な自然と、日本の湯量を誇るいやしの湯の町と、日本の古来の和紙で、切り出す幻想の切絵と水墨画の世界。三昧一体、美味しい話ではないでしょうか。別府を訪れる方々に是非観て味わっていただきたいと思えます。

表紙絵の言葉

情報図書館 JINSAI

私は文学部第一回の卒業です。四年間は楽しみも多く、一号館が主だった。それだけに授業の記憶を覚えていきます。もう少し勉強すれば良かった。

ケヤキ並木には、特に風景がありました。秋の紅葉がすばらしい。しかし、葉の落ちた冬にもなんとも言えない雰囲気がありました。そして新緑があつてくると、桜が満開です。新しくなった建物、それが「情報図書館」です。一階から五階まで、ガラス張りの吹き抜けですばらしい。そんな関係で油絵をやってみたら自分には、どうかな? いずれにしても、興味があります。

秋には、油絵の中で、川が流れているというのが好きです。奥多摩、高麗川、そして、京都(嵐山)、(渡月橋)へ。

光、反射、建物を勉強し、油絵でやってみようかなと思います。

岡田博史(文・44年)

紙絵の

情報図書館

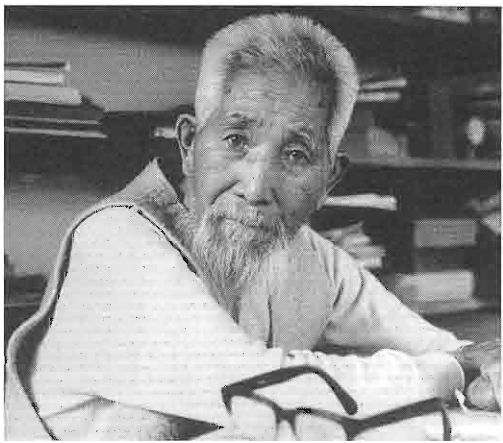
第一回もも多く、にけに授もう少し

には、紅葉が冷れた冬が、くると、た建物。一階の吹き抜け油絵をかな? おります。油絵の中のものが、そして建物を

岡田博

# 大久保捨蔵先生を偲んで

新島 健



大久保先生手造りの茶室「無着庵」書齋にて。  
(昭和43年頃)

じめると、成蹊の事務職員、学園関係者のご家族はもとより、学生、武蔵野電報電話局職員、新川病院の看護士など様々な弟子が稽古に集まりました。さらに、五日市の大悲願寺を核とする五日市茶道会発足等、アツという間に出稽古先も増え、ピーク時には弟子が五百名近くにもなりました。

先生の茶道は、世間一般に行われている稽古とは少し趣が異なり、細かい技術面よりも道(心)としての修養の感が強く、特に大学生が部活動として行うのに想応しいものでした。

教育者としての大久保先生の魅力は、生来の資質に加え、並み外れた努力によって築かれたものでした。

先生は、明治二十二年に丹波で生まれ、七才で仏門に入り、南禅寺で十年間の修業僧生活を送りました。その後、還俗して神戸に出るのですが、神戸では薙刀範師、園部秀雄(本名、園部たりた。後に先生が中村春二先生の了解を得て、成蹊女学校に呼び寄せ、指導を依頼)に剣道を、また、秀雄の夫、園部正利からは鎖鎌を、正利が開いている光武館道場(当時は、剣道では日本一の道場だった由)の内弟子となつてそれぞれ五年間、稽古しています。

併せて、小学校の教員も行いながら、神戸キリスト教会の福音にも接し、週一回の路傍説教を続けます。

中村春二先生の実弟、中村第三氏の勤務先(兵庫)の部下が、たまたま、大久保先生が行っているこの路傍説教を聞き、大変感銘を受けたことを、上司の中村第三氏に話されたところ大変気に入られ、是非、成蹊にと中村春二先生にご報告されたことでした。その後、第三氏が、二年越しで大久保先生を説得、学園見学の名目で呼び寄せた中村春二先生は、その日のうちに、大久保先生を教員として採用発令し、中学校舎監を任命、そのま

ま帰宅を許さなかつたそうです。私は中学から成蹊にお世話になりましたが、当時大久保先生は既に六十二才、中学の農作業担当教員の職にありました。

先生が担当された「農作業の時間」は、成蹊独特の授業だったのではないのでしょうか。全員で一斉に行う草取り作業、梅雨の終りに梅園の木に登つて梅の実を収穫したり、また広場の清掃などに汗を流しました。ときには「尻下ろせ!!」の号令の下、生徒は地面に尻を下ろして座り、先生の話を聞くのです。話が終った途端、大きな声で「尻をもめ!!」と号令が掛かります。冷えて痔にならぬ等、と具体的に説明されないのですが、生徒達は、その意味と配慮に気付きますので、皆一生懸命尻をさすります。

先生は、口ではあまり叱らず、生徒と行動を共にしながら、生徒が自ら気付くことを促す、いわゆる背中教えることに努められたのでした。

そんな先生に魅力を感じ、当時先生が顧問をされていた園芸部に入部、土仕事の楽しさを覚えました。特に種なしスイカが実り、先生と一緒に食したときには、自分達で汗を流して作業した喜びを強く感じたものでした。

先生はグラウンドの奥、学園が近くの農家と契約した、広い敷地の家に住んでおられました。時々先生から声が掛かると、授業が終了したら、柔道部の人達ではとひらめき、高校から親しかった長澤陽一君を集めて、柔道部から彼と吉岡、吉村両君の計三名が兼部で入会するから、交換条件として私も柔道部に入れと云われ、とにかく有難かつたので即決しました。先生も喜んで下さり、先生も彼等に期待していたようです。

とにかく体が細かつた私はその後は柔道部の稽古でヘトヘトでしたが、柔道部の皆さんの暖かさは忘れられません。こうして、先生と相談しつつ、先生に興味を持つてくれそうな学生をじっくり探すことにしました。女性では、一年の清浦さんが大久保先生に興味を持って稽古を始めてくれたのが第一号でした。その後、中間テストでノートから出題される科目があり、誰かノートを見せてくれる人がいないかと聞き回ったところ、友達が案内してくれたのが橋本昭夫君の下宿先でした。部屋に入ると、本棚に抹茶碗が置いてあるのがまず目に入り、すぐに興奮して大久保先生の話がはじめてしまいました。やがて、彼も、同じ社会科学研究会に

いる松永義明君を連れて来てくれたのです。こうして初年度の核となるスタートメンバーが揃い、昭和三十四年六月十三・十四日に成蹊大学で行われた四大学文化祭に、成蹊大学としては初の茶会の席を設けることが出来たのです。

当日は、柔道部のご協力により、長澤君が本館一〇七教室に、自宅のオート三輪で、柔道場のビニール畳を大量に運び入れ、汗汚れを拭きとって立派な和室が出来上がりました。メンバーはまだ少ないため、水屋等大事な裏方は成蹊茶道会が応援する等、成蹊茶道関係者一同が総力を結集しての感動的なお茶会となりました。なお、私は直前に柔道部の稽古



四大学文化祭茶会。(昭和34年6月13・14日)  
成蹊大学茶道同好会発足後、初の公式茶会。  
(本館1階・107号教室に柔道部のビニール畳を敷き込んで)

行っているこの路傍説教を聞き、大変感銘を受けたことを、上司の中村第三氏に話されたところ大変気に入られ、是非、成蹊にと中村春二先生にご報告されたことでした。その後、第三氏が、二年越しで大久保先生を説得、学園見学の名目で呼び寄せた中村春二先生は、その日のうちに、大久保先生を教員として採用発令し、中学校舎監を任命、そのま

ま帰宅を許さなかつたそうです。私は中学から成蹊にお世話になりましたが、当時大久保先生は既に六十二才、中学の農作業担当教員の職にありました。

先生が担当された「農作業の時間」は、成蹊独特の授業だったのではないのでしょうか。全員で一斉に行う草取り作業、梅雨の終りに梅園の木に登つて梅の実を収穫したり、また広場の清掃などに汗を流しました。ときには「尻下ろせ!!」の号令の下、生徒は地面に尻を下ろして座り、先生の話を聞くのです。話が終った途端、大きな声で「尻をもめ!!」と号令が掛かります。冷えて痔にならぬ等、と具体的に説明されないのですが、生徒達は、その意味と配慮に気付きますので、皆一生懸命尻をさすります。

先生は、口ではあまり叱らず、生徒と行動を共にしながら、生徒が自ら気付くことを促す、いわゆる背中教えることに努められたのでした。

そんな先生に魅力を感じ、当時先生が顧問をされていた園芸部に入部、土仕事の楽しさを覚えました。特に種なしスイカが実り、先生と一緒に食したときには、自分達で汗を流して作業した喜びを強く感じたものでした。

先生はグラウンドの奥、学園が近くの農家と契約した、広い敷地の家に住んでおられました。時々先生から声が掛かると、授業が終了したら、柔道部の人達ではとひらめき、高校から親しかった長澤陽一君を集めて、柔道部から彼と吉岡、吉村両君の計三名が兼部で入会するから、交換条件として私も柔道部に入れと云われ、とにかく有難かつたので即決しました。先生も喜んで下さり、先生も彼等に期待していたようです。

とにかく体が細かつた私はその後は柔道部の稽古でヘトヘトでしたが、柔道部の皆さんの暖かさは忘れられません。こうして、先生と相談しつつ、先生に興味を持つてくれそうな学生をじっくり探すことにしました。女性では、一年の清浦さんが大久保先生に興味を持って稽古を始めてくれたのが第一号でした。その後、中間テストでノートから出題される科目があり、誰かノートを見せてくれる人がいないかと聞き回ったところ、友達

が案内してくれたのが橋本昭夫君の下宿先でした。部屋に入ると、本棚に抹茶碗が置いてあるのがまず目に入り、すぐに興奮して大久保先生の話がはじめてしまいました。やがて、彼も、同じ社会科学研究会に

いる松永義明君を連れて来てくれたのです。こうして初年度の核となるスタートメンバーが揃い、昭和三十四年六月十三・十四日に成蹊大学で行われた四大学文化祭に、成蹊大学としては初の茶会の席を設けることが出来たのです。

当日は、柔道部のご協力により、長澤君が本館一〇七教室に、自宅のオート三輪で、柔道場のビニール畳を大量に運び入れ、汗汚れを拭きとって立派な和室が出来上がりました。メンバーはまだ少ないため、水屋等大事な裏方は成蹊茶道会が応援する等、成蹊茶道関係者一同が総力を結集しての感動的なお茶会となりました。なお、私は直前に柔道部の稽古

行っているこの路傍説教を聞き、大変感銘を受けたことを、上司の中村第三氏に話されたところ大変気に入られ、是非、成蹊にと中村春二先生にご報告されたことでした。その後、第三氏が、二年越しで大久保先生を説得、学園見学の名目で呼び寄せた中村春二先生は、その日のうちに、大久保先生を教員として採用発令し、中学校舎監を任命、そのま

ま帰宅を許さなかつたそうです。私は中学から成蹊にお世話になりましたが、当時大久保先生は既に六十二才、中学の農作業担当教員の職にありました。

先生が担当された「農作業の時間」は、成蹊独特の授業だったのではないのでしょうか。全員で一斉に行う草取り作業、梅雨の終りに梅園の木に登つて梅の実を収穫したり、また広場の清掃などに汗を流しました。ときには「尻下ろせ!!」の号令の下、生徒は地面に尻を下ろして座り、先生の話を聞くのです。話が終った途端、大きな声で「尻をもめ!!」と号令が掛かります。冷えて痔にならぬ等、と具体的に説明されないのですが、生徒達は、その意味と配慮に気付きますので、皆一生懸命尻をさすります。

先生は、口ではあまり叱らず、生徒と行動を共にしながら、生徒が自ら気付くことを促す、いわゆる背中教えることに努められたのでした。

そんな先生に魅力を感じ、当時先生が顧問をされていた園芸部に入部、土仕事の楽しさを覚えました。特に種なしスイカが実り、先生と一緒に食したときには、自分達で汗を流して作業した喜びを強く感じたものでした。



先生はグラウンドの奥、学園が近くの農家と契約した、広い敷地の家に住んでおられました。時々先生から声が掛かると、授業が終了したら、柔道部の人達ではとひらめき、高校から親しかった長澤陽一君を集めて、柔道部から彼と吉岡、吉村両君の計三名が兼部で入会するから、交換条件として私も柔道部に入れと云われ、とにかく有難かつたので即決しました。先生も喜んで下さり、先生も彼等に期待していたようです。

次弟、先生のお宅に直行し、先生が畑で収穫したサツマイモを、庭の中央にある穴蔵(戦時中の防空壕を、かなり埋め戻したもので、梯子を掛けて一メートルも下りると、きれいな赤土層となり、三メートル近く下から横に過度な大きさの貯蔵スペースがありました)に運び込むを手伝いました。時にはお孫さんと私と一つ違いの克英さんも一緒に作業しました。

この穴蔵の中は、一年中温度が殆んど変わりません。夏は大変涼しく、仕事が終わると、奥様が用意されるお菓子とお茶を梯子で下ろしたものでした。中が酸欠とならぬよう、ロウソクでなく、懐中電灯を持ち込んで、仏教やキリスト教の話などを、お菓子を食べながら楽しく伺ったものでした。

私が高校二年の頃には、事務職員の方達による成蹊茶道会の稽古が活発になりました。成蹊茶道会は、当時総務部の岩下順太郎さんが、お宅から奥様のお茶道具を事務所に持ってきて来たのを見た女性職員が、「私達も茶道を習ってみたい」との声に、岩下さんが交渉、大久保先生が、「よし、まかせとけ!!」と、月謝は、抹茶とお菓子代でスタートしました。

大久保先生らしいと感心したのは、「職員は、夕方仕事で疲れた中、腹を空かせて来るのだから、菓子は安くて少しは腹の足しになる甘食が良い」と。また、皆が稽古でき、早く終わらせるためにと、当時の古い木造の中・高校家庭館二階の大広間に、七輪を三つ揃えて火を入れ、道具も乏しかったので、釜の代りに、給食で使っているアルマイトのヤカンに乗せ、フタを外して稽古していました。この方式は時間も節約でき、効率も良いので、皆さんこれを「ヤカン点」とか「ヤカン点

今秋、成蹊学園のご配慮により、史料館の一角で「大久保宗碩(宗道の雅号)と成蹊大学茶道部五十年展」を開催します。

先生をご存知の皆様には、是非お運びいただき、想い出話などさせていただけたく思っております。

予告

大久保宗碩(捨蔵)先生と成蹊大学茶道部五十年展

ご案内とご協力のお願について

主旨

中村春二先生のご薫陶を受け、成蹊学園の生徒、学生達と、常に行動を共にしながら人間教育に心血を注がれた先生の実績を顕彰するため。

内容

先生が数多く遺された(指導目的で書かれた)書、篆刻、手紙など。

開催期間

出で収穫 穴蔵(戦時中)の、きれいなから横に(ました)はお孫さん作業し ひと変わ 秘ると、 下で下ろ いう、口 仏教 長べなが 方達に ました。 成蹊さん かに持つ ぼも茶道 氏が交渉、 じと、 しました 職員 きて来る 足しにな とき、早 場の中、 つ揃え 釜の代 ヤカン ました。こ ので、 ヤカン点



# 人 成 蹊 働 く

## 自分探しとインターネット

大谷 久行

高校・大学の頃自分は何になりた  
いのか、何が一番向いているのか、  
を迷った方は多かったと思います。  
芸術系・運動系に長けていれば比較  
的自分の進路を見つけやすいですが、  
普通はせいぜい理系か文系かを判断  
するのが精一杯のようです。

私の場合、受験時にたまたま数学  
と英語が良かったので工学部を受け  
ました。理工の中では一番文系に近  
いと考えられた経営工学（現・理工  
学部情報科学科）です。就職時にま  
た進路に悩むのは昔も今も変わりま  
せん。商社に行きたかったのですが  
軒並み落ちて、当時発展目覚ましいス  
ーパー業界に入りました。ダイエー  
と言っても東京の人は知らないの  
何をしにスーパーに行くのかよく聞  
かれました。お店に出たり、バイヤ  
ー業務を望んでいたのですが、工学  
部卒が邪魔をして、情報システムや  
物流業務に長年携わりました。転機  
はアメリカ出張です。まだまだアメ  
リカから学ぶことが多かった小売業  
界は多くのツアーを生みました。そ  
こで出会ったコンサルタント業界が

転職のきっかけになりました。小売  
業の仕組みはともアナログ的でマ  
ーケティングとかコンピュータ・シ  
ステムはコストと思われており、営  
業支援に役立つと思われるまでに時  
間がかかりました。POSにより販  
売データが溜まり、顧客DBにはお  
客様のプロフィールや購買履歴が溜  
まりました。でも活用はまだまだで  
す。誰にどのタイミングでどのよう  
な商品を案内すれば購入に繋がるか  
……という分析・企画です。この仕  
事は今でもベースとなつていま  
す（マーケティングシステムとかCRM  
とか言われている）。

一方で気が多い私は全く異なる分  
野への挑戦（バイトですが……）を  
していました。会社人の時代は15年  
ほどありましたが、そのうちの12年  
間司会を習い実践していました。友  
に多かったのが結婚披露宴です。友



人の司会から始まって、プロ登録を  
してからは年に50回は行っていました。  
週1回のペースです。多いとき  
は1日3回というのもありましたが、  
さすがに集中力が続かず、相手にも  
失礼なので1日複数回極力止めまし  
た。それでも紙に残っている数字で  
通算700回は超えています。成功  
して喜ばれた宴ではまた関係者から  
お声がかかり、また次を紹介して頂  
きます。いまだに年賀状を頂いてい  
る方もいます。顧客満足（CS）と  
か顧客サービス向上のためのデジタ  
ル分析はコンピューターを駆使して  
行ってきましたが、こうした触れ合  
いには敵わないことを思い知りまし  
た。ちょうど独立をした頃、時間が  
自分で自由になることもあり桜祭に  
加わりました。それがきっかけで同  
窓会副会長も続けています。成蹊人  
として経験を積む一方、マリ共和国  
で現地支援活動をしている人と出会  
い、その人が代表のNGOに加わり  
ました。そのNGOも7年前にNP  
O法人になり私は理事をしています。  
成蹊同様な人間関係から始まり続け  
ているものです。イベント好きな私は  
アメリカから10数名呼んでアフリカ  
ンダンスを企画したり、チャリティ  
ーコンサートを実施したり自分ので  
きる範囲のことをしています。

さて自分探しですが、皆さんはい  
かがですか？20代の頃は自分にあつ

た仕事を見つけそれで稼げれば一番  
良いと思っていました。また齢を重  
ねると自然と見つかるものと思つて  
いました。でも多くの定年を迎えた  
方々がそうであるように自分探しは  
続くのです。20代と異なるのは時間  
と体力と諦観です。環境や精神状態  
によっても異なります。私の場合は  
“人が喜ぶこと、その人の自己実現  
のお手伝いをする”が自分の生  
き様のような気が最近しています。  
20代、30代の社長がいる会社の外部  
役員・顧問もしています。それもサ  
ポートビジネスの一つです。ボラン  
ティアでは桜祭のお手伝いも16年目  
になりました。多くのOBの出演者  
を見ていて、ワクワク感を感じます。  
そこには出演者だけでなく来場者を  
楽しませるシナリオ作りと運営が必  
要です。イベントも経営も適役のス  
タッフがいなくともうまくいきませ  
ん。多くの人は個の人間として、結婚式  
の後には葬式まで自分をアピールで  
きる場がないのが実状です。自分  
自身の報告会”などができれば面白  
いと思つています。自分探しは年齢  
や環境・時代によっても異なります  
が、どこかで他人にも発表したいも  
のだと思います。演奏活動・絵画や  
写真などの趣味発表等々、人生ほど  
イベント性の高いものはないでしょ  
うから……。

ピー・アール・アイ（工・48年）

それで稼  
ました。  
つかるも  
多くの定  
るように  
代と異な  
す。環境  
ります。  
その人  
ること”  
が最近  
長が  
ています  
の一つ  
のお手  
多くの  
クワ  
たけ  
りオ  
も経  
とうま  
人間  
で自分  
が実  
などが  
す。自  
よつ  
人にも  
演奏活  
発表等  
いもの

・アイ

## 小学校同窓会会長に 就任して

根岸孝昌

相川前会長が昨年7月より成蹊会の会長に就任された事により、昨年12月より後任を仰せつかった成蹊小学校昭和32年卒の根岸でございます。直しくお願い申し上げます。

ご承知の様に小学校は2005年より28人学級の4クラスとなり、従来以上に先生と生徒のコミュニケーションが良くなっている事と存じます。又、本年7月末を目指して新校舎も建築中でございます。



## 新同窓会長就任挨拶

小学校OB会と致しましては、4月桜祭の時に校長先生をはじめ何人かの先生方に時間を取って頂き、小学校の現状をお話戴き、又、施設の見学もさせて頂いているのがここ数年の恒例となっております。

又、11月頃には総会を開いて各分野の方に講演をしていただいております。

上記の2例が主たる行事でございますがここ数年活性化されてきた小学校の同窓会活動を引き続き継続するべく微力ながら努力する所存ですので、皆様方のご支援ご指導を重ねてお願い申し上げます。

(小・32年)

平成十九年度(秋) 叙勲受章者

(敬称略)

瑞宝中綬章

田中 誠之(旧高22年) 東大名誉教授

旭日小綬章

故金子 喬一(政経35年) 佃権社長

平成二十年度(春) 叙勲受章者

旭日重光章

中島 啓雄(高31年) 元参院文科委員長

瑞宝中綬章

齋木 俊男(高26年) 元ギリシヤ大使

旭日小綬章

小出善三郎(政経28年) 元市原市長

(本会調べに漏れがある場合には、お知らせ頂ければ幸いに存じます)

## 成蹊の風景



ければ幸



# 学校・年次会

## のんびり

### 小学校49回卒業 合同クラス会

平成19年9月29〜30日（1泊2日）、小学校49回（昭和40年

卒業の学年合同クラス会が、新舟清先生・伊東良延先生・大西貢先生をお招きして卒業生36名参加の下、思い出に満ちた箱根寮で開催されました。あいにく



天気恵まれず富士山を拝することはできませんでしたが、29日の昼からは芦の湖畔の「Acqua Pazza」でオープンランチも企画され、島根や奈良からの遠征組をはじめとする多くの参加者で賑やかに始まりました。

夕刻、40年以上前の夏の学校・秋の学校の思い出深き乗風台に新しく建った、素晴らしい箱根寮に一同感激しながら3先生をお迎えます。

夏の学校さながらに、先生方やクラスメイトと懐かしい話でわいわいがやがや盛り上がる。お風呂を共にすれば気分は小学生！和やかに乾杯へと進みます。

小雨降る肌寒い夜となり、夕食後に予定の「夜の乗風台散策」は中止となりましたが、旧箱根寮が建っていた駐車場で少々湿ってしまった「花火」を楽しみました。

その後は、東京から持参したワインとチーズ、ソーセージなどで冷えきった身体を温め、仕上げに前回のクラス会の時に作成した（小学校の思い出スナップ）のスライドを間近に投影して、40年前の楽しい思い出の中の自分たちに対面。心も温まり、夜が更けるまで話は尽きませんでした。

残念ながら翌朝も雨のため乗風台での「朝礼」は中止となり、夏の学校の歌を皆で歌うことができず、ちよつと残念でした。

久保田 潔（小・49年）



### 止水会

小学校第二十三回（昭和十四年）卒の渋谷光長先生最後のご担任クラスで構成される同窓会は「止水会」という名称で毎年会合を開いています。平成十九年度は十月十七日（水）に、有楽町のニュートーキョー八階「高尾」で正午より集って息災な再会を喜び合いました。昭和十四年三月に卒業した私どもの



仲間は全員で三十一名でしたが、現在生存している方々は二十三名です。そんな状況の中での参加者は男性九名、女性四名、合計十三名と多くの方がたが足を運んでくれました。日米開戦前に母校を後にした仲間の年齢もすでに八十から八十二と歳を経ています。歳相応の飲み食いを交えて過ぎし日の思い出を語り合い、楽しい時間を過ごしました。

食後には、改めて同じ会場、一人の退席もなймаゝ二次会を開き植山（旧姓山本）玲子さんが「波左間・夏の学校」における小学四年生当時の日記を持ち出して朗読され、参加者全員で昔を偲び、よき思い出の数々に

おしゃべりの花が咲きました。最後に、全員で来年の幹事を決めて再会を約し、年寄り集団ですから十五時には散会をしました。

小林元信（小・14年）

### 稲垣友美先生を 偲ぶ会

稲垣先生は二〇〇七年九月十九日に九十歳で亡くなられました。天寿を全うされたとは言え、教えず一同の哀悼の気持ちは切なるものがあり、偲ぶ会を十一月五日に催しました。

先生の教え子全員を対象にする膨大な人数になり、偲ぶ会の趣旨とは程遠くなるため2学年に限定しました。その2学年とは先生が当時の成蹊初等学校にご着任になった時の担任の学年と疎開学園で担任されたその一年下の学年です。先生は戦時色濃くなった昭和十八年に愛知県からご着任になり戦後は中学に移られて多数の学級を担任され成蹊大学でも教授を務められ昭和五十六年に退

やべりの世に、全吉く再会を体から十五世

小林

### 友美 会

先生は二に九十歳八寿を全う一同の言の切なるものがあり十一月に催し先生の教え子膨大な人数日とは程遠く限定し先生が当時担任になった学年と疎開学園の一年下の学年です先生は戦時色濃くなった昭和十八年に愛知県に中学で担任され退



職されました。

東京に米軍の空襲が迫った昭和十九年九月に六年生から三年生までが親から離れて箱根の寮に疎開学童として集団生活をすることとなりました。(寮の建物は現在のもので違って木造の粗末なものでした) 当時は食糧も乏しく、運営される先生方のご苦労も大変だったと推察されます。

先生と生徒は文字通り寝食を共にした訳ですが、その中で先生は厳しくも温情に溢れ且つ生徒には公平無私に接せられ、真に教育者であられました。

偲ぶ会当日には二十七名が集まり、先生の思い出話を話し合い改めて先生の御遺徳を偲びました。稲垣先生のご冥福を心か



らお祈り申し上げます。

追記

昭和五十六年に集って先生をお祝いした小学・中学で稲垣先生が担任だった者達のお祝会残金が利殖の結果四十五万円ありましたので成蹊学園に寄付させていただきました。 (高・26年)

神谷正彦



宇野重昭先生喜寿のお祝いの会

とセレモニー

昨年11月11日宇野ゼミ同窓会

総会〔於第二学生食堂〕で、同窓会有志により刊行した『宇野先生喜寿記念文集』を先生に贈呈いたしました。宇野先生の喜寿のお祝いは、今回の総会に先立つ、2006年夏、前回の総会とともに行っております。記念文集の刊行は、お祝いの会後になりましたが、お祝いの会から記念文集刊行までの一年半は、喜寿をお祝いするセレモニーの年と称せるほど、同窓会の活動が多様に展開しました。以下、その概要を簡略に、ご報告、ご紹介させて頂きたいと思っております。

喜寿のお祝いは、2006年7月22日、奥様、ご子息〔宇野重規東京大学准教授〕とお孫さん、来賓として成蹊大学ご在職当時、同僚であられた法学部加藤節教授、亀嶋庸一教授をお招きし、10号館12階ホールで開催いたしました。来賓のご挨拶、ご家族のスピーチ、記念品贈呈のほか、『音の花束』と銘うった同窓生によるお祝いのギター演奏などを盛り込んだ第一部、祝賀のパティ第2部の2部構成で行いました。お祝いの会を開催した後、宇野先生とともに訪問する予定をたてながら、出



発数日前に現地の交通事情によりやむなく中止となった幻の旅行計画——中国革命の聖地『延安』訪問を実現したいとの要望が急浮上、どうせ行くのであれば、ぜひ『延安』をテーマに知見を広げようということで、以前より宇野ゼミ同窓会の活動として行っていた「生涯学習研究会」の統一学習テーマに『延安』を設定、2ヶ月に一度ずつの割合で、「歴史・経済・文化・思想」の四つの窓口から延安或いは中国を考える学習活動——事前勉強会を始めました。

延安旅行は、島根県立大学・同短期大学学長、理事など、複数の重職を兼任され、さらに新たな学問領域「北東アジア学」の創生に尽力される先生の超多忙なご予定から、残念ながら同窓

生のみの訪問となりましたが、昨夏ついに実現(8月22日〜8月26日)しました。そのほか、経済学部と上海名門三大学との友好交流により成蹊を訪問していた留学生との交流をきっかけに、東京と上海で、二度の国際シンポジウム(草の根交流、民熱交深——「日中間題を考える」など)も開催しました。

『宇野先生喜寿記念文集』には、こうした同窓会の近2年間の活動、及び、生涯学習研究会の学習成果報告となる論文、残念ながら延安訪問を見合わせられた宇野先生への延安訪問報告などを盛り込んでいます。喜寿を越えられ、ますます精力的にご活躍され、日本と世界を飛び回っておられる宇野先生に、同窓生一同、過労を案じながらも深い啓発と励みを頂き続けております。2008年度の総会も間じかに控える現在、宇野先生のますますのご活躍とご成果を祈念し、喜寿のお祝い会とこれをめぐる活動についてご報告いたしました。お祝いの会の詳細、記念文集については宇野ゼミ同窓会HP (<http://www1.park-city.ne.jp/unosemi>) をご覧いただければ幸いです。どう

みの訪問 ついに実現(8月22日〜8月26日)しました。そのほか、経済学部と上海名門三大学との友好交流により成蹊を訪問していた留学生との交流をきっかけに、東京と上海で、二度の国際シンポジウム(草の根交流、民熱交深——「日中間題を考える」など)も開催しました。

『宇野先生喜寿記念文集』には、こうした同窓会の近2年間の活動、及び、生涯学習研究会の学習成果報告と延安訪問報告など、宇野先生への延安訪問報告などを盛り込んでいます。喜寿を越えられ、ますます精力的にご活躍され、日本と世界を飛び回っておられる宇野先生に、同窓生一同、過労を案じながらも深い啓発と励みを頂き続けております。2008年度の総会も間じかに控える現在、宇野先生のますますのご活躍とご成果を祈念し、喜寿のお祝い会とこれをめぐる活動についてご報告いたしました。お祝いの会の詳細、記念文集については宇野ゼミ同窓会HP (<http://www1.park-city.ne.jp/unosemi>) をご覧いただければ幸いです。どう



ぞよろしくお願い申し上げます。

湯山トミ子 (法・48年)

# 大学卒業20周年



昭和62年3月卒業生の大学卒業20周年4学部合同の同窓会が11月17日、母校成蹊大学10号館12階ホールにて開催されました。司会を久保昌也さん(法学部)に、開会の辞を福泉貴子さん(工学部)にお願ひし、ご来賓としてお迎えした、橋本竹夫学園専務理事並びに相川一成成蹊会会長から祝辞を頂戴し、会長の乾杯のご発声で開会されました。約90名の同窓生が集い、懐かしい仲間との再会に会場のあちこちで楽しい歓声があがり充実した時を過ごすことができました。最後は代表幹事の高野功さん(工学部)より挨拶をいただき、校歌を声高らかに歌い、会を締めくくりました。

開催の準備は口コミでの情報収集が大半で、細心の注意をはらいました。至らない事も多々



法学部



工学部



法学部



経済学部

ありましたが、多くの方より参加してよかったという言葉をいただき、頑張った甲斐がありました。

今回は10年後の30周年ですが、今回の出席者は勿論、今回参加が叶わなかった同窓生にも再会できることを楽しみにしています。

す。(フウハウを伝え、役立てていただけたらとの思いから現役の写真部員に撮影を、次年度の幹事候補の方に受付をお願いしました)

幹事一同

# '75年卒業中学C組クラス会



昨年11月に吉祥寺某所にて1975年卒業、中学C組のクラス会を開催致しました。南尚夫先生は濃紺のスーツに30年前のままの優しい眼差しが英国紳士を思わせます。出席番号順に生徒を呼びお話はされたものもの、やんちゃな生徒達との格闘の日々を思い出された後はすっかり弱つてしまい、杖をついてご帰宅されました。

一方の生徒達はプレゼント交換や映画同好会「プロダクション75」の秘蔵映像に阿鼻叫喚、果てはカラオケボックスに場所を移して大絶叫大会と、かわらぬ友情を確認し意気揚々と街をあとにしました。

天国の黒木君、福島君、深水君、川村さん、小暮さん、そして北村君の6人も盛上った事でしょう。会った瞬間に時間が埋まってしまふ、そんな仲間です。尚、連絡の取れない人がいま

## 成蹊の風景



山田 眞(中・50年)

(max\_22@mac.com)

幹事・山田眞

す。伊藤君、小川君、加藤さん、武石さん、浜田さんの連絡先をご存知の方、幹事までお知らせ頂ければ有難いです。会は2年毎に開催予定、他クラスの方の飛入り参加も歓迎です。



山田

22@m

山田眞

参加も歓迎です。



# 高校卒業40周年



成蹊高校第18回卒業40周年同窓会は去る12月1日(土)午後2時より午後4時まで、大卒学10号館12階ホールに於いて行われました。

中学卒業生3名、高校卒業生143名、ご担任の先生方を含む13名のご来賓の計159名の方々にお集まり頂きました。式次第は以下の通りです。



■司会…荒金哲彦・荒金文字 (ともにF組)

■祝辞…橋本竹夫成蹊学園専務理事・相川一成成蹊学生会長

■乾杯…谷 正紀成蹊中学・高等学校校長

■スライドショー「高校時代の思い出」…堀勝美 (F組)・望月常次 (C組)

■「100円硬貨ゲーム」…横山哲郎 (D組)・横川敬一 (B組)

■校歌斉唱…村上研二 (D組)・飯田重次郎 (A組)

■閉会挨拶…吉益裕二 (C組) (敬称略)

午後4時より午後5時半まで、同会場においてクラス別2次会を開催いたしました。

なお同窓会開催前に行われた「成蹊学園ミニツアー」は由比範一 (E組)・浅井正文 (C組)・小林(渡辺)久美子・横山哲郎 (ともにD組) の4名写真撮影は前田行雄 (H組)・内田秋人 (F組) の2名が担当しました。

後日、同窓会当日のスライドショー「高校時代の思い出」とスナップ写真200枚弱はCDに収め、参加者を含む関係各位に郵送させて頂きました。それ

では、また5年後にお会い出来る事を楽しみにしております。

内田秋人 (高・42年)

# 成人を祝う会



去る1月14日(祝)第57回高校卒成人の集いが吉祥寺第一ホテルで開催されました。

当日は200人の同級生が集まり、久々の再会を祝い、楽しいひとときを過ごすことができました。

会を開催するにあたり、委員が動き始めたのは約3ヶ月程前でしたが、成蹊会から話をきいたのは一度、それも式の内容は自分たちで決めていいとのことでした。卒業したとはいえ、成蹊の特色である自主性が重んじられていると感じました。

私たちは池田元くんを中心に何度か集まり、式の進行、ゲームの内容、景品決めなど話し合いながら着々と準備を進めました。その甲斐あってか、当日はたくさんの方が集まり、楽しみ、ビンゴも成功し無事に式を終え



ることができました。

委員をまとめあげてくれた池田元くんをはじめ、式を作り上げてくれた委員の方々ありがとうございました。また、式を開催させてくださった成蹊会の高橋さんありがとうございました。またこういう会をもつて同級生との仲をより深めたいと感じました。

小松原愛美 (高・平18年)

# 高校7回同窓会



「人間国宝柘屋巳太郎君お祝いの会」

私も高校第7回卒業生は、平成5年11月に高校卒業50周年の会を開催したのを機に、各組のクラス会に加え合同の会を定例的に開こうという機運が高まり、昨年は「瀧前会長ご苦労さん会」を開催しました。

今年も、昨年歌舞伎長唄で「重要無形文化財保持者(人間国宝)」に認定された「柘屋巳太郎(宮沢雅之)君お祝いの会



柘屋巳太郎君とお弟子さんによる演奏

# 校7



「人間国宝柘屋巳太郎君お祝いの会」

私も高校第7回卒業生は、平成5年11月に高校卒業50周年の会を開催したのを機に、各組のクラス会に加え合同の会を定例的に開こうという機運が高まり、昨年は「瀧前会長ご苦労さん会」を開催しました。





を2月13日に「うらく青山」で  
行い、40名が出席しました。

17時半、石田恭一君の挨拶、  
荷見博子さんからの花束贈呈に  
続いて、杵屋巳太郎君とお弟子

さんによる三味線と唄のスペシ  
ヤルライブ。会場には演奏の舞  
台と黒御簾がセットされ、杵屋  
巳太郎君の解説付きで曲調の違  
う数曲の演奏を目の前で聴ける  
という大変豪華な催しでした。

歌舞伎なじみのない者にとっ  
ても杵屋巳太郎君の解説により  
演奏の場面のイメージがつかめ  
更に至近距離での演奏は迫力満  
点でした。



懇親会も久しぶりの集まりで  
大変盛り上がり、最後は杵屋巳  
太郎君の三味線による伴奏で校  
歌を歌い、大変に楽しい会を閉  
じました。

当日の雰囲気をお伝えするた  
め、写真を数点添えました。成  
蹊会ホームページにも写真が掲  
載されており、またD組のホー  
ムページには動画を掲載してい  
ますのでご覧下さい。

(<http://caiman-web.hp.infoseek.co.jp/index.html>)

三浦 健(高・31年)

### はちの子会 (上期)



2月16日、寒さも少し和らい  
だ土曜日の午後、阿佐ヶ谷の瀟  
洒なレストランでのクラス会に  
三々五々19名の方が参加されま  
した。今回は少し遅いランチ(和  
風コース料理)を囲んでお喋り  
を楽しもうという趣向で、予定  
していた3時間は瞬く間に経過。  
2次会はカフェで、鮎と日本酒  
を楽しんだ3次会まで参加され  
た方は「今日は8時間も喋り続



けたヨナ!」と、ほろ酔い加減  
でご機嫌でした。

リタイア後の生活を満喫され  
ている方、またそれを心待ちに  
されている方、健康上のトラブ  
ルと格闘されている方、またそ  
れを克服された方、見かけは  
好々爺然とされている方、まだ  
まだ現役だぞ!という方、本当  
に同い年でもそれぞれ。まあ  
それでも、皆さん人生の紆余曲  
折を経て、その最終コーナーへ  
の突入をそろそろ意識せざるを  
得ないお歳。  
今までの、年一回のペースで  
のクラス会では、我々の歳(?)  
になると、種々の記憶を繋ぎ留  
めておく為には、1年というス  
パンは余りにも長い。そこで今

年はあと1回(下期の会を)予  
定しております。

山田昌樹(小・40年)



3月2日に中高のテニスコー  
トで恒例の『清忠会』が開催さ  
れました。長年中学校硬式テニ  
ス部の顧問を務めてくださった  
清水忠明先生の還暦を祝う会と  
して4年前に中学テニス部OB  
が学校でテニスを開催したの  
ですが、これを機会に『清忠テ  
ニス会』と称して毎年この時期  
にテニスをを行っています。中  
学で3年間テニス部に在籍して



いても高校のテニス部へ入部し  
なかつた人や高校のテニス部を  
受験勉強などの諸事情で途中退  
部してしまった方々が多数いる  
のでそういった方々にも広く声  
をかけて集まっていたらいい  
です。

卒業後はずっとテニスを続け  
ている方もそうでない方も懐か  
しい学校で先生と一緒にテニス  
を楽しみその後吉祥寺で懇親会  
を行いました。先生は私達がお  
世話になった30年前と殆ど変わ  
らないプレー姿を披露してくだ  
さり楽しくも厳しかった当時を  
懐かしく思い出しました。

水本桂子(文・57年)

### 小学校卒業 10周年



3月2日(日) 成蹊大学10号  
館12階ホールにて、成蹊小学校  
第82期(平成10年)卒業10周年  
記念同窓会を開催いたしました。  
東組担任の酒井務先生、西組  
担任の白尾一郎先生、南組担任  
の木村祐孝先生、国際学級担任  
の大塚章子先生、わが学年担当

も高校のこ  
つた人やま  
勉強などに  
くしまつた  
てういつた  
りて集ま

来後はず  
る方もそ  
子校で先  
しみその後  
いました。  
になった。  
いプレーヤ  
深しくも懐  
しく思い出  
水本桂子

### 小学校 10周年



2日(日) 成蹊  
館ホールにて  
第82期(平成  
同窓会を  
担任の酒  
担任の白尾一  
木村祐孝先生  
大塚章子先生



カメラマンの菅野保様をお迎えし、約60名が集結いたしました。この10年間全く会わなかった友もいれば、昨日まで顔を合わせていた友もいて様々でしたが、皆童心に返り先生と戯れる様子を見ると、楽しかった思い出が頭を過りました。

メインイベントとし、組ごとに近況報告を1人1分程度で行い、同窓生の今までの10年間、そしてこれからの進路などを確かめ合いました。最後の先生方のお言葉は、昔を懐かしむと共にこれから社会で頑張っていこうという気にさせられる内容でした。

また、当日は本会の前にスポーツ大会を小学校体育館で開催し球技をして汗を流し、後に二次会を大学第一食堂で開催いたしました。

最後に、小学校卒業10周年というタイミングで初めて開かせていただき、多大なるご支援をくださった「成蹊会」及び学園関係者の皆様、体育館を貸していただいた横田誠仁先生、ありがとうございました。

小山央人（小・平10年）

## 小学校昭和46年度卒業生同窓会

成蹊小学校 昭和46年度卒業生の同窓会を2008年3月15日（土曜）に国立の雅月（がげつ）で開催しました。

低学年東組と高学年東組の担任でいらした亀村五郎先生をお招きして、卒業生50名と共に旧交を温めました。小学校卒業以来、初めての全クラス合同同窓会となり、懐かしい友人と久しぶりに再会し、心む時間を過ごしました。



卒業生ひとりひとりが近況報告をし、亀村先生の話をお聞きした後、先生のアカデオン演奏にあわせ、「故郷」、鉄道唱歌、「校歌」を全員で合唱し、しばし、小学生に戻った気分を味わう事が出来ました。5時までの予定でしたが、集合写真を撮った後も旧友同士の楽しい懇談が続ぎ、予定の時間をオーバーしてしまいました。

準備期間が短かったため、メールあるいは電話での案内のみとなり、同窓生全員に連絡することが出来ず、お声を掛けられなかった方にお詫び申し上げます。来年もまた亀村先生とたくさんさんの同窓生にお会いできることを楽しみにしております。

佐藤千恵美（小・47年）

## 大学卒業10周年

3月15日（土）、快晴のすがすがしい青空のもと、大学10号館12階ホールにて卒業10周年記念同窓会が開催されました。

卒業生と学園関係者を含め200名以上が参加し、盛大な会となりました。法学部卒業の原田大輔さんと文学部卒業の越智有紀さんの司会で、法学部卒業の永井孝郎さんの開会の挨拶に始まり、成蹊学園理事長岸曉様、成蹊大学長栗田恵輔様にご挨拶いただきました。また、成蹊学園伊藤昌弘様からは、学園の近況についてのご紹介があり、成蹊会会長相川一成様の乾杯により歓談がはじまりました。

食事を楽しみながら、昔話に花を咲かせつつ名刺交換をする方、久々の再会に笑顔で話しながら小さなお子さんと一緒に参加の女性の姿もあり、卒業から10年という時間をあらためて実



文学部



工学部



感じました。そんな楽しい歓談の時間もあっという間に過ぎて、校歌を久々に斉唱し、経済学部卒業のたしましんな楽しいう間に斉唱し





経済学部



法学部

鈴木美樹子さんの閉会の言葉によりお開きとなりました。

同窓会を企画し開催の費用を負担いただいた学園に深くお礼

申し上げます。ただ実際には年会費の納入状況が思わしく無いとのこと。今後の同窓会および成蹊会発展のためにも、皆様への年会費納入を呼びかけて報告いたします。

押切孝雄 (法・平10年)



### 小学校同窓会委員会

4月6日桜祭の折、小学校体育館に43名のご参加を賜り小学校同窓会委員会が開催されました。根岸会長のご挨拶に続き、金納校長他4名の先生方より小学校の現状についてお話をうかがいました。

金納校長より昨3月の卒業式で卒業生が延べ一万余り近づいてきた事や本年の新生入生は全員21世紀生まれである事が披露されました。「子供は一つのエネルギーであり、個々はその総体である。」という中村春二先生の理念のもと、生徒のエネルギーをどう引き出すのか、「自立、連帯、創造」をキーワードとされていらつしやるとのお話でし

た。

大場教頭からは新校舎を如何に生徒が心待ちにしているか、内部も廊下を広げワークスペースを設けて、全て南向きにした等のご紹介がありました。又、環境への配慮・自然との親しみもテーマであり、ビオトープや太陽光発電が設置されているとの事です。9月に引越しの予定です。

木下教務主任より学園百周年記念事業としての資料の編纂が紹介されました。近代教育史での成蹊教育の位置づけを示すもので、卒業生の証言も大切であり、調査・資料提供の協力をお願いがありました。4月より東西南北4クラス制になりました。少子化並び一貫教育を目指し付属小学校新設が増える中、入学希望者は微増で推移しており、私立学校への期待にどう応えていくのか、一日一時間を生徒とどう接するのが大切になって来ているとお話がありました。木下総務主任より2年生の総合学習「働く人」について紹介がありました。関東バス営業所見学を通じ、生徒はバスで周りに気を配る様になり、地域・公共機関との協力によるマナー学

習に繋がり、後日関東バスより生徒によるポスター作成の依頼があり、車内マナーや安全を呼びかける数種類30枚がバスの中に貼られる予定です。

武藤研究主任よりは教員全体で取り組んでいる研究のご紹介がありました。成蹊の特徴である小学校課程で専任教師がいる理科、美術、体育、音楽を中心に生徒に単目毎に何を学ばせるかの研究との事です。又、小中教育懇談会を通じての中学校教員との情報交換も紹介されました。中学教員に授業を解放し、参観を通じ小学校が何を大事にしているのか感じてもらうものであるそうです。

水田 照 (小・43年)



### 高校卒業50周年

昭和三十三年高等学校卒業の五十周年記念同窓会は、一年前に桜祭の当日にと決めて準備に入りました。ここ十年毎年二回の例会を開き、歩く会、猛虎会、カラオケ、ライブとなにかにつけ

て会って、名簿はきちんとしているし、ホームページまである仲間である。例会はずっと六〇名程度の出席であったが、なんとかしばらく会わない連中にも会いたいとクラス幹事は手紙を書き、電話もして、なんと一三五名の出席となった。

卒業後一度も学校へ行ったことがない人もいて、希望者は桜祭の学校へ集まってキャンパスツアー。当時の校舎配置図も用意して、今とのちがいに驚きの声。学んだ中学校舎も見取めだ。

吉祥寺第一ホテルのパーティーは、年令を考えてシッティン



んていて、仲間である程度のかしば云いたい、書き、電話、丑名の出席後一度、はい人も、子供へ集、。当時、んだ中、今と、年令を考

グビユッフェ。宴会場は満杯。開会に先立ち、後輩のプロ、アパッチ君に頼んで別室で一人二ポーズのポートレート撮影。「イヤだ」という人もいたが、この年でのキチンとした写真があつてもいいと素直にポーズをとっていた。

会は、すべて逝くなられた五人の担任の先生と物故者二十八名への黙禱で始まった。黙禱は凝念の姿勢でゴーンという鐘の余韻に会場は静寂につつまれたが、あとはガヤガヤ、ガヤガヤ、司会者の声も届かない。スクリーンに卒業アルバムや持ち寄った約五〇〇枚の写真が投影された。カラーは一枚もなく、すべて白黒。若かりし頃の面影がなつかしい。

この学年にはジャズとハワイアンの中のオジサンバンドがあつて今も活動している。今回は一つになってオールスターズを結成。ヴォーカルもあつて三〇分のステージを盛りあげた。校歌をうたい、二十五人五段に並んで記念写真を撮って散会。元気に二次会へ出かけていった。  
相川一成(高・33年)

### 桜祭船越会



勝手を知った会員は三々五々やってくる酒を酌み交わし始めています。盛りの過ぎた今年の桜は少しさびしかったけれど、高卒以来は50年振りに会った人も多い笠原泰道君を中心に部屋の雰囲気はすぐに満開になってしまいました。

その後96歳になられた船越先生の元気な様子が幹事より報告され会はさらに盛り上がりました。先生の信条なども披露され師は常に師であるとの思いを一同強く抱きました。

最後は恒例の先輩の訓示です。初めてこの会に参加された浜口昌夫氏に加え常連の寺田

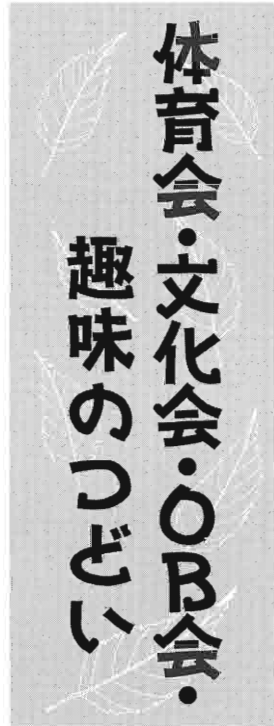


明・城戸毅・本城邦彦の4先輩による例によって前向きな話で我々後輩は元気をもらいました。

桜の下で集合写真を撮ってか



## 体育会・文化会・OB会 趣味のつどい



ら会はお開きになりましたが、写蹊会・尾張屋・庄屋とコアメンバーはここから本番です。  
木野修造(高・36年)

### 成蹊柔道部 八十年記念集会



旧制成蹊高校の柔道部として発足した成蹊柔道部は、今年で創部八十周年を迎え、平成十九年十一月二日に、学園の十号館

ホールで正午から記念式典を行った。講道館からは嘉納館長と外国遠征にご配慮をいただき、当日記念講演をしていただいた安部十段、学習院からは島津久厚名誉院長、香港遠征でお世話になった麦耀祥氏ご夫妻、成蹊

学園からは橋本専務理事と相川成蹊会会長、歴代の監督の方々にもご出席いただき、また長年にわたりお互いに切磋琢磨してきた学習院、武蔵大学、成城大学柔道部の先輩も参加され、六十名を越す柔道部OBに、大学

高校の現役部員も参列し、先ず式典を行った。  
筆者が開会を宣言し、成蹊柔道会角田会長の挨拶、ご来賓の祝辞に続いて、柔道部の発展に尽力された故谷岡喜久蔵、故尾崎健二、早川欽之助、山本勲、長沢陽一の五氏に対して感謝状と記念品を贈呈した。続いて安部十段から、ご自分の海外で柔道を教えた経験を含め含蓄のあ



るお話を記念講演として拝聴することができた。

その後は懇親会に入り、ご来賓の祝辞、鏡開きの後、奥野顧問教授の発声で乾杯し、現役部員を交え歓談の一時を過ごし、部歌と校歌を斉唱し、ますますの精進を誓って散会した。

島尾忠男(旧高・19年)



話を記念話とができ

の後は懇親の祝辞、鏡授の発声交え歓談と校歌を進を誓つ

島尾忠





## 籠球部 80周年の集い



成蹊学園にバスケットボール部が誕生してから80周年記念行事を昨年11月18日に盛大に開催いたしました。昭和2年（1927年）4月に旧制7年生高校の籠球部として生まれ、昭和6年には全日本選手権において高校単独チームとして優勝し日本一の快挙を成し遂げるなど数々の輝かしい成績と歴史を刻み込んだ伝統あるクラブにふさわし

く数多くのOBや関係者にご参加いただきました。

当日は、我が学園同様伝統ある学習院（二昨年に創部60周年）に協力いただき大学体育館にて中学、高校、大学をそれぞれ迎えて招待試合を行い、両校OBご父兄が学生のプレーに熱心に声援を送られました。

その後、大学10号館に場所を移し100名を超えるOBの方々を中心に記念式典を行いました。皆昔懐かしい顔ぶれに歓喜され思い出話しが尽きず、旧制高校で活躍された若林農林水産大臣もご挨拶の場面では出席されていた諸先輩に恐縮する場面などもございました。この大成功をきっかけに学園の一貫教育同様、中学から大学までバスケットボールを通じたクラブ活動の継続が図れるようOB会活動を活発にして参りたいと思います。

稲川由太郎（経・61年）



## 第4回英語会 OB総会



昨年11月24日土曜日に恒例の「第4回成蹊大学英语会OB総会」を大学構内第二学生食堂にて開催致しました。当日は、11月末にも拘らず、天気も良くまた樺祭の初日でキャンパスは学生、家族連れ等賑わっており、我々OB会も総勢50名程の諸先輩後輩の方々に参加して頂きました。

本会も4回目となり、徐々にですがOB会の存在が700名を超える会員の方々に認知されるようになってきた思いがします。

OB会では、グラウンドシニアによる開会宣言に始まり、自己紹介、ビンゴゲームまた恒例の英語会エール、最後は全員で陣を組み成蹊大学の校歌斉唱で終わり、またの再会を誓いお別れとなります。毎回開催時間が、3時間超にも及び、皆さん飲み食い語らう時間がそれでも足らず、それから三々五々懐かしい



吉祥寺界隈に場所を移し夕方近くまで旧交を温めている先輩後輩の方々の姿が大勢みられます。今年もまた元気で楽しく集う会にしたいと幹事一同願っております。有難う御座いました。

三浦 隆（法・49年）

## 成蹊テニス会



昨年12月9日（日）、毎年恒例のテニス懇親会が学園大学コートにおいて開催されました。

当日は晴天の下、成蹊テニス会瀧秀彦会長（政経9回）の挨拶の後、庭球部OB・OG・先

生方の32名と、現役男女28名が対抗戦形式にて競い、清水護先生（旧制高校校長）の起草による観覧席の記念プレート「我が友よ 君輝かば 我舞わん」が見守る中、熱戦を繰り広げました。オムニコート工事が平成20年3月末完成で予定され、コートでは最後のテニス懇親会となりました。

テニスを満喫した後、学生会館に会場を移し、対抗戦での戦績・クレイコートでの思い等々のテニス談義を通じ、現役との懇親、OB・OG間での旧交を温めました。

終わりに参加者一同にて、両角現役男子主将の音頭にて一本締めを行い、現役男子の5部昇格、女子の3部昇格を祈念し、盛会裡に終了しました。

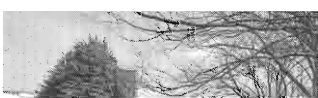
内海和男（法・58年）

32名と、対抗形式にて旧制高校校長の起草による観覧席の記念プレート「我が友よ 君輝かば 我舞わん」が見守る中、熱戦を繰り広げました。オムニコートでは最後のテニス懇親会となりました。

終わりに参加者一同にて、両角男子主将の音頭にて一本締めを行い、現役男子の5部昇格を祈念し、盛会裡に終了しました。

内海

## 成蹊の風景



# 準硬式野球部 OB総会

準硬式野球部は、2月16日(土)ライオン(新宿センタービル店)に於いて毎年恒例のOB総会を開催致しました。

高井昌史OB会長(S45卒)以下の役員人事、決算予算報告現役への支援等、課題は無事承認されました。

創部50年を超える我が部のOB総会は、OBと現役とのコミュニケーションを主旨とし、シーズンの結果報告のみならず、4年生就職先紹介や新4年生の就職懇談会等、OBと現役が準



硬の継続と飛躍の為に一致団結し、協力体制を組んでおります。また、近々迎えます成蹊100周年事業への参画も考慮し、少額ながら記念事業への寄付もさせて頂きました。

現役とOBの交流の場を通じ、現役への支援をより一層拡大し、体育会本来の「勝利」と「人間形成」という目的達成並びに成蹊の益々の発展に貢献できますよう、一同一丸となつて尽力致します所存です。

今後とも皆様からのご支援、ご教示を賜り、前後裁断で適進して参ります。

山須普也(法・61年)

# 大学ラグビー部 甲南大学定期戦

木枯らしの吹き始めた平成19年12月16日(日)、学園グラウンドにおいて、池田智監督(高33回)の率いる大学ラグビー部は、甲南大学チーム(関西大学Bグループ)を迎え、定期戦を行った。

甲南大とは、昭和の始め、両

校が未だともに、旧制高校であった頃から、親交、交流があった間柄であり、夫々のOBの応援がおくられる中、熱戦が展開された。

ゲームは、成蹊大学チームが平成19年度より関東大学対抗戦Bから、「Aグループ」に昇格したその実力を見せ、フォワード、バックスの集散、突進力に勝るところから、前半は29-0で成蹊のリードで終り、後半に入り、更に4トライをあげ、55-0のスコアで、勝利を収めた。

尚、大学ラグビー部は、昨年度は、「関東大学対抗戦Aグループ」に昇格した結果、強豪の諸大学チームと対戦することとなり、早稲田に5-108、帝京大に3-80、明治に0-86、日本体育大に9-40、筑波大に14-18、慶應に7-48のスコアで夫々苦杯を喫したものの、11月24日(土)の江戸川陸上競技場における青山学院大との最終戦では19-7でこれを破り、貴重な勝利をあげ、一勝六敗の成績で終了した。

又、12月8日(土)、熊谷ラグビー場で、学習院(対抗戦Bグループ2位)との入替戦では57-

7のスコアで、勝利を収めた結果、「A」に残留することになった。昨シーズン、大学ラグビー部に多くの皆様方からご声援をお



くつていただいたことに対し、OBの1人として、御礼を申し上げるとともに、来たるシーズンでも何分の応援をいただければ幸いです。

原 一郎(政経・28年)

# ラグビー部 卒業生を送る会

平成20年3月9日(日)、大学10号館12F大ホールにおいて、成蹊ラグビー部の父母の会、同ラグビー部により、中学、高校、大学チームの現役部員、OB、コーチ、監督、父兄の方々、200名近いメンバーが集まり盛大に行われた。

会は、大学チーム主務、村田哲生君(経4年)の司会で進められ、父母の会を代表して、20年度大学チーム主務、藤巻洋平君(法4年)の父上から卒業生へ贈る祝いの言葉が始まった。

関東ラグビー協会副会長でもある貴島健治成蹊ラグビー部会長(政経12回)より、昨シーズン、大学対抗戦Aグループで緒戦の秩父宮での早稲田とのゲ

ていただいたの1人とするとともに何分の応援をいただければ幸いです。

原 一

# ラグビー部 卒業生

成20年3月12F大ホールにおいて、成蹊ラグビー部により、中学、高校、大学チームの現役部員、OB、コーチ、監督、父兄の方々、200名近いメンバーが集まり盛大に行われた。

は、大学チーム主務、村田哲生君(経4年)の父上から卒業生へ贈る祝いの言葉が始まった。

関東ラグビー協会副会長でもある貴島健治成蹊ラグビー部会長(政経12回)より、大学対抗戦Aグループで緒戦の秩父宮



ームで、多くの観客を動員し、善戦した大学チームを始め、中・高チームの健闘を讃えるとともに、労いの言葉があった。

又、成蹊ラグビー部は、15年先の2023年に、創部100周年の記念の年を迎えるので、これに向けて、大学チームは、毎年大学選手権に、高校は、同じく花園の全国大会に出場する。又中学は同じく東日本大会に出場し、優勝することを「ビジョン」として掲げ進みたい。そのため、今後、OB及び関係の皆様方に何分のご支援をお願いしたい旨の挨拶があった。

中・高チーム監督の土屋嘉彦先生より、夫々が卒業あるいは進学してもラグビーへの情熱は失わないよう、又大学チーム池田智監督（高33回）からは「チームワーク」の大切なこと、負けた時の悔しさを忘れず、これをステップとして前進してほしいとの励ましの言葉がおくられた。

以前、高校チーム監督であった渡辺一郎先生のご発声で、一同で乾杯、交流懇談の場となった。

昨シーズン「大学対抗戦A」で、早、慶、明など強豪チーム



を相手に、善戦したメンバー数名を含む卒業生に対し、記念品の贈呈があり、卒業生側からは監督、コーチ、父母への感謝の言葉がのべられ、又、夫々の就職先が披露され、これに温かい拍手がおくられた。

ラグークラブ現役強化委員長小田切賢太郎氏（経17回）より同クラブの紹介、活動状況についての説明があった後、参会者一同、来たるシーズン、各チームが、新メンバーにより、更なる健闘することを期待し、中、高、大学の一体感のある成蹊ラグビー部ならではの催しも盛り上った雰囲気の中、大学チーム藤巻キャプテンのリードで部歌を合唱し、終了した。

原 一郎（政経・28年）

### 体育会蹴球部



2007年度OB総会&祝会  
3月22日（土）は大変暖かく、桜のつぼみが爆発寸前の陽気でした。

12時より、中瀬会長（53年卒）・山下副会長（63年卒）・岩田先輩（旧制48年卒）にご出席いただき、07年度のOB総会を開催いたしました。  
そして13時より、去年（主将・



宇田川）の20年ぶりの関東大会進出を祝し、記念のレセプションを挙行いたしました。

会場は奇しくも20年前関東昇格記念（主将・渋谷88年卒）のパーティを開いた第二学食で、OB四柳（85年卒）が学生を称え「水戸黄門（伴奏入り）」を絶唱したのも今は昔。

松尾監督（78年卒）から「工夫と努力と情熱でチーム一丸となって成し遂げた、素晴らしい奇跡であった」と、卒業する4年へはなむけの言葉があった。  
夏半ば、OB西沢（91年卒）

と3年高橋（川越東）の1発芸対決があり、実力伯仲でOB・学生から大喝采。

08年度主将・伊藤から、卒業生への謝辞と本年の決意が述べられ、卒業生の宇田川・周布・畝村・伊藤・小川・星・宮本・川・望月・酒井・鈴木から、OBと下級生へ謝辞があり4年間の想い出や新OBの決意が語られました。

最後、全員で声高らかに校歌斉唱し、本年度の「栄光ある勝利」を誓い、散会いたしました。  
七戸一生（文・48年）

十高橋（山

主将  
謝辞と下  
卒業生  
伊藤・小  
望月・酒  
下級生へ謝  
い出や新  
しました。

後、全員で  
し、本年度  
を誓い、散  
七戸

## 業界・企業のひびく

### 旧三井海上 成蹊会

成蹊大学からの旧三井海上へ

の入社が始まりは昭和32年であります。その後、その方のご尽力により、昭和39年から継続採用路線が確立されるようになり、42年入社組が決まってやっと10名規模になりました。それでは、とばかりにその内定者も入れて旅行に繰り出したのが会の始ま

社の始まり  
。その後  
り、昭和  
が確立さ  
入社組が  
候になり  
りにその  
に繰り出



りであります。

その後も毎年2名程度入社するようになり、旅行だのゴルフだのと楽しんでおりました。現在は合併により三井住友海上火災保険会社となり、成蹊大出身者は数百名規模になっている筈ですが、正確な把握が困難なご時世になり、全員を対象とする成蹊会を開催するのが難しい状況になっております。

そこで、今般「お世話になった朝比奈大先輩を囲む会」という趣旨で久しぶりに集まろう、という趣旨になり、平成20年2月6日旧三井海上OB（含む地

方在住の方々）を中心に、連絡可能な在京の現役組にも声をかけて約30名が集まり、小規模だった頃の成蹊会を懐かしみながら懇談致しました。

広瀬益朗（政経・41年）

## 三井生命成蹊会



去る2月21日、丸の内旬彩庵にて、三井生命成蹊会が開催されました。2年ぶりの開催となつた今回はOB・現役を含む総勢13名が出席致しました。

会自体は大きくありませんが、その分一人一人と様々な話ができ、OB・現役の垣根を越えて大いに親睦を深めることが出来ました。

自己紹介では近況報告及び成蹊学園在学時の思い出も語られ盛り上がったのと同時に樽並木に囲まれた成蹊学園で学んだという繋がりも実感致しました。

また、今回から新たに新人総合職のメンバーも加わり三井生命成蹊会の更なる発展を期待させる会となりました。



今後、この三井生命成蹊会がより結束の強い会になつていければと願っております。

萩原淳平（法・平18年）

## 成蹊VZ会



私たちは、成蹊学園を卒業し、獣医、または、畜産関係に進んだものの集まりです。会長は、日本生命科学大学、名誉教授黒川和雄先生です。世界的腸内細菌学者の光岡知足先生も会員です。毎年桜祭の会場内で集会を行っております。

ところが最近、黒川先生を



始め、高齢化が進み、若い方の情報が集まりません。成蹊出身の、獣医、畜産関係の方、ぜひご一報ください。

谷澤動物病院 谷澤浩二（成蹊高校 昭和46年卒）  
〒130-0003

墨田区横川4-7-10  
TEL03-3621-4038

卒業生は、この分野で、かなりすごい方が多いですよ。いつも昔話だけでなく、最近の知見未来について語り合っています。

谷澤浩二（高・46年）



## 第10回 櫻会



## 第10回

櫻会は、日本アイ・ビー・エムに勤務する成蹊卒の同窓会です。4月18日（金）夕刻、広尾の中華料理店、筑紫楼にて総勢21名が集合し、行われました。

今年には記念すべき第10回目の会合ということでスペシャルゲストとして日本アイ・ビー・エムの最高顧問で前経済同友会会長の北城さんにご参加いただけることとなり、我々櫻会のメンバーとしては願ってもない大変栄誉ある会合となりました。会合は幹事長の大内剛さん（工89年）の司会でスタート、最初に北城さんにスピーチをいただきました。北城さんは、中村春二先生が創設された成蹊の個性と自由を尊重する教育理念にも造詣が深く、一同大変驚きと深い感銘を受けました。引き続き北城さんに乾杯の音頭をお取りいただき、熱気あふれるムードの中スタートいたしました。また

IBM OBであり櫻会創立者

会は、日勤務する4月18日華料理店が集合しは記念すいうことして日本高顧問で城さんにとなり、しては願る会合と事長の士の司会でさんにすた。北城が創設さるを尊重す深く、一を受けまんに乾杯き、熱気スタートい

MOB





で元IBM理事の内田洋輔さん（法86年、現アスクール執行役員）、遠く九州福岡から元IBM理事の長浜好数さん（経81年、現福岡データシステム株式会社）や綱木佐代子さん（法95年、現アスクール株式会社勤務）も駆けつけてくださり一層会は盛り上がりました。筑紫楼の名物フカヒレ料理を舌鼓を打ちながらしばし歓談、そして全員から近況についてのユーモア溢れる報告が続く、会場は笑いと成蹊ならではの和気藹々とした雰囲気につつまれました。そして幹事の今泉壮平さん（法99年）のご結婚が報告され、花束贈呈が行われると会の熱気は最高潮に達しました。またスペシャルゲス

トの北城さんは、各テーブルをひとつずつ回られ、私たち一人一人に暖かいお言葉をかけていただき、一同感激いたしました。みな時を忘れてそれぞれ昔話に花を咲かせ楽しい時間が過ぎていきましたが楽しい時間もまたたくまに過ぎ、最後に門脇愛さん（法04年）の一本締めでお開きに。最後に北城さんを囲んで記念撮影、皆別れを惜しみまた

再会を誓い合い、みなそれぞれ三々五々、二次会へと広尾の街へ消えて行きました。これまで年に4回開催していた櫛会は今年から正式に年に一回総会という形で開催し、総会とは別に懇親会は定期的に行うこととなりました。最後に、幹事の大内さん、今泉さん本当にご苦労様でした。

江口俊朗（法・53年）

## 地域のこびと

### 上海成蹊会

2008年1月21日に社団法人成蹊会の相川一成会長をご来賓にお迎えして「上海成蹊会新忘年会」、そして日本へ帰国する事が決まった「山田一夫さん

（経S45）歓送会」が開催されました。開催場所は上海成蹊会メンバーである江原亜希子さん（経H6）が総経理を勤める「味道淋」という中華レストランです。調味料の味りんを使った日本人の口に合うやさしい中華料理を提供してくれます。上海にお越しの際には是非一度お試し下さい。場所は上海市の八万人体育館近くの飛州国際広場5Fです。

ところで、なぜ「新忘年会」という名称かと言うと、元旦を過ぎ日本式に新年会。春節（旧正月）前で中国式に忘年会という訳で毎年開催しています。会の方は、先ずメンバーが揃うまでの時間を利用して、上海成蹊会副会長の星淳一さん（経S57）より5/24・25に開催される大学対抗ゴルフに関する案内がありました。大学対抗ゴルフは今年が第9回大会となります。第2回大会に上海成蹊会は優勝しています。このゴルフ大会は個人スコアは競わず、あくまで学校の名誉のために戦うという趣旨の大会で上位に入賞すると校歌を歌う権利が与えられます。毎年校歌斉唱を目指して参加をしています。

さて、メンバーが揃い東小園謙さん（政経S39）の乾杯のご発声で会が始まり、曾我部裕行上海成蹊会会長（経S50）のご挨拶を頂きました。成蹊学園創立100周年記念事業への寄付を上海成蹊会として行うために会員から寄付を募る活動を展開中ですが、更なる寄付を皆様に呼びかけました。引き続き、相川会長のご挨拶では成蹊学園の現状や成蹊学園創立100周年



記念事業に関してのお話を頂戴しました。上海成蹊会メンバーは小中高大の卒業生の他に留学生や教壇に立たれた方など、成蹊学園に所縁のある人たちの憩いの場となっております。当日は24名が出席し上海での近況や情報交換をはじめ、成蹊学園や吉祥寺の過去、現在の話で大変盛大な会となりました。また、上海成蹊会の中国人担当幹事として成蹊学園に留学されていた徐曙さん（経H18）に着任して頂くことが発表されました。そして、この日の特筆すべき



イベントとして相川会長の誕生日がまさに当日でケーキ、蠟燭を用意してのサプライズ誕生会となったことも皆様にお知らせいたします。このような盛大な会となったのも相川会長と同窓の芝原健二さん(政経S37)のご尽力によるものです。厚く感謝申し上げます。

時間が経つのは早いもので、最後に集合写真撮影、恒例の校歌斉唱、曾我部会長による一本締めで会は終了しました。

上海成蹊会は著しい発展の上海で活動しています。上海でお仕事をされている方をはじめ成蹊学園に所縁のある方でしたら大歓迎いたしますので、ご一報いただければ幸甚です。

有海正浩(工・63年)

# オーストラリア・ クイーンズランド 成蹊会

第25回QLD成蹊会を2008年3月20日(木) 18時にゴールドコースト市内のマレーシア料理店(ゴールドデン・レジエンド)で約半年振りに開催いたし

ました。今年は例年に比べて遅い新年会となりました。

新年会は毎年1月に北海道日高から下河辺俊行さん(S40政経)夫妻が特別参加されますが、3月に延期されたために参加できませんでした。1月新年会に参加予定していたシドニーに仕事で定期的滞在の康本健守さん(S40政経)も同様に欠席となりました。

幹事役の素子Donoghueさん(旧姓岡田素子)S44政経はロイヤルパインリゾート代表の秘書・通訳を一昨年末に退職され、現在は体力維持のためにジムで水泳、自宅でのエクササイズに取り組むなど悠々自適の生活です。Juniko Van Dorens(旧姓高橋淳子)S54文学部(英米)は、冬の故郷富山に帰らないでゴールドコーストの夏を楽しみました。

ゴールドコーストにも居を構えておられる杉浦重男さん(S39政経)は、久しぶりに参加されました。杉浦さんと同期で日本とゴールドコーストを行ったり来たりでお住まいの中橋和夫さん(S35高校)夫妻、白井三代治さん(S39政経)、そして宮坂剛一さん(S40政経)夫妻

がご親戚、友人とそのご家族の皆さんと観光・ゴルフ旅行で来豪され、QLD成蹊会に参加いただきました。

テーブルでは学園の中学・高校時代の悪童ぶりや、懐かしい中村草田男先生の授業などで話は大いに盛り上がりました。

さて、クイーンズランドでは百年來の大旱魃でしたが一転して、昨年の後半から、今年はじめに豪雨となり、大洪水の大きな被害がでました。当地のダムも100%の貯水量を超え最高レベルの水使用制限も一時的に解除になりました。昨年8月の



レポートでは「雨乞い」を祈るばかりと記述しましたが、その激変に驚いています。そして当地の夏(日本の冬)は前半には暑い日もありましたが雨が多い、いわゆる冷夏で終わり、今は秋の訪れを迎えています。

自然界とは別に、経済界ではアメリカ・サブプライム問題の影響で、先週にアメリカは0.75%の大幅な追加利下げ(公定金利2.25%)に踏み切ったと報道されました。一方のオーストラリアはインフレ懸念(不動産価格の上昇など)からついに公定金利は3月初めには7.25%となりました。資源大国オーストラリアにも別の経済問題があります。

なお、当会では学園(小中高校大学)の卒業生に限らず広くご家族、友人の参加も歓迎しておりますのでご連絡下さい。皆様もゴールドコーストに来られるときにはご遠慮なく一報下さい。

e-mail: samnishijima@hotmail.com

Tel: 07-55947585

Mobile: 04187637

17

西嶋 勇(政経・40年)

## 秋田成蹊会

平成19年度秋田成蹊会が、11月9日秋田キャッスルホテルにて開催されました。

当日は高橋基会長(S45年工学部)を始め、県内各地から総勢20名の出席があり、旧交を温めました。

飛良泉本舗の斎藤雅人(S54年法学部)からおいしいお酒の差し入れもあったせいか、一人ずつ近況報告を行う時にはついつい冗舌になり、予定時間を



## 秋田

成19年度日秋田キ催されま日は高部)を始20名の出ました。

良泉本舗学部か入れもあ近況報告冗舌にな





パー。終始和やかな雰囲気の中、「成蹊の歌」を輪になって斉唱し、来年の再会を約束してお開きとなりました。

田野倉浩一（経・平4年）



### 澁谷成蹊会

2月8日18時半より第41回澁谷成蹊会を、表参道「ダイヤモンドホール」で開催致しました。岸成蹊学園理事長、相川成蹊会会長や新入会員も6名有り、73名の参加者が有りました。

乾杯は新入会員を代表して相川一成君（S37年政経）にお願いしました。

今回は澁谷成蹊会20周年記念として、澁谷の花柳界及び東京芸大の卒業生と現役を含め4名の綺麗どころによる、長唄と日舞を楽しみました。先輩方でお姐さんと懇意な方々も居られ大変賑やかな同窓会でした。

記念の集合写真は、いつも横田君（高校42年）が担当し良い記念に成ると皆様に喜ばれております。



今回で6度目ですが、会費の内から「成蹊学園創立100周年記念事業」に7万2千円を寄付させて頂きましたので累計で丁度50万円になりました。

今回は7月11日（金）に第42回の会を開催致します。新たに参加ご希望の方は野口修君まで

FAXで氏名、住所、電話、卒業年次、勤務先等ご連絡下さい。（FAX 03-33327-9101）若い方々の参加を歓迎致します。

池原正夫（政経・36年）



### 三重成蹊会

平成19年11月29日木曜日午後6時30分、林口世話役の司会にて第27回三重成蹊会が開催されました。今回は、会員数の一番多い四日市にて開催ということでしたが、例年並みの25名の参加者で四日市商工会議所会館にて開催されました。平井三重成蹊会会長の挨拶の後、遠路はるばるお越しいただいた、成蹊会会長相川様から挨拶と成蹊の現状等の紹介を受け総会は始まり

ました。会計報告等堅苦しいものは、紙での報告にて省略して、各自の自己紹介と歓談の場として大いに盛り上がりました。相川会長からの成蹊の現状報告には、大学時代が思い出され懐かしい思いにかられました。各自

の自己紹介では、皆様の現状を聞いて誰もが年を取ってきたなという思いと、学校時代の思い出等には若かりし時代の懐かしい思いがよみがえって大変楽しい時間を過ごすことができました。初めて四日市で開催したこともあり、今まで一度も参加されてなかった方にも参加いただけたことは、とても嬉しいことでした。

これからも、三重成蹊会が長く続けていけるよう会員一同、参加者の輪を広げていきたいと思えます。

林口朋一（政経・40年）



### 愛媛成蹊会

愛媛成蹊会第6回忘年会を、H19年11月23日（金）に大和屋本店にて、開催を致しました。この日は6名の方が出席をされました。

泉さんという女性の方が、大和屋が実家だとお聞きしまして今回は、開催場所を変更して、大和屋本店で開催致しました。



愛媛成蹊会も設立して早6年目を迎えました。大和屋本店は地元では老舗の旅館であり、このような会場で忘年会を開催できることを幸せに思いました。

懐石料理を食事しながら、楽しく懇親会を過ごす事ができました。

転勤で愛媛にいます方、又は愛媛が地元で県外に転勤されている方で、愛媛成蹊会に参加しようと思っ方がいましたら、是非ご参加下さい。  
問い合わせ先  
愛媛県松山市大可賀2-3-17  
TEL 089-9952-1111  
担当 福崎太郎  
右記の方ご連絡下さい。宜しく  
お願いいたします。  
福崎太郎（法・平7年）



愛媛成蹊会も  
早6年目を  
迎えました  
は老舗の  
な会場で  
ることを  
幸に思  
懐石料理を  
懇親会を

契で愛媛に  
地元で県外  
、愛媛成  
心う方が  
出下さい。  
口わせ先  
松山市  
089-99  
福崎太郎  
の方ご連  
いたしま  
福崎太郎

# 兵庫成蹊会



今年度の兵庫成蹊会は、4月12日(土) 13時00分より淡路島観光ホテル(97年・経・上村雄二郎氏経営)にて開催しました。神戸・三宮出発(11時10分)、マイクロバスで明石海峡大橋を渡り、晴天に輝く瀬戸内海に船が行き交い、若葉に覆われた淡路の山々には山桜が咲く、春もうららの淡路の景色をながめているとほどなくホテルに到着(12時20分)。

参加したメンバーは、ホテル・ロビーで海をながめながら少々くつろいだ後、参加者26名が会場のホールに入り記念撮影し着席した。

成蹊会・田上尚道常務理事のご挨拶、長老・前田光彦氏(62年・政経学部卒)の挨拶・乾杯の発声で会は始まった。田上氏からは、若葉の目にしみる季節となり、4月6日の桜祭の前後に小学校、そして中学高等学校、大学の入学式があった旨の近況



報告。前田氏からは、成蹊大学への入学当時は、政治経済学部のみ(1学年約230名)、それが現在は4学部(1学年約1900名)になった。今も昔も成蹊学園の家庭的な雰囲気があるとよい。いままで兵庫および阪奈和成蹊会にはずっと参加してきたが、今後とも許す限り出席したいとの心強いお話であった。

その後、懇親会に入り、アトラクションとしては、くじ引き抽選会、成蹊クイズ・サバイバルゲームを行った。クイズ問題・最後の難問は、「地域成蹊会名のないのは東京と鳥取(Yse/No)」、「中村春二先生の生年は西暦何年?」とやかくしている、瞬く間に15時となり、校歌「おお成蹊」を斉唱

## 予 告

### ■第57回千葉支部総会

日時 平成20年7月5日(土)

午後3時~7時

(受付開始午後2時30分)

### 場 所

千葉市商工会議所14階・第2ホール 千葉

中央ツインビル2号館 千葉市中央区中央

2-5-1 (JR千葉駅、京成千葉駅より徒歩11分)

### ■高校卒業20周年同窓会(第39期)

平成20年9月20日(土) 12:30~14:30

(於) ホテルオークラ東京別館2階マイブルーム

### ■高校卒業30周年同窓会(第29期)

平成20年11月8日(土)

(於) クラブ関東

### ■経済学部創立40周年記念行事のご案内

平成20年11月15日(土) 午後1時からを予定

(於) 大学4号館/学園施設

第1部 講演

第2部 懇親パーティー

### ■法学部同窓会創立40周年記念行事のご案内

平成20年11月25日(土) 午後からを予定

(於) 大学8号館/学園施設

第1部 講演

第2部 懇親パーティー

### ■工学部同窓会

今年も例年の通り十一月の櫛祭期間中の日曜日に、工学部同窓会の総会を開きます。お誘い合わせのうえにご参加いただきますようお願い申し上げます。

平成二十年十一月二十三日(日)

午後一時~三時

参考 櫛期間中 二十二日(土)~二十三日(日)

場 所 十四号館四階大会議室(予定)

会 費 二千元

### 「第11回SGCゴルフ大会」参加者募集

成蹊学園の卒業生によって、年に1回コースを貸し切つて開催される「SGCゴルフ大会」が、今年は10月22日(水) 名門・鳴沢ゴルフ倶楽部(山梨県)で開催されます。現在参加者募集中です。個人戦の他に4人チームの団体戦も人気があります。過去10回の優勝チームはラグビー部(4)、ゴルフ部(3)、アメリカンフットボール部(2)、軽音楽部(1)です。( )内は優勝回数。

参加定員160名で現在120名ほど申込があります。申込は2名又は4名一組で受け付けています。

参加希望者は実行委員会事務局  
電話042-546-3333  
担当(西川)までお問い合わせ下さい。

櫛祭期間  
ます。お  
お願い申  
日(日)  
日(土)~  
会議室( )  
会  
「SGC  
( )名門・  
4人チー  
回の優勝  
(3)、ア  
本部(1)  
在120  
は4名一  
事務局  
33  
わせ下さ

## 成蹊の風景



古川博康 (高・41年)

し名残を惜しみながらの散会となった。  
 今回出席された中で、ご年長は前田光彦氏、これに対して若手は石井由紀さん(91年・文)、薬師寺浩司氏(90年・経)、山本知輝氏(88年・経)、河村信広氏(82年・法)であった。今後、地域における成蹊人の「和と輪」の絆を大切に、この地域ネットワークをより若い世代の参加によってより強くより大きくして行ければと思う。  
 来年度も4月初めの開催を予定している。皆さまのご参加をお待ちしています。なお、大阪・奈良・和歌山合同成蹊会は9月13日(土) 13時より大阪・梅田「バンダリア」で開催の予定です。こちらにも是非ご出席ください。

## 第85回 枯林忌



墓参の様子

枯林忌は、中村春二先生の命日(2月21日)で、池袋同窓会をはじめとする諸先輩が、中村先生ご逝去の後墓参と追悼を続けてこられたものを、第60回枯林忌から学園と成蹊会との共催として引き継ぎ、今年で第85回目を迎えました。

現在は、中村先生のご遺徳を顕彰すると共に、この一年間に物故された成

蹊関係者を追悼する会として続いており、枯林忌を通して成蹊教育や建学の精神に触れる機会を得ることのできる貴重な場となっています。

最近では、墓参・追悼会は2月21日直前の土曜日に開催されており、今年度は、2月16日、参加者が染井霊園にある中村先生のお墓にお参りした後、三菱養和会鳥嶋スポーツセンターの会議室において、学園関係者、卒業生合わせて約90名のご出席をいただき、追悼会を開催いたしました。

今回の追悼会では、岸曉学園理事長、相川一成成蹊会会長の挨拶、橋本竹夫専務理事の学園の近況報告後、物故者に黙禱を捧げました。

相川会長は挨拶の中で、枯林忌を通して、成蹊教育や建学の精神を先輩から後輩へ、未永く伝えていくことが大切であり、これからの少子化の中でまた他の学校との競争において建学の精神、少人数教育などの特色を強くアピールする必要性について述べられました。参加者に対し、学園創立100周年記念事業募金に引き続きご協力をいただきました。

また、参加卒業生の尾日向多津子氏(文6回)、根岸孝彰氏(政経10回)、谷



枯林忌追悼会の様子

喬氏(旧高21回)より在校時の思い出も含めたお話をいただきました。

最後に、追悼歌と心の力第六章を唱和して閉会となり、坂井屋謹製の枯林忌饅頭を手に散会しました。

なお、成蹊小学校におきましては2月21日枯林忌当日に中村春二先生の銅像の前で、クラスごとに「心の力」を唱和し、中村先生に感謝の意を表しております。

次回第86回枯林忌は、枯林忌当日の平成21年2月21日に開催いたします。

より在校  
 いただきました  
 と心の力  
 、坂井屋  
 しました  
 校におき  
 に中村春  
 ごとに  
 に感謝の  
 忌は、中  
 に開催い



●ここに謹んで哀悼の意を表します●

物故会員

(平成19年11月1日〜平成20年4月30日迄にご連絡のあった方を掲載いたしました。ご逝去の年月日が不詳の方については、確認できている年月のみ掲載しております。)

木村 達二(特別会員)平成20年1月20日	吉田 菊雄(小 51)平成19年10月24日
青山博次郎(旧職員)平成20年1月27日	長富 修吉(旧高6)平成19年10月31日
寺尾豊太郎(特別会員)平成20年2月23日	川瀬 亨(ア 5)平成19年11月15日
柳井 滋(特別会員)平成20年3月27日	内田 紘(工 2)平成19年11月19日
中島 健(文 17)平成9年9月6日	小牧 峰雄(文 8)平成19年11月21日
梶井 良博(高 9)平成9年9月9日	織本 正慶(旧高17)平成19年11月25日
松尾 徹(工 17)平成9年9月17日	矢野衣通子(経 14)平成19年12月08日
濱川 宏(経 9)平成12年5月29日	落合 和雄(旧高13)平成19年12月19日
岸浪 忠(高 9)平成16年3月12日	戸谷 博(政経2)平成19年12月23日
木下 哲也(政経15)平成16年7月1日	井上 章(旧高23)平成19年12月26日
堀切 重雄(旧高20)平成17年9月29日	城戸崎 靖(政経5)平成20年1月02日
米川 良夫(旧高24)平成18年4月27日	北川 博子(女 21)平成20年1月21日
雨宮 弘(経 7)平成18年6月30日	竹村 卓二(旧高24)平成20年1月28日
木村 成隆(旧高19)平成19年2月17日	石坂 泰夫(旧高21)平成20年1月31日
小原 昭英(旧高24)平成19年3月28日	石田 朗(旧高12)平成20年2月03日
鈴木 典子(文 13)平成19年4月05日	前田 宏之(工 7)平成20年2月04日
足立 輝子(文 2)平成19年8月15日	北村 啓(工 18)平成20年2月08日
本間 哲雄(旧高12)平成19年8月22日	櫻田鐵之助(高 4)平成20年2月14日
長谷川久美子(文 2)平成19年8月30日	野田 豊司(旧高24)平成20年2月16日
加藤 博道(政経9)平成19年9月03日	服部 光雄(旧高22)平成20年2月26日
寺本 博美(文 11)平成19年9月19日	岩崎 允弥(高 7)平成20年3月4日
高谷 通(旧高11)平成19年9月20日	宮内 章介(政経10)平成20年3月10日
鈴木 正也(旧高22)平成19年10月01日	竹内 克之(政経16)平成20年3月10日
赤塚 隆(旧高23)平成19年10月15日	久松 定成(小 23)平成20年4月03日
金井 恭弘(工 2)平成19年10月22日	富井 政英(旧高19)平成20年4月11日

市村 重信(法 7)平成20年4月11日
久保 恒雄(政経3)平成20年4月22日
野矢 常夫(政経1)昭和61年2月
藤本修一郎(高 9)平成8年
広瀬 英美(文 14)平成10年
栗山 英作(政経12)平成14年5月
藤原 道夫(高 9)平成16年
近藤 弘子(文 9)平成18年9月
戸畑 登(経 11)平成19年6月
龍 禮之助(高 7)平成19年8月
出口富見夫(政経6)平成19年
田中 達也(政経2)
皆川 孝司(政経16)
河崎 等(法 15)

風景の成蹊



前回お届け致しました「成蹊会誌106号」の本文中に語句の誤りがありましたのでお詫び致します。尚、訂正文は左記のとおりです。

22頁三段25行目  
誤 「不信会」と称した……  
正 「不言会」と称した……



しました  
に語句の  
でお詫び  
のとおり  
行目  
「不信会」と  
「不言会」と

# フェアトレードの コーヒー飲み比べ

成蹊大の学生グループ

フェアトレード製品の  
コーヒーの試飲会が24  
日、武蔵野市の成蹊大学  
で開かれた。学生や教職  
員が東ティモール、ネパ  
ール、ペルーで作られた  
3種類の豆を昔ながらの  
ミルでひき、いれたてを  
飲み比べて、「こんなお

いしいコーヒーは久しぶ  
り」「ネパールの方がお  
いしい」など、感想を言  
い合った。



フェアトレードとは、  
貧困に苦しむ国の人々が  
作った製品を、豊かな国  
が適正な値段で買い取る

フェアトレードのコーヒ  
ーを楽しむ成蹊大の学生  
と教員。左から3番目が  
成蹊フェアフレンズ代表  
の寺田恵美さん。武蔵野  
市吉祥寺北町3丁目

運動。生協などで商品を  
扱う大学が増えている。  
成蹊大では扱っていない  
が、運動に関心を持った  
学生グループ「成蹊フェ  
アフレンズ」が昨年春か  
らコーヒー、紅茶の試飲  
会を開いて、PRを続け  
ている。

フェアフレンズ代表で  
国際文化学科4年の寺田  
恵美さんは「貿易の仕組  
みや、どんな人が作って  
いるのか知った上で買い

物をしたい。質の良い商  
品、おしゃれな商品もた  
くさんある」と話す。

昨年10月の紅茶試飲会  
で学生対象にアンケート  
したところ、64人中24人  
が「フェアトレードとい  
う言葉を初めて聞いた」  
と回答。60人が「学内で  
利用したい」と答えたど  
う。

25日午前11時半からは  
同大学生会館喫茶室前  
で、限定50個のフェアト  
レードチョコレートを試  
食、販売もあり、一般の  
人も購入できる。

成蹊大学 (成蹊フェアフレンズ)

朝日新聞 2008年 (平成20年) 1月25日付けより

百付け

の良い商  
商品もた  
話す。  
余試飲  
ンケー  
人中24  
ードとい  
聞いた」  
「学内で  
答えたど  
十からは  
茶室前  
フェアト  
ートの試  
一般の

# 人 経済

## ひとりごと

「こ二、三年で首都圏の百貨店を中心に八店舗を相次いで閉業し、白社の市場はガラッと変わった。今では、売上げのほとんどを県外の店舗が占める。」

「人の集まる所にお金は動く。今後、人口が減少すると考えた時、大都市への出店は商売を続けていく上では必要なことなんです」

百貨店の店舗には小さいながらも工房を設け、出来たての和菓子を提供している。金沢では珍しいスタイルだが、大都市ではまだ少ないため付加価値もあり、需要は高い。二月末にはさらに船橋市の百貨店に出店する計画だ。だが、金沢から軸足を移す

◆村上製菓所（和菓子村上、金沢市）1991年創業。和菓子の製造・販売。金沢市内・静岡・東京などに直営店19店舗。資本金420万円。2007年2月期のグループ売上高は約12億円。

和菓子村上代表社員

村上 二郎氏



## 金沢で磨かれ 全国に羽ばたく

「これは考えていない。地元で運営する現地スタッフのレベルが磨かれ、育まれて、今の村上がある。だからこそ全国に羽ばたく、より多くの地域に金沢の味を発信したいんです。」

レベルを向上  
全国展開ゆえ、目が行き届かなくなるかもしれないという不安もある。実際に店舗をし

成せば成る  
仕事でつらく、大変なこと



は基本的にはないと思う。一人間、成せば成る。頑張れば頑張った分だけ、自分に返ってくる」と信じている。強いて大変なことを挙げるなら、社長に就いたのが三十三歳と若く、まだまだ経験が足りないということだ。「引き出しをもっと増やしたい。人一倍いろんな事を吸収し、学ぶスピードを上げないと、伝統は守れません」。目配り、気配り、知恵配り。広い視野でいろんな物事に関心を持ち、考えながら仕事を。祖父から受け継いだ言葉の意味を、今、深く感じている。

従業員が疑問に思ったことをとんとん言い合える社内環境をつくりたい

むらかみ・じろう 神奈川県真鶴町出身。1996年成蹊大工学部機械工学科卒後、和菓子村上に入社。2004年2月から現職。35歳。

時々、製造工場に立つことがあるとか？ 現場を経験しているので、ちゃんと作れますよ。腕はまだまだですけど。

## 風景の成蹊





# 経済人

## ひとりごと

杉野 哲也氏

スギヨ社長

一次、二次、三次産業を掛け合わせた六次産業かな。約五十年前から始めた畑は、来年には四倍に拡大する方針だ。

戦後3大発明  
インスタントラーメン、レトルトカレーとともに、戦後の加工食品の三大発明と称されるカニ風味かまぼこを先代一丸となって開発に向かった。

の芳人氏らが開発したのは一九七〇年代初め。その後も改良を重ね、「本物のカニを超える」とすら言われた「香り箱」は、昨年の農林水産祭で、食品メーカーにとって最高の栄誉とされる天皇杯に輝いた。

昔苦労が報われ、感無量だった。その一方で、少し申し訳なような気もした。「評価さ

### 将来見据え

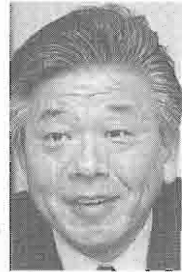
## 6次産業へ

れたのは、先代や諸先輩方が築いてきたもの。何だか、おもしろいところだけもつちやうな気がしてねえ」。

### 3月25日の激震

昨年三月二十五日、能登に激震が走ったその日から、地域への思いは一層強まった。今は能登の将来を見据え、企業間の垣根を越えた連携組織を築くことが目標だ。「農業参入にしろ、能登の中山間地でビジネスが成功すれば、北陸のどこでだって応用できる」。能登の元気を北陸全体に広げたい。それが自分が課せられた使命だと思っっている。

天皇杯の受賞に甘んずることなく、もう1回ふんしを締め直さなければと思う。



リラックス法は？ 半身浴しながら歌曲を聴くことかな。曲に合わせて入浴時間を決めたりしてます。

◆スギヨ（七尾市） 魚肉練り製品などの製造販売。明治時代に鮮魚問屋を始め、1962年に杉野商店として株式会社化。資本金3億円。2007年6月期の売上高161億円。

社長就任は二十六歳の時。就任するや年俸制を導入するなど、社内制度を全面的に見直した。「当時は若気の至りというか、周りも見ずに、現状を変え、新しいものを切り開くんだ、という思いがありましたね」。

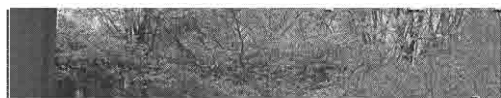
あれから二十年、少しは周りを見渡すことができるようになったと思う。昨年の農業事業への参入も食品業界全体の将来を見据えての判断だった。

「人口の増加や食料供給、地球温暖化などの問題を考え、今後は原料の確保がさらに難しくなってくる。食品メーカーも一次産業と絡みを持たないと、最終的な業態は、



すぎの・てつや 勝山市生まれ。1975年成蹊大工学部経営工学科卒。76年スギヨに入社し、取締役、専務を経て、88年から社長。スギヨU・S・A社長。石川県食品協会副会長。56歳。

## 風景の成蹊

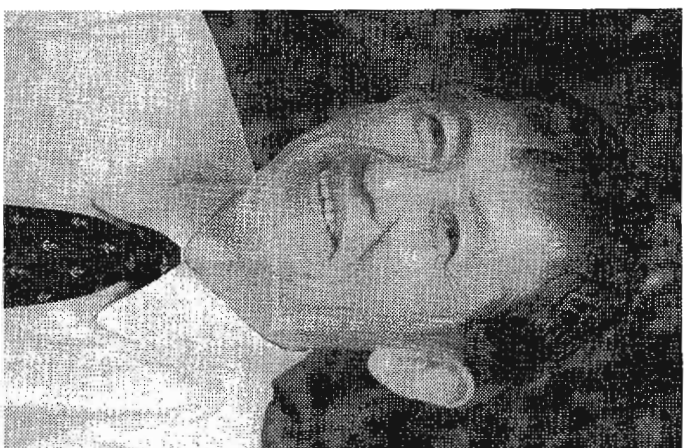




# 著者登場

「最初は『ヘッドハンター』の農作業日記です。出版の経緯は、  
「最初は『ヘッドハンター』  
がいつの本を書いた」とい  
う依頼だったが、どうせ自慢話  
になったので、会社の宣伝本にな

ってしまったりするので断  
た。それでこの8年間、月1回  
のペースで瀬戸内海の郷里に帰  
り、小学校からの友と一緒に農  
作業をやっている。その  
年の里幸の出来が良くて得意け  
に話したら、『それを書いてみ  
ませんか』と言われ、まどめた  
のがこの本だ」  
一本のタイトルである「太郎  
のルーツはタロイ王（里幸）の  
タロからきているのですね。  
「そういう記事が10年ほど前  
の新聞に載っていたが、会社の  
やま王との関係者に『タロイ』



田頭 信博氏  
のびる

## 太郎のルーツ — われらは中年開拓団

(百水社刊、042・645・8946)

### 好きなこと 徹底して楽しむ

**プロフィール**  
72年(昭47)成蹊大経  
卒、同年三光汽船入社。89  
年退社。人材紹介会社など  
を経て、02年6月エシナリ  
ンクコンサルティング社  
長。広島県出身、59歳。

という名前の人が2、3人いた  
と言っていた。広辞苑で『タロ  
イ王』を引くと、『タロイ王  
』はホリネシア土語』であ  
るが、日本人と同じようにフ  
ィーの人たちも、原産地である  
東南アジアから伝わって衝撃を  
受けて、子供にタロイという名  
前を付けたに違いない」  
「晩秋の畑が一番美しいそう  
ですね。  
「白菜、大根、ホウレン草、  
長ネギ。秋に成長する野菜はた  
くさんある。11月初から中旬  
の畑はエネギに満ちあふれ  
ている。おそろく人生も同じ。  
僕は今、50代だけれども、これ  
からの60代、70代が案外によ  
うな予感している」  
「仕事以外に人生の楽しみが  
ある。定年を迎える団塊世代の  
あじがれの生き方です。  
「僕は入社した船会社が倒産  
したため、ヘッドハンターの職  
に就いた。以前から養園に興味  
があり人よりも先にできただ  
け。銀座も捨てたし、ゴルフも  
捨てた。ヨットだけは大学時代  
にヨット部のキヤプテンをして  
いた関係で現在もOBとして世  
話しているけれど、今は人生に  
本と煙さえあれば何もいらな  
い。何でもいい。写真でも陶芸  
でも、自分の好きごとを徹底  
してやればいい」

田頭 信博氏 (経・47年)

日経工業新聞 2007年(平成19年)11月5日付16頁

田頭 信博氏  
のびる

**プロフィール**  
72年(昭47)成蹊大経  
卒、同年三光汽船入社。89



# 退職挨拶

## 退職に思うこと

理工学部 上原 信吾

成蹊大学での17年間は私にとって心地よい期間でありました。それまで身をおいていた民間企業でも新入の若い諸君と一緒に仕事に取り組みその成長を見る機会は数多くあったのですが、大学での学生諸君との触れ合い、特に卒業研究や大学院生の指導は、企業におけるのとは全く違った感触の若者の成長を感じることができ楽しいものでありました。もともと学生諸君から見ると、特に着任から10年くらいの期間の学生諸君にとっては、ただの厳しい指導だったのかもしれませんが。

2008年度には新しい時代に向けて工学部を改編して創設した理工学部が始めて卒業生を社会に送り出すことになりました。私はその創設時に見た、そしてその後も持続している、理工学部の先生方の教育に対する熱意を成蹊大学にとって大変貴重なものだと感じています。理工学部の理念は、知識社会の進展に貢献する人材の育成にあります。卒業生の皆さんが社会で大いに活躍され、成蹊大学が総合大学として

さらに発展して行くことを願っております。

## 卒研生との二人三脚

理工学部 尾崎 義治

縁あって35年11ヶ月、成蹊大学で過ごさせていただきました。一人ひとりの教員に教育・研究が任ざれており、とくに研究においては教員がその思いを100%自分だけの考えによって実行できる環境をご提供いただいたことに感謝しております。また、300有余の卒研生との二人三脚によって、化学セラミックスという世界的流れとなった新しいプロセス分野を順調に進展させることができ、セラミックス学術賞を頂くことができましたことは望外の幸せです。定年を迎えて凶らずも5500万円ほどの研究寄付金が残ることになりましたが、卒業生が成蹊の存在感を高めるためにお使いいただくことを願っております。成蹊は小学校から大学院まで同じキャンパスにあります。学校の枠を超えた卒業生の協同作業による調査研究のようなプロジェクトが可能になるとしたら教育に携ったものとしてはこれ以上の喜びはあ

りません。学園、成蹊会、卒業生の皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

理工学部 若林 功

成蹊大学に奉職し十四年になります。それ以前、一時期ここで行われていたセミナーに参加していたことがあり、当時、大変美しい藤棚が今の十二号館辺りにあって、薄紫色の美しい花の咲く藤棚がある大学、というのが私の成蹊大学の最初の印象でした。それ以後、毎年春には、桃、スモモ、染井吉野の桜、枝垂れ桜、八重桜の美しい花が次々と咲き、その美しさに魅せられました。

若い頃には、「人は六十歳にもなれば、人ができているもの」と思っていました。そしてその目標に向かってきたつもりでいました。ところが、その歳を過ぎても、自分は人ができていないことを知り、今は、一寸待つてくれと言って、その目標が十年先送りになってしまっている情けない状態です。しかも十年では済まず更に先送りしなければならぬと思う様な状態です。幸いこの美しいキャンパスになお暫く勤めることができることになりましたので、美しい環境と、心優しい皆様に助けていただいで、自分を磨くことに励みたいと思っております。

## 縷縷の会

文学部 鈴木健二

私のゼミ卒業生は「縷縷の会」と称する同窓会をつくり、一期生から新卒まで連綿と連絡を保っています。その「縷縷の会」から「鈴木ゼミ十周年」の案内状をもらったのは二年前でした。料理屋でパーティをするので夫妻で来て欲しいとの内容でした。

出かけてみると、十年前の懐かしい顔から卒業したばかりの新旧ゼミ生約四十人が集い、私どもを出迎えてくれました。思い出話に花を咲かせた後、花束やワインなどたくさんプレゼントをいただきました。妻の目はウルウルと潤んでいました。帰る直前にゼミ生たちが向かい合って手を高く組み合わせ、私ども二人はその手と手で作られたアーチをくぐって拍手に送られ、会場を後にしました。

この日の主役は私ではなく妻でした。この十年間、彼女は正月になると卒業生を自宅に招き、手料理でもてなしてきました。「十周年」はその感謝の気持ちだったのです。

年々卒業生が増えるので、狭い家ももう立錫の余地もないほどになりました。正月をつぶして準備する妻の苦労を見かねて、「もう歳なのでやめよう」と昨年は見送りました。しかし「子ども達が来ないと寂しい」との彼女の

文

年生は「つくり、給を保つべら」「鈴つったのアイをす内容でしると、十だばかり私ども口話に花びどたく妻の目帰る直手を高ての手とく拍手に仮は私で彼女は正さ、手料「周年」、じす。か増える地もないかして準備もう歳なりましたと寂しい

言で、今年また始めました。さて、いつまで続くのか、私はただ見守っています。

## 退職にあたって

法学部 飯島 紀昭

30年にわたる私の大学での勤務期間中、いろいろなことがありましたが、その内の一つを思い返してみたいと思います。

大学教師ですからもちろん演習（ゼミ）を毎年何コマか担当します。年（学期）によってばらつき（学生の状態＝成績、参加者数、意欲等）があるのが不思議で、それも隔年でそのような現象が生じていたように感じられました。その中で、多分20年以上前、3年生のゼミを担当したことがあります。学生2人。当時としても極めて少数だったと記憶しています。しかしこのゼミ、極めて少数であったにもかかわらず、というよりも、むしろ少数であったからこそというべきでしょうが、極めて活発に運営されて丸1年間で過ごすということになりました（大急ぎで付け加えますと私のゼミの限りと言う意味です）。その理由を今思い起こしてみると、1回も欠席しなかった2人のうちの特に1人の学生の発言・活動が目立ったことに尽きるでしょう。彼は毎回発言し、積極的にゼミの支柱となってくれました。じつは、このよう

な学生は珍しい存在だと考えております。後で知ったことですが、彼は体育会にも所属していたということです。

彼はその後結婚し、現在でも私と交流があります。彼もそろそろ50代というところでしょうか。幸せな人生を送っているようです。

## 成蹊で過ごした日々

中学・高校 石塚小太郎

成蹊の教壇に立つ事になった15年前いろいろな点で教育環境に恵まれた印象が思い出されます。生物教師として理科（生物）棟の施設、林園等申し分ない環境に授業への意欲が沸き立つ感がありました。

高校2年生では生物科伝統のシヨウジョウバエの遺伝実験・実習は生徒にとつても成蹊での良き思い出の一コマになる事でしょう。

学習旅行では北海道や屋久島に引率しましたが毎年参加した生徒が自然の素晴らしさに感動したものでした。また、屋久島ではホテルの方から成蹊高校生は素晴らしい高校生ですとお褒めの言葉を頂いた事も印象的です。

尚、個人的なことで恐縮ですが50代で東京大学で学位（農学博士）取得、学会賞受賞、天皇皇后両陛下主催立食パーティにご招待いただき研究分野を両陛下に解説した事、常陸宮殿下と二人だけで参会（研究分野のご進講）さ

せていただいたことが身に余る光栄と  
思います。それでは成蹊学園の益々  
ご発展を祈念致します。

職員 野田吉政

一九七〇年から三十八年間、事務職に携わってきました。四学部が揃った総合大学にふさわしい事務体制の整備

が急がれた一九七〇年代を経て、事務の現場には、合理化、国際化、情報化の波が次々と押し寄せ、一九九〇年代の半ばには同じ職場とは思えないほどの大きな変貌を遂げました。手作業処理が全員に分担されていた時代からOA機器の性能に見合う成果を求める時代になりました。個人的な執務能力の高まりは大きな励みとなりましたが、私の働く意欲を深く支えてくれたのは幾人かの先生方との交流でした。「ひるんでもいい。ごまかし笑いだけはするな。」夏の学校の相撲大会での亀村五郎先生。「野田さんこうして床に手を突いて机の下に落ちてる紙がないか確かめてください。」経済学部入試総括の磯部啓三先生。出会うたびに長い立ち話で「梶山が、大塚が、モムゼンが」と研究者の話をしてくれた安藤英治先生。そうした言葉や表情が、私が就いた職業の証となっています。

職員 圓子 親一

36年7ヶ月の長い間、私のような者が大過なく成蹊での勤務が続けられたのも、互いに心配りのある教職員の先輩、同僚、後輩の方々のお陰と感謝申し上げる次第です。

最初は経済学部事務室に配属となりました。学校に勤めるからには基本となる学校の業務の流れを知ることからと考えていたので、とてもラッキーと感じたことを今でも記憶しています。その頃の成蹊は、それぞれ事務室ごとに業務を遂行してはいましたが、互いの部署に配慮と気遣う気持ちはあり、その雰囲気や学生対応等にも余裕が持て、良い結果を生んでいたように思います。職員がそれぞれ問題児を何人か抱え、側面から指導や助言し面倒を見ていました。卒業式後に問題児たちが事務室を訪れ、手には花束から抜き取ったと思われる一輪のバラを抱えて挨拶に来てくれました。なんだか「ホット」し、自己満足かもしれないが、心から報われたなと感じられたものでした。皆がハッピーな、そんな雰囲気のある成蹊に戻って欲しいと心から願っています。

職員

の長い間、成蹊での勤務の流

れ、先輩の方々の、成蹊での勤務の流

# 成蹊会学術教育助成事業 研究助成報告の要旨

## 大学における中国語教 養教育の改善と展開 ―基礎力活用による中 国語人材育成の為の教 育方法の研究

法学部 湯山トミ子

世界人口の4人に1人が話すといわれる中国語は、グローバル化の進行する国際社会において、英語に次ぐ第二の国際言語として、大きな役割を果たしつつある。その社会的な需要の高まりを背景に、大学第二外国語においても中国語の学習者が増え、ほぼ例年入学者の3割と4割が中国語を選択し、そのほとんどが、聞き話せるコミュニケーション言語としての習得を求めている。しかし、限られた第二外国語の授業時間数に加え、声調言語といわれる中国語の言語学的特徴から、学習者の希望する習得目標になかなか至れないのが実情である。そのため、たくさん学習者が学びながら、中国語を運用することができないまま、卒業を終了する学生が

大半を占めている。世界、特にアジアには、英語と中国語を使える人材が多い。国際化の波のなかで、アジアとの協調を求められる日本にとって、中国語を運用できる人材育成は、社会的にも重要な教育課程である。

本研究は、こうした大学における教育の現状に立ち、学習者と社会の要請に応えうる中国語教育の改善を目指して取り組まれたものである。基本的な教育構想については、すでに基礎力活用型コミュニケーション力の育成プランとして構想し、成蹊大学の教育改革案として、文部科学省の進める全国の大学教育改革事業に提出し、難関を突破して認可され、現在、全国で唯一の中国語教養教育の改革先進モデルとして、同省の財政支援の下で、その実現を目指している（現代G P補助金事業「進化する教養教育と国際化新人材の育成―基礎力活用型中国語教育育成展開プラン「游」」、詳細は本学HP公開中）。本研究は、その基本構想を具体的に実現し

ていくために必要な教育方法について、学術的な視点から検討し、より精度の高いメソッドとシステムの確立を目指している。基本構想と展開、その後の研究成果については、昨秋、沖縄で行われた日本e-Learning学会秋学期学術講演会で報告し

（中国語「e-Learningシステム「游」」、同大会の審査員特別賞を受賞した。現在は、この内容をさらに深め、短期間に、確実に基礎力を習得できる音声教育の実施法、これを活用していくための練習プログラムの制作、習得された運用力の評価、判定による学習アドバイスのシステム化、などの内容を考案、検討する段階にある。これにより、人と人が触れ合い学ぶ対面教育とIT化の進む現代社会ならではのコンピュータシステムとを

連係しながら、コミュニケーションに必要な技能と内面の涵養を測る教育プランのより高度の内容に迫ることが可能となる。本研究が目指す成果は、教える側と学ぶ側を二分する従来の固定した教育ではなく、両者がともに教育を創造する主体となる新時代の動的で、活力ある教育方法である。とはいえ、教育研究の課題は、短期間に、机上の思考により成果を出しうるも

のではない。地道で、綿密、大胆な発想に基づく基礎研究が必要となる。今後は、基礎研究にあたる現在の研究段階を踏まえ、開発中のシステムのより確実な運用に重点をおいた教育メソッドの検証、発展を目指していきたい。

末尾となるが、本補助金により、沖縄で開催された中間報告本年3月に台湾で行われたアジア太平洋地域における中国語教育フォーラム（世界華語文教育学会主催）にも参加し、新たな知見と交流の機会を得ることができた。一年間の研究活動の一端としてご報告するとともに、この場を借りて深く感謝申し上げます。

### 仲裁合意の成立と効力 についての研究

法科大学院 萩澤 達彦

仲裁とは、当事者が自主的な合意に基づいて、第三者である仲裁人の審判判断に紛争解決を委ねる紛争解決手段である。仲裁は、当事者間の合意を淵源とする任意的・自主的解決であり、当事者が合意により、事件の特質及び必要に応じて、紛争解決のためのルールを自由に設定することが可能であるという特色

を持つ。

仲裁の利点としては、以下の四点が挙げられる。第一に、当事者が紛争を解決する第三者である仲裁人を自由に選ぶことができるので、紛争の内容に応じた専門家による判断が期待できる。第二に、仲裁での手続は非公開であり、仲裁判断も当事者の合意がない限り公表されない。したがって、営業上の秘密やプライバシーが守られる。第三に、仲裁では裁判と違って上訴がななく、一審限りであり、紛争が解決されるまでの時間が短くなる。第四に、仲裁判断を外国で執行することは、1958年の「外国仲裁判断の承認及び執行に関する条約」いわゆるニューヨーク条約）が存在し、現在ではわが国を含め130カ国以上もの国が締約国となっているため、きわめて容易である。

仲裁の合意が設立した効果として、仲裁合意にあるにもかかわらず、仲裁合意の対象となる民事上の紛争について訴えが提起されたときは、受訴裁判所は、被告の申立てにより（妨訴抗弁）、訴えを却下しなければならない（仲裁法14条1項）。したがって、仲裁合意をすることは、実質的には裁判を受ける権利を放棄したということになる。

。

の利点が挙げられる。第一に、紛争を解決する第三者である仲裁人を自由に選ぶことができるので、紛争の内容に応じた専門家による判断が期待できる。第二に、仲裁での手続は非公開であり、仲裁判断も当事者の合意がない限り公表されない。したがって、営業上の秘密やプライバシーが守られる。第三に、仲裁では裁判と違って上訴がななく、一審限りであり、紛争が解決されるまでの時間が短くなる。第四に、仲裁判断を外国で執行することは、1958年の「外国仲裁判断の承認及び執行に関する条約」いわゆるニューヨーク条約）が存在し、現在ではわが国を含め130カ国以上もの国が締約国となっているため、きわめて容易である。



ところで、当事者間で仲裁合意が成立したか否かは、実際にはしばしば争いとなる。これは、仲裁の合意が、取引のための契約の中の条項の一つ(仲裁条項)という形式でなされること

が多いことがその一因である。すなわち、紛争が現実を生じる前に、あらかじめ仲裁の合意をしておくのであり、紛争が生じたときのことまで深刻に考えずに仲裁の合意がなされることも少なくはない。この場合、現実

に紛争が生じてから、やはり裁判所で紛争を解決したいと考える当事者の一方から仲裁合意の不成立が主張されやすくなる。

本研究では、比較法的理論検討により、単なる当事者の合意に訴訟排除の効力が認められる根拠を理論的に再検討し、当事者自治から、このような仲裁合意の成立と効果を積極的に認めるべきであるとの結論に達した。

また、消費者契約などでは、弱い立場にある消費者が仲裁合意を押しつけられる可能性がある。そこで、「当分の間」、消費者と事業者の間に、将来生ずるかも知れない民事上のトラブルをめぐって事前に結ばれた仲裁合意については、消費者がこれを自由に解除することができるとの経過規定が置かれている

(仲裁法附則3条)。しかし、「当分の間」経過後も、消費者保護のためにこの規定を残すのが妥当であるとの結論が比較法的検討から導き出された。

### 駿河湾沿岸域における環形動物門多毛綱シバサゴカイ科 Mesochaetopterus sp.1 の生息状況と他地域個体集団との比較

中学・高校 荒井 靖志

環形動物門多毛綱シバサゴカイ科 Mesochaetopterus sp.1 の分布、分類学的位置を比較するために、駿河湾牛臥沿岸域、ならびに戸田湾沿岸域で8月に調査を行った。牛伏沿岸域においては、汀線から離岸距離400m幅1mのベルトトランセクトを設置し、その内部に出現するコロニーを記録した。戸田湾沿岸域では、汀線から水深0~4mまでの範囲内を調査した。両調査地域において、Mesochaetopterus sp.1の生息を確認した。しかし、戸田では直径20cmほどのコロニー2個を、牛伏では、直径5cm以下の極小規模コロニーのみ2個を確認したにとどまった。特に、牛伏沿岸域では1991年の調

査時では、コロニー平均面積593・7cm<sup>2</sup>、43個を確認できたため、当時に比較し、かなりの個体群の衰退を起していることが明らかとなった。本調査では、個体群保全のため数個体のみの採集を行ったため詳しい生理的性質を調べることは出来なかった。当時、汀線から離岸距離200mまでの範囲では、アサリやバカガイ等の二枚貝が高密度に生息していたが、それらもほとんど、認められなかった。

その原因を検討した結果、海岸線の砂浜流失を抑制するための消波ブロック埋設により、海岸線が、当時に比較し、約15mも前進し、遠浅で波浪の影響を受けていた環境から、かなり物理的攪乱に対し底質が安定し、砂質からシルト質へ変化したことが少なくとも影響を与えていると思われた。しかし、完全な個体群消滅には至っていないため、長期的な個体群推移の追跡を行う必要があるであろう。Mesochaetopterus sp.1は、八丈島固有のsp.2のように、基質に附着して生息するものは全く確認できなかった。生息学的特性は、大きく異なることが再度確認できた。しかし、sp.1, sp.2ともに光学顕微鏡からは外部形態において種としての特徴

の差異は認められなかった。今後は、電子顕微鏡による第4剛毛節の特殊化した剛毛の比較、さらには各体節ごとの剛毛形状を比較する必要があると考えられた。

### 日本列島における動物地理的分布境界線の研究

中学・高校 石塚小太郎

アジアにおける動物地理的分布は旧北区と東洋区に分けられる。旧北区に属する日本列島の動物の地理的分布境界線は九州の種子島から琉球列島間に三宅線(昆虫)、渡瀬線(哺乳類・爬虫類・両生類)、蜂須賀線(鳥類)等がある。

本研究は土壌動物を代表する貧毛類(ミミズ)を指標とした土壌動物地理的分布境界線の解明を目的とする。調査は平成15・16・18年度に引き続きものである。

ミミズの分布で北海道から九州大隅・薩摩半島まで旧北区の東アジアに分布する5種に着目し、その5種の分布を4年にわたり種子島、屋久島、口永良部島、奄美大島、徳之島、沖永良部島、与論島で調査した。その結果は、種子島で4種、屋久島

で3種、口永良部島で2種、奄美大島、徳之島、沖永良部島、与論島で0種という結果となった。

したがって、奄美大島以南の東洋区(東南アジア)と屋久島・口永良部島以北の旧北区(東アジア)でミミズの地理的分布境界線があると判断できる。

### 数学教育における木構造を応用した教材およびソフトウェア開発

中学・高校 伊藤 靖彦

今日の中学・高等学校における数学教育の目標は、大学入試にある。

数学は自然科学を学ぶために必要である(数学は道具である)、あるいは「事象を数理的に考察し表現する能力を高める」(学習指導要領)、なども目標としてよく掲げられる。しかし、前者は自然科学のための「言語」としての役割は確かにあるが、内容的には必ずしもそうではない。後者については、「事象」が何を指すのかにもよるが、全体的にそのような能力を身につけるための教材が多く選択されているとは思えない。

中高の数学では、計算が重視される。一方で、論証を求める

種、口永良部島、徳之島で0種

したがって、東洋区(東アジア)と屋久島・口永良部島以北の旧北区(東アジア)で境界線が

子教育を応用ソフトウェア

白の中学数学教育の目標は、大学入試にある。

数学は自然科学を学ぶために必要である(数学は道具である)、あるいは「事象を数理的に考察し表現する能力を高める」(学習指導要領)、なども目標としてよく掲げられる。しかし、前者は自然科学のための「言語」としての役割は確かにあるが、内容的には必ずしもそうではない。後者については、「事象」が何を指すのかにもよるが、全体的にそのような能力を身につけるための教材が多く選択されているとは思えない。

中高の数学では、計算が重視される。一方で、論証を求める

いわゆる証明問題は圧倒的に少ない。中学校では、初等幾何で証明の問題が多くとりあげられるが、高校ではそれも論証を必要としない解析幾何にとつかわられる。高校で「論証」という項目があることはあるが、それだけで独立していて、実際他で「論証」が使われることはほとんど無い。

教科書の例題、問題集の問題そして大学入試問題は、大半が「・・・を求めよ」の形で問われる。学校の定期試験で出題されるのは、教科書の例題あるいは問題集の問題の類題であり、そこで要求されるのは、定理・公式を覚えてあるか、方程式が解けるか、典型的な例題を正しい（＝教科書の）解法で解けるか、といったことが中心である。学習者がこれらの要求に応えるためには、とにかく教科書の内容をしっかりと身につけるしかない。

それは、暗記とまではいかないまでも、ある程度は「覚える」作業であり、別の言い方をすれば「頭にしみこませる」作業である。この「頭にしみこむ」までにかかる時間には個人差があり、それがその人の数学（高校数学）のセンスということになる。さらに、正解にたどり着くためには、計算力が必要とされ

る。そこでは中学校（場合によっては小学校）からの積み重ねが反映される。

大学入試問題も当然この高校数学の延長上にある。より「難しい」とされる問題は、構造としては、教科書レベルの問題がいくつか組み合わされている。学習者が問題を解決するには、この構造を見抜く力が必要となる。

組合せの数や組み合わせるステップ数が多いほどそれは困難となり、「難問」となる。教科書レベルの問題がより抽象化されて埋め込まれている場合が多いことも「難しさ」を感じさせる原因だが、それを抽出するには「頭にしみこんでいる」ことが必要なのである。したがって、学習者は基本的な問題を確実に習得し、計算力を磨き、さらに問題の構造を常に意識しながら取り組むことが重要である。

### 視聴覚教材を使用した「聞く」「話す」英語の授業

中学・高校 富塚 英和  
外国語学習の最終目標の一つであるアウトプットの「話す」言語活動をするためには、「聞く」活動において十分なインプットが不可欠になる。「聞く」

活動には、生徒の理解を補助したり、興味を引き出すための視覚教材が使用されると効果的である。今年度の研究では、視聴覚機器を使い、「聞く」「話す」活動をいかに効果的に行うかを探求した。

まずはインプットの「聞く」活動。新教材（新文法事項）提示のオーラルイントロダクション（教師が、新教材の内容を生徒に理解可能な英語で説明したり、生徒に質問をしながら導入をする方法）では、視覚教材を効果的に用いる必要がある。従来は教科書会社の大幅のピクチャーカードか自作の絵、もしくは拡大コピーを使用していたが、それらに加え、デジタルカメラで撮った写真を教室用にA3版にカラー印刷し、生徒に提示することが可能になった。生徒の担任団の持ち物をデジタルカメラで撮り、生徒に見せながら「Whose?」の導入を行うなど活動に利用できる。また、2007年度に完成した中高新棟各教室のテレビモニターを利用し、デジタルカメラを簡易小型教材提示機として活用することも可能になった。本来の教材提示機の精密度よりは劣るものの、教室に手軽に持ち運べ、拡大コピーを教室で提示するよりはるかにいい。またデジタルカメラで短い映像を示すこともできる。音声教材の提示には、従来CD・MDプレイヤーを教室に持ち運んでいたが、これも新棟各教室のテレビをスピーカーとして利用することにより、手軽なPod等

のデジタルプレイヤーを活用できる。英語の歌、教科書付属の音声教材、その他のリスニング教材だけでなく、ダウンロードしたカラオケ版の音楽を流して生徒に歌わせることもできる。

次にアウトプットの「話す」活動。ICレコーダーを使用して、授業でのペアワークの活動を手軽に記録することができるようになった。任意に選んだペアの記録をしながら教師はそのペア、もしくは他のペアのモニターをすることが可能。また発音テストやオーラルテストが授業内で簡単に出来、かつそれを記録することが可能である。

また、生徒がスピーチをする場合でも、他の聞き手の生徒が理解を容易にするためにスピーチを行う生徒自身が、視覚的な提示をしながらスピーチをさせることが出来る。その場合、先ほどの教室のテレビとデジタルカメラの活用が考えられる。今回成蹊会の研究助成を戴き、

視聴覚機器の購入や先行実践の研究、また研究会・学会の参加をさせていただき大変感謝しております。これからも生徒への還元を目指し研鑽を積んでいく所存です。

### 関東山地高度変成岩類の同位体年代について

中学・高校 宮下 敦

関東より西の日本列島（西南日本）の地質構造は、日本海から太平洋に向かって、東西に伸びる地質体が次第に新しくなる配列をするという特徴があります。これは、プレート

の沈み込み帯（海溝）で物質が付加し、大陸が少しずつ成長していることを意味していると考えられています。しかし、関東地方より東側（東北日本）では、この配列が乱れて、中圧型の変成帯を主とする阿武隈帯や、大陸縁にできた石灰岩を主体とする南部北上帯など、西南日本には見られない地質体が存在します。また、西南日本においても、ジュラ紀の海溝堆積物からなる地質体は、日本海側の美濃・丹波帯と太平洋側の秩父帯に分かれて2列になっていて、太平洋に向かって若くなるという一般的傾向とは異なる分布になっていま

### 小山地帯の同位体年代

中学

東より西の地質帯は、太平洋に向

って若くなるという一般的傾向とは異なる分布になっていま

す。西南日本と東北日本の違い、および、ジュラ紀の地質体が二列に分かれていること、の2つの謎が解けると、日本列島の地質構造がより明確に説明できるようになります。

成蹊高校で長く理科をご担当だった内田信夫先生は、関東山地北縁部のご研究でも大きな成果を上げておられました。この地域は、日本列島の中では珍しく、水平方向に地質体が大きく移動する現象(衝上断層やナツプ)が見られます。移動してきた上位の地質体は東北日本の阿武隈帯のもの(例えば、高木、2000)で、下位の地質体は西南日本の三波川帯になっています。近年、この水平方向の移動によって、日本列島の地質構造が形成されているという考え方が出されています(例えば、磯崎・丸山、1991)。

筆者は、成蹊会学術助成を頂いて、着任以来20年間関東山地北縁部地域の地質調査を行ってきました。最近、その成果が急速にまとまりつつあり、

①関東山地北縁部の変成岩の一部には古生代(約4億年)のものがあることが再確認され、美濃・丹波帯より日本海側にある古生代変成帯に連続すると考えられる。これが東北日本の太平

洋岸にある古生代変成帯(例えば、母体・松ヶ平変成岩)とも対比できる可能性があり、古生代の地質体は、西南日本から東北日本へ連続している。

②秩父帯の下位(北側)に分布する三波川帯は、秩父帯より若い白亜紀の海溝堆積物を原岩とする。つまり、その上の秩父帯(美濃・丹波帯)が水平方向に移動して、三波川帯(白亜紀の地質体)の上に乗る構造になっている。

③白亜紀以降(恐らく、日本海拡大時に)、水平方向の地質体の移動によって、現在の日本列島の地下構造が形成された。

というシナリオが描ける段階になってきました。ただ、西南日本には、古生代の断片が蛇紋岩メランジュに含まれるという特異な構造を持った黒瀬川帯と呼ばれる地質体があり、これとの関係を慎重に考えることが今後の課題になっています。

磯崎行雄・丸山茂徳(1991)、地学雑誌100巻697-761。

高木秀雄(2000)、地質学論集56巻1-12頁。

## 超国家的統合組織・機構の現段階

### —欧州連合に見る空間統合の現状—

中学・高校 和田 一誠

欧州連合の空間的拡大は近年の顕著なできごとであるが、統合の深化の方はEU憲法の行き詰まりに見られよう。しかし心配な雲行きではある。しかし今回久しぶりにEU地域を訪れてみて、確固たる空間的領域として欧州の土地にビルトインされた欧州連合を実感した。ブリュッセルとパリとの間を新幹線(タリス)で往復したが、この新幹線のおかげで、ブリュッセルからパリまではなんと1時間20分となり、航空路線は廃止されて、シャルル・ドゴール空港を経由する列車はエールフランス航空とのコードシェアになっていた。1時間20分といえは私の通勤時間よりも短い。このタリスやユーロスターは統合欧州の象徴的存在である。ブリュッセルとパリの間は1日20往復がベルギー国鉄の車両と乗務員により運転され(国境で停車しない)、両国ともシェンゲン協定加盟国であるのでパスポートなしで乗車できる。以前、数

カ国のさまざまな塗装のコンパートメント車両を連ねた国際列車が重厚な雰囲気醸成していたし、国境の駅では長時間停車して機関車を付け替え、乗務員が交替し、すべての乗客のパスポートチェック、荷物検査をしてきたものだ。国際列車で旅行する、それは非日常性の出来事であり、あらかじめ計画を練り、十分な時間的余裕を持つて行くことであった。それが今やとにかく駅へ駆けつけて、次の列車の切符を購入して飛び乗るだけであるし、車内も日本と変わらない開放座席である。東海道新幹線が朝夕3分間隔で運転されているのは確かに世界の驚異ではあるが、この鉄道網がフランス、英国、ベルギー、オランダ、ドイツを実質的に一体化した意味は別のレベルで大きい。ただ、英国がシェンゲン協定に加わっていないため、ユーロスターの発着ホームだけ高いフェンスで囲われているのが異様に見えた。このような便利さを一度体験すると、容易にもとへは戻れないだろう。欧州共通通貨ユーロも同じ状況を欧州に作り出している。EUは非常にハイレベルの、たとえば共通外交政策や、軍事組織の部分的共通化のようなことをめざして実践している

わけだが、ハイレベルのところだけであると、政治的枠組みの変化によって後戻りできてしまう。逆に、大学入学資格の共通化や、出入国自由化、共通通貨のように市民の日常生活に密着した領域で大きな変革をもたらしたために、不可逆的存在となつたと考えられる。ブリュッセルでは新設の欧州議会を訪問したが、居合わせた人々がロビーに並ぶ加盟国の国旗のなかにある自分の国の国旗を手で広げて記念写真撮る光景がなんともうらやましく、日本も中国や韓国との間にこのような関係を実現する時代が来るのだろうかと思いを感した。

子どもたちにわかりやすく「暦」を教える

小学校 宮下 浩

「今日は立春!暦の上では春です。」

と例年立春を迎えた日にテレビやラジオのアナウンサーが常套句のように話しているのを耳にします。「立春」を辞書で調べますと、

「二十四節気の一つ。太陽の黄経が三一五度に達する時を言い、太陽暦で二月四日頃(節分の翌日)。八十八夜・二百十日など

だが、ハ  
であると  
によって  
逆に、大  
、出入国  
うに市民  
領域で大  
ために、  
と考えら  
は新設の  
、居合わ  
ぶ加盟国  
分の国の  
写真を撮  
やましく  
の間にこ  
る時代が  
を感じた

こもた  
「暦」

白は立春

例年立春

ラジオの  
のように  
ます。「  
す」と、

二十四節  
三二五度  
暦で二月  
八十八



はこの日を起点に数える。旧暦の節切りではこの日が一年の始め。」と書いてあります。高学年の子どもたちならば、「うんうん、なるほどね。」

などと言うのでしょうか、「二十四節気」、「太陽暦 旧暦」などの言葉の意味については実際のところそれがよく分からないというのが大半だと思います。ましてや低学年児童にはなおさらです。

周知の通り、日本は明治六年以前、月と太陽のサイクルを合わせた暦「太陰太陽暦（旧暦・陰暦）」を採用していました。人々は暦を見てはその日のよしあしを知り、その先の農作業の行動基準や冠婚葬祭などの日取りを決定してきました。このように暦は人々の生活に必要不可欠なものでした。ところが明治六年から、政府は太陽暦（新暦・太陽暦）を採用しました。

この明治改暦は当時の人々に大変な驚きを与え、困惑を隠せない程の一大事だったに違いありません。それもそのはずで、明治五（一八七二）年十二月三日が、突然明治六（一八七三）年一月一日になってしまったのですから……

太陽暦への改暦は、当時の文明開化を推し進めていた日本国

にとつて当然の結果でした。しかし、この改暦は人々の生活の根源に関わる内容であっただけに便利さだけでは解決できないものがあつたようです。それでも新暦を採用したのは次の理由からでした。

①その頃、先進国と言われている国々が太陽暦を採用していたこと。

②国が財政難に陥つていたこと。

太陽暦は閏年が四年に一度あります。「地球が太陽を回る周期（一太陽年）は平均三六五・二四二二日を基準にした暦、」しかし旧暦（月のサイクルに合わせて暦の月を立てると一年が三五四日。季節と陰暦を一致させるために月と太陽のサイクル（一太陽年三六五日）とを合わせる暦、）では三年に一度閏年があつたのです。

ですから、その年を迎えた年は十三ヶ月分の月給を支払わなければならなかつたのです。その頃でも皇室、中央政府、各府県のひと月分の総金額は多額だつたはずで、それを三年ごとにひと月分多く支出していたのです。国の財政権の主体大蔵省（現財務省）にとつて、明治改暦はまさに渡りに船だつたに違いありません。特に採用時は、突然年が変わり、結果的にひと

月分の給料を浮かせてしまったのです。このように暦を調べるとおもしろい話が沢山出てきます。

暦は生活の上で無くてはならないもの。それを子どもたちにも楽しみながら知ってもらえる様さらに暦研究を進め、暦豆知識冊子・暦クイズを作り、もっと興味・関心を持たせたいと考えています。

### 身近な具体物を用いた算数教材の作成

小学校 横川さやか

1年生を持つ事になり、一番初めに考えたのは、楽しんで学習してほしいという事でした。そこで本研究では、算数に焦点を絞り、楽しんで学習する教材・授業を考え、実践しました。算数は答えがあるので正解不正解が分かりやすいものです。しかし、答えがあつていたからよくて、間違つていたからだめ、とはつきり分けるのではなく、考える過程を楽しみ、一つ一つの数の意味を考えてほしいと考えました。

ます。しかし、ただ数えることと、数として表している数を理解するということは違うと考えました。そこで蝶のマグネットやおはじきなどの具体物を使い、おはじきやタイルに置き換える、というステップを踏んで、一桁の数について学習させました。また、黒板での作業を時間の許す限り、出来るだけ子どもたちにもやらせてもらいました。黒板での作業は子ども達に大人気で、その結果、興味関心が黒板に向き、あきやすい基本的な部分を集中しながら学ばせました。

足し算、引き算のときは蝶や花を半具体物であるタイルに置き換え、計算の意味を考えさせました。タイルで5のまとまりをつくり、それを5のまとまりと1、学習が進むとそれに10のまとまりが加えられて、その塊を基本に数や計算を考えました。数の考え方は、5のまとまりを、5のかんづめ、とよび、できるだけ5のかんづめを使って数を作らせました。5と5があつると10のかんづめに変身し、10の部屋にお引越（繰り上がり）、というように、子ども達が楽しんで使えるように変身・お引越しという言葉を使いました。

たとえば、繰り上がりの足し

算は次のように考えます。  
9+4などの⑤が1つしかない足し算については、どの部分を⑩（10のかんづめ）か⑤に変身させられるか考える。9と1（4をばらしたもので⑩をつくる。3がある。8+6などの⑤がそれぞれに入っている足し算については、⑤と⑤+⑤と4）⑤と⑤が⑩に変身（お引越し）3+4で7、合わせて17となる。

このように、徹底してタイルを計算に使いました。また、計算の仕方や、数の構成などをチーム対抗やポイント勝負など、ゲームと名のつくものにする事で、楽しみながら取り組むことができました。1年生にどの教科が好きか、と聞くと、体育・美術・音楽・こみちのあとにやると算数、国語がでています。当たり前なことなのですが、いつか算数が上位に食い込めるように、授業を考え続けていきたいと考えております。

### 児童の興味・関心に即した学習教材の開発・研究

小学校 内田 奏

中学年で学習内容が難しくなると、塾へ通う子どもが

次のように  
+4など  
し算につ  
（10のか  
せられる  
ばらした  
3があ  
⑤がそれ  
昇につい  
（4）⑤  
お引越し）  
1となる。  
のように  
昇に使い  
江方や、  
対抗やポ  
と名のつ  
楽しみな  
しました。  
好きか、  
・音楽・  
算数、国  
り前なこ  
算数が上  
授業を  
写してお

### 二の興味・関心に即した学習教材

千年で学

増加してきます。ほとんどの子どもが塾へ通うと「知っている！」と学習への興味を持続できません。また、塾に通うことで読解問題や計算問題を解く力は養われますが、それで力が身に付いたと考えられがちになっ  
てしまいます。しかし、文章や詩を鑑賞したり、計算方法や公式の意味を考えたりする時間を短縮して反復練習的に技術を習熟させるだけでは、知識や技能の価値が半減してしまい、それらの力を応用的に活用する高学年へつながらないのではないかと考えてきました。ですから、学校ではそれらを大切にすることで「言葉や数の意味をじっくり理解して後に適切に活用できる力」を養いたいと考えて指導してきました。以下に簡単に授業実践を報告します。

いました。指導前に書いたある子どもの作品「遊園地」とても楽しい「所だよ」と指導後の「バツタがね 川にうつた草をとぶ」を比較してみると子どもが言葉を楽しめるようになってきた様子が伝わってきました。作品の知識だけでなく、俳句をじっくり鑑賞し、味わっていく中で言葉の吟味の仕方と用い方を一つ学んだのだと思います。

算数では四則計算学習の際、計算の意味を理解させるために①「具体物を使つての指導」↓②「タイル操作をしての指導」↓③「図式化」↓④「反復的な計算問題」の過程を大切にしました。たとえばかけ算では、①中身の見えない袋の中のキャラクターの数を当てるためには、「1あたりの数」（一箱当たり何個キャラクターが入っているか？）と「いくつ分」（キャラクターの箱は何箱あるか？）を知ればよい、という導入からかけ算の意味を教えました。次に②その具体物をタイルに変えて、お皿などに分け入れる活動を行いました。具体物と数字の結びつきが弱い子どもにタイル指導は有効です。次に③「1あたりの数」と「いくつ分」を図式化して、そこから答えを求める方法とか

け算九九の有効性を指導しました。そして、最後に④反復練習や作問作りで計算力の定着を図りました。これらの授業で先行学習をしている子どもたちも授業に最後まで集中して取り組むことができました。

実践を振り返ると、子どもたちがとても楽しそうに授業に取り組んでいくことが印象的です。言葉を味わったり、計算の意味を考えたりする授業活動が、子どもたちの興味・関心を喚起したのだと感じました。これから子ども達が興味・関心を持つて、その表現や意味を理解できるように実践を追求していきたいと思っています。

### 気持ちを言葉にする方法をさぐる

小学校 川口真奈加

同じクラスメイトと二年目を過ごし始めた時、気が知れている友達同士だからなのか、4年生という年齢からなのか、子どもたちが言葉で気持ちを伝えなくなったように感じました。「ありがとう。」「ごめんね」「大丈夫？」といった言葉がその例です。近くで何度もセキをしている子がいても声をかけずにいるのです。「心配でないの？」

と近くにいる子どもに声をかけてみると、「大丈夫かな？と心の中では心配したよ」という言葉が返ってきました。そのような子どもたちの様子を何度かみて、わざわざ言葉にしなくても良い、という気持ちがあるのではないかと思うようになりました。そして、言葉にすることの大切さを知ってほしいと思うようになりました。

短い文章の中にも大切な言葉が多く含まれている絵本の読み聞かせから試みました。子どもたちの中には、絵本は小さい子が読むものだという印象を持っている子どももいたので、始めのうちには道徳的な絵本ではなく、子どもたちが懐かしいと思うような絵本をたくさん読んで楽しめるようにしました。短い時間で読んであげられる絵本は、子どもからリクエストがあつたときにすぐ読める点で効果的でした。絵本に親しみをもつてから、内容の濃い絵本を読んで、感想を発表し合いました。本の中の出来事として済ませず、自分の立場・身近なこととして考えてほしいという願いもありました。絵本だけではなく、相田みつをさんの詩も多く紹介しました。子どもたちがストレートなので、子どもたちにとつても考えやすい

と思つたので選びました。また、クラス作りとして、学級遊びを多く行ったり、キーボードを使って歌ったりリズム遊びを楽しみました。写真を撮つて友達と仲よしの姿をみせることもしました。友だちと遊んでいるときの自分の笑顔を見せたかったからです。写真は、自分の笑顔と友だちの笑顔を見ることができません。その友だちが悲しい思いをしていたら、どうにかしたくなりそうです。そのようなクラスの雰囲気の子どもの何気ない会話を増やしていったように思います。

友だちに優しくした方が良い、困っている人がいたら声をかけてあげたほうが良い、子どもたちはちゃんと知っています。足りなかつたことは、子どもたちの行動を私や友だちが賞賛すること、学級作りでした。良い行いであつたことを確認しあうことで行動として身につきます。そして、楽しい・幸せ・嬉しい・悲しい・ひどい・さまざまなき感情を実感させてあげることが大切です。言葉を言わせることに意味があるのではなく、自然と言える雰囲気作りが大事であつたことに気がつきました。

つたのでス作りと行つたり歌つたりした。写しをの姿を友だちの笑顔す。写真ちの笑顔。その友だちが悲しい思いをしていたら、どうにかしたくなりそうです。そのようなクラスの雰囲気の子どもの何気ない会話を増やしていったように思います。

だちに優っている人がいたらかけてあげたほうが良い、子どもたちはちゃんと知っています。足りなかつたことは、子どもたちの行動を私や友だちが賞賛すること、学級作りであつたことで行動として身につきます。そして、楽しい・悲しい・嬉しい・悲しい・ひどい・さまざまなき感情を実感させてあげることが大切です。意味がある言葉の雰囲気作りが大事であつたことに

# 成蹊会の母校支援事業にご協力を

本会は成蹊学園創立(1912年)以来の卒業生団体であり、昭和30年社団(公益)法人となり、それ以来下記のとおり、母校の学生・教員への支援を事業として行っております。何卒ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 1. 育英奨学事業 (基金 22,212万円・19年度実施額 1,788万円)

昭和31年以降、育英奨学金制度を設け、成蹊大学生・高校生を対象に毎年奨学金を貸与しております。社会の要請に対応したより良い奨学金制度を目指しながら、この事業の拡充に努めております。現在の貸与額は大学生は年額60万円、高校生は年額48万円です。平成19年度は高校生1名、大学生26名、大学院生3名に貸与しました。

## 2. 学術・教育助成事業 (基金 4,945万円・19年度実施額 340万円)

昭和49年以降、学術・教育助成制度を設け、小学・中学・高校・大学の教員に研究助成金を、小学校に教育振興助成金を贈呈しております。また、平成2年度より成蹊会学術賞を設け、学術研究上顕著な業績をおさめた成蹊大学の教員に対して賞状と副賞(賞金)を贈呈しております。

## 3. 国際交流事業 (基金 2,723万円・19年度実施額 90万円)

昭和50年以降、国際交流基金を設け、成蹊高校と米国・濠州の高校との交換留学生交流諸費に充てております。日本の国際的地位の向上とともに、真に国際的に通用する人物の育成に寄与したいと考えております。

## 4. スポーツ振興事業 (基金 2,691万円・19年度実施額 178万円)

平成2年度よりスポーツ振興基金を設け、小学・中学・高校の体育施設やクラブ活動の充実と大学体育会所属団体の支援のため助成金を贈呈しております。また、優秀な成績をあげた成蹊学園のスポーツ団体及び個人に後援金を贈呈しております。

## 5. 文化振興事業 (基金 3,946万円・19年度実施額 593万円)

平成12年度に旧「谷岡基金」の全額を移して文化振興基金を設け、成蹊学園の支援を得ての「成蹊桜祭」の実施及び大学の櫻祭、中・高校の蹊祭、大学の文化団体に後援金を贈呈しております。

### ○各事業の助成実績

単位：万円

	育英奨学事業	学術・教育助成事業	国際交流事業	スポーツ振興事業	文化振興事業	合計
13年度以前	21,951	6,585	1,485	1,395	932	32,348
14年度	1,860	280	90	156	430	2,816
15年度	1,788	340	90	159	443	2,820
16年度	1,788	290	90	171	458	2,797
17年度	1,440	340	90	*557	486	2,913
18年度	1,776	290	90	171	515	2,842
19年度	1,788	340	90	178	593	2,989
合計	32,391	8,465	2,025	2,787	3,857	49,525

\* 高校ラグビー部全国大会出場支援募金額385万円を含む

上記の各事業はご寄付及び基金から生じる運用収益金により賄われております。

これらの事業の健全な発展のため、卒業生・ご父兄並びに関係法人のご高配を切にお願い申し上げます。

- 上記基金のうちいずれかをご選択(各基金1口1万円以上)指定いただければ当該基金に繰入れさせていただきます。
- 巻末の払込用紙(ご寄付金用)をご利用下さい。
- ご寄付金に対する税法上の優遇措置はございませんのでご了承下さい。
- 本件につきましてのおたずねは成蹊会で承ります。

〒180-8633 武蔵野市吉祥寺北町3-3-1 電話 0422-51-2244

社団法人 成蹊会

● 上記基金のうちいずれかをご選択(各基金1口1万円以上)指定いただければ当該基金に繰入れさせていただきます。

● 巻末の払込用紙(ご寄付金用)をご利用下さい。



# 平成19年度 寄付金芳名録

◇ ご寄付金を寄せられた個人・団体・法人の皆様に厚く御礼申し上げます。◇  
(敬称略)

**寄付金総額 1,132,718円** (平成19年4月1日～20年3月31日)

◇基金別寄付金明細 (個人26名・6団体・1法人)

**育英奨学基金 183,000円 (7名)**

10万円 山本 孝一(経 19)

3万円 河目 堯介(旧高20)

2万円 宮崎 淳(法 13)

1万円 加藤 礎子(文 2) 竹内カヨ子(政経14) 匿名

1万円以下 植地 浩志(経 11)

**学術・教育助成基金 70,000円 (3名・1団体)**

3万円 蹊流一二会

2万円 飯口 威一(工 18)

1万円 竹内カヨ子(政経14) 匿名

**国際交流基金 25,000円 (3名)**

1万円 鈴木 直志(工 35) 匿名

1万円以下 二木 良大(高 17)

**スポーツ振興基金 50,000円 (4名)**

2万円 松浦 隆三(政経16)

1万円 佐方 節子(法 1) 高村 暎子(在校生) 匿名

**文化振興基金 20,000円 (2名)**

1万円 谷原 裕美(文 31) 匿名

**一般寄付 784,718円 (個人7名・5団体・1法人)**

一蹊会 15,000円

一世印刷(株) 100,000円

故稲生大輔(法 32) 3,000円

梅村 秀齡(法 7) 10,000円

蹊声会 20,000円

成蹊高等学校第57回卒業生を祝う会 16,627円

成蹊高等学校卒業40周年記念同窓会 150,000円

大学卒業30周年記念同窓会 84,091円

高橋 章建(法 16) 50,000円

故長谷川久美(文 2) 3,000円

堀内 雅子(女 9) 3,000円

水島 孝(旧 21) 300,000円

横山美智子(女 20) 30,000円

大学卒業30周年記念同窓会 84,091円

高橋 章建(法 16) 50,000円

## 1. 一般事業

### (1) 同窓会活動

#### ①同窓会支援

##### ア) 周年同窓会の開催

周年同窓会は本年度、次のとおり開催され、その開催に向け同窓生と連携して企画・運営の支援を行った。

(注) 大学卒業10周年同窓会 (H20.3.15) 高校卒業10周年同窓会 (H19.11.10)

大学卒業20周年同窓会 (H19.11.17) 高校卒業20周年同窓会 (H19.6.23)

大学卒業30周年同窓会 (H19.5.12) 高校卒業30周年同窓会 (H19.9.1)

高校卒業40周年同窓会 (H19.12.1)

(注) 大学卒業10周年同窓会はホームカミングとして、成蹊学園が主催し同窓生を招待している。開催に向けては、同窓生と成蹊会で企画・運営を行っている。

##### イ) 地域同窓会の支援

本年度は、21の地域成蹊会で総会等が開催され、会長をはじめ役員が参加し、成蹊会・成蹊学園の現況について報告し、相互コミュニケーションを深めた。

#### ②催事

ア) 本年度の第47回成蹊会謝恩顕彰は、通常総会第Ⅲ部懇親会において実施した。対象の方は8名で、うち5名の方の出席を賜った。

(注) 成蹊会謝恩顕彰は、成蹊学園の教職員として30年以上勤務、  
定年退職、今年満70歳の特別会員が対象

イ) 創業者中村春二先生を偲ぶ枯林忌は成蹊学園と成蹊会の共催で、2月16日(毎年命日である2月21日の直前の土曜日に実施)に春二先生のご遺族と85名の同窓生・教職員が参加して、巣鴨の染井霊園での墓参りと三菱養和会会議室での追悼会が行われた。(来年は2月21日(土)に実施)

#### ③広報活動

会員に成蹊会・成蹊学園の現況を伝えるため、成蹊会誌105号、106号を発刊するとともに、成蹊会ホームページをリニューアルし情報発信・行事周知に努めた。また、本年も引き続き、成蹊学園の現況理解を進めるため広報誌「成蹊学園」の発刊時に同窓生住所を学園に提供し送付に協力した。

#### ④会費納入促進

例年通り、総会案内に会費納入用紙を同封して、依頼状を発送し、年末には、H18年度会費納入者で、この時点でのH19年度分未納者と周年行事等での住所判明者に依頼状を送付。そして、これまでになく督促に努めた結果、会費納入額は昨年を209万円上回る2,949万円となり、平成19年度中の納入者は9,339名と昨年より544名増加した。

### (2) 成蹊学園との連携

#### ①成蹊学園理事会・評議員会への出席

成蹊学園の理事会・評議員会に出席し、会長をはじめ成蹊会推薦の役員が必要と思われる事項について、学園と積極的な意見交換・意見提起を行った。

#### ②成蹊学園創立100周年記念事業募金への協力

成蹊学園が行っている100周年記念事業募金には、本年度も募金委員会、募金実行委員会等で学園の活動に協力するとともに、多くの同窓生が募金推進委員となり、募金推進の集い等に参加し意識を高め募金推進に努めた。

#### ③学園行事への参加

ア) 各学校の卒業式、入学式には会長をはじめ成蹊会推薦の理事が参列し、大学の卒業式と入学式においては会長が祝辞を述べた。

イ) 成蹊学園が年4回行う地域清掃活動には事務局中心で参加・協力した。

ウ) 成蹊音楽祭、建学の日行事には、同窓生に呼びかけ、多くの参加を得て、行事を盛り上げることに貢献した。

エ) 成蹊学園が行う地域懇談会(仙台、名古屋)の開催にあたっては、同窓生の参加を促すため、当該地域成蹊会と連携して動員に努めた。

ア) 各学校の卒業式、入学式には会長をはじめ成蹊会推薦の理事が参列し、大学の卒業式と入学式においては会長が祝辞を述べた。

イ) 成蹊学園が年4回行う地域清掃活動には事務局中心で参加・協力した。

### (3) 会議等

#### ①第52回通常総会

平成19年6月30日（土）に成蹊学園本館大講堂で、930名が出席（うち、出席者137名、委任状提出者793名）して行われた。

平成18年度事業報告・決算報告、平成19年度事業計画・収支予算案、及び任期満了に伴う評議員の改選、成蹊会同窓会規程の一部改正の件が付議され、いずれも原案どおり承認された。

また、総会終了後に開催された、評議員会で理事の選出が行われ、選出された理事による理事会で、会長に相川一成氏、常務理事に田上尚道氏が選ばれた。

#### ②評議員会・理事会

評議員会は3回、理事会は6回、理事懇談会は1回開催された。特記事項は平成19年7月の第170回理事会で、会長の諮問機関として「活動検討プロジェクト委員会」の発足が承認され、平成21年度から始まる卒業生の10年分会費一括納入による予算規模拡大に伴う成蹊会活動について検討することとなったことである。答申は平成20年12月までに行われる。

以上の結果、一般事業費は20,593千円（予算比1,386千円減）であった。

## 2. 公益事業

### (1) 育英奨学事業

本年度は新規の貸与者8名を含め、30名に奨学金を貸与した。貸与総額は1,788万円である。内訳は、高校生1名、大学生26名、大学院生3名である。返済は1,288万円であり、差引5百万円貸与額が増加した。

H19年度末貸与金残高 96,559千円

H19年度末基金残高 222,126千円

### (2) 学術教育助成事業

本年度は学術・教育研究助成金として大学2件、中・高校6件、小学校4件に250万円助成した。具体的内容は下表のとおり。学術・教育振興助成金として、小学校の教育誌「すもも」の発行費用の一部として40万円を助成した。また、本年は成蹊会学術賞の実施年であり、宮脇俊文経済学部教授、高桑昭法務研究科教授に各25万円を贈呈した。

H19年度助成額 3,400千円 H19年度末基金残高 49,456千円

職名	氏名	専攻	研究種別	研究課題	助成額(万円)
大学教授(法)	湯山トミ子	中国語・中国文化	個人研究	大学における中国語教養教育の改善と展開 —基礎力活用による中国語人材育成の為の教育方法の研究	25
大学教授(法務)	萩澤達彦	民事訴訟法	同上	仲裁合意の成立と効力についての研究	25
中学・高校教諭	荒井靖志	生物学	同上	駿河湾沿岸域における環形動物門多毛綱シバサゴカイ科 Mesochaetopterus sp. 1の生息状況と他地域個体集団との比較	20
同上	石塚小太郎	生物学	同上	日本列島における動物地理的分布境界線の研究	20
同上	伊藤靖彦	数学	同上	数学教育における木構造を応用した教材およびソフトウェア開発	20
同上	富塚英和	英語	同上	視聴覚教材を使用した「聞く」「話す」英語の授業	20
同上	宮下敦	地学	同上	関東山地高度変成岩類の同位体年代について	20
同上	和田一誠	地理	同上	超国家的統合組織・機構の現段階	20
小学校教諭	宮下浩	小学全科	同上	子どもたちにわかりやすく「暦」を教える	20
同上	横川さやか	小学全科	同上	身近な具体物を用いた算数教材の作成	20
同上	内田奏	小学全科	同上	児童の興味・関心に即した学習教材の開発・研究	20
同上	川口真奈加	小学全科	同上	気持ちを言葉にする方法をさぐる	20

同上	和田一誠	地理	同上	超国家的統合組織・機構の現段階	20
小学校教諭	宮下浩	小学全科	同上	子どもたちにわかりやすく「暦」を教える	20



(3) 国際交流事業

本年度もオーストラリア・カウラ高校との交換留学生の諸費用の支援として90万円を助成した。

H19年度助成額 900千円 H19年度末基金残高 27,238千円

(4) スポーツ振興事業

スポーツ振興助成金として、本年度は大学体育会所属10団体に75万円を、中・高校に30万円、小学校に15万円を助成した。

スポーツ振興奨励金として、例年どおり学内陸上競技大会と学内レガッタに合計15万円、テニス部に5万円助成した。また、全国大会レベルの試合に出場した優秀団体・個人4団体・6名に合計53万円の奨励金を贈呈した。体育会総会での表彰用の盾等を例年通り寄贈した。

H19年度助成額 1,781千円 H19年度末基金残高 26,914千円

(5) 文化振興事業

本年度も文化振興助成金として、大学の櫛祭、中・高校の蹊祭及び文化会本部に各15万円、新聞会に5万円を助成した。

毎年4月の第一日曜日に実施している成蹊桜祭を本年は4月1日に実施した。本年も成蹊学園から300万円の支援を受け、桜祭委員会の周到な準備と現役学生の協力により、多くの同窓生、教職員、現役学生、地域の方々が桜満開の学園での様々なイベントを楽しんだ。(平成21年は4月5日に実施)

H19年度助成額 5,933千円(学園からの支援金3,000千円を含む)  
H19年度末基金残高 39,464千円

以上の結果、公益事業費は29,895千円(予算比495千円増)であった。

3. 成蹊クラブ

本年の成蹊クラブは、固定利用者の利用頻度の拡大、定期利用の増加等により、収入が増加したことから、399,992円の利益金を計上した。正味財産は△362,327円である。

以上

■同窓会役員

同窓会	会長	副会長	幹事長	副幹事長
池袋 (実務・中学・専門)	相川一成 (事務取扱)			
* 小学校	根岸孝昌 (41)	各務省平 (38) 永井素夫 (50)	水田照 (52)	増田雅代 (50)
やよい会 (女学校)	島田喜久 (17)	和田美代子 (23)		
高等学校 (旧制)	岩崎洋一郎 (23)	赤石定次 (23) 関野和夫 (23) 宮崎俊吉 (23)	久保盛唯 (24)	
中学・高等学校	相賀昌宏 (20)	篠原周平 (2) 上原 明 (11) 岩田矢弓 (14) 大場和子 (16) 跡部清 (31)	上田祥士 (23)	井田博通 (28) 千葉英治 (32)
大学 (政治経済学部)	吉野雅晴 (8)	白井年胤 (5) 中西秀郎 (6) 藤田 晃 (7) 新島 健 (11) 井上敬次郎 (13) 飯田又右衛門 (15) 山根祥利 (15)	別所聰平 (17)	角原勲 (17)
大学 (プレメ進学課程)	磯部 茂 (6)	木下一郎 (6) 山内則子 (6)	中村喜典 (3)	
大学 (経済学部)	岩壁真澄 (5)	加藤哲夫 (6) 塩田暢毅 (6) 永井勝巳 (6) 伊藤昌弘 (10) 清水智仁 (18)	大山卓治 (12)	米倉豊比古 (4) 満藤庸也 (7) 赤石益輝 (16) 岩岡正哲 (23) 清水和久 (24) 永野成一郎 (27)
大学 (工学部)	齋藤光行 (4)	小尾幹男 (3) 大谷久行 (8) 島田寿正 (11) 瀬沼宏章 (12) 安達 功 (28)	岡本秀輔 (24)	高橋道哉 (11)
大学 (文学部)	高山知也 (8)	澤井明子 (7) 千代延町子 (8)	布川純子 (9)	丸居里枝 (7)
大学 (法学部)	高橋龍一 (6)	鈴木茂之 (8) 武藤正司 (8) 毛利任宏 (11)	野澤幸弘 (13)	小石原耕作 (6) 前田周一郎 (7) 多羅尾智子 (8) 石川 尚 (14) 高橋章建 (16) 山須晋也 (17) 小原克彦 (20) 山田俊明 (22)
法科大学院	眞鍋淳也 (1)	皆川克正 (1)		

\* 今回組織変更のあった同窓会

		安達 功 (28)		
大学 (文学部)	高山知也 (8)	澤井明子 (7) 千代延町子 (8)	布川純子 (9)	丸居里枝 (7)

# 成蹊会活動報告

〔自平成19年11月1日  
至平成20年4月30日〕

## 一、会議

### ■理事会

第172回理事会(20・1・29)

(1) 成蹊学園評議員選任の件

(2) 成蹊学園理事候補者選任の件

(3) 平成20年度事業計画及び予算(案)の件

(4) 社団法人成蹊会同窓会規程の一部改正の件

(5) 徳島成蹊会の設立の件

第173回理事会(20・3・19)

(1) 平成20年度事業計画・予算(案)の件

(2) 第48回成蹊会謝恩顕彰の実施(案)の件

(3) 第53回成蹊会通常総会開催(案)の件

### ■特別委員会等

総務企画委員会(19・11・22/12・17/20・1・18/2・28/4・9)

財務委員会(20・1・17)

育英奨学委員会(20・4・24)

学術・教育助成委員会(19・12・7/20・4・24)

広報委員会(20・1・24/4・7)

桜祭委員会(19・11・6/12・4/20・1・15/2・19/3・8/3・11/4・21)

推薦委員会(19・12・13)

活動検討プロジェクト委員会(19・11・13/12・11/20・1・8/2・5/3・4/3・25/4・15)

### ■同窓会委員会

小学校同窓会委員会(19・12・5/20・4・6)

高校(旧制)同窓会委員会(20・4・23)

中・高同窓会委員会(19・11・16/20・3・12)

政治経済学部委員会(20・2・12)

プレメ同窓会委員会(19・12・26)

プレメ同窓会総会(20・4・27)

工学部同窓会委員会(20・2・26)

工学部同窓会総会(19・11・25)

文学部同窓会委員会(20・2・21)

経済学部同窓会委員会(20・2・7/3・13/4・24)

法学部同窓会委員会(20・3・24)

法科大学院同窓会新年次委員会(19・11・19)

大学4学部同窓会幹事長会(19・12・20)

大学新卒年次委員会(20・3・17)

### ■周年行事

高校卒業10周年同窓会(19・11・10)

大学卒業20周年同窓会(19・11・17)

高校卒業40周年同窓会(19・12・1)

大学卒業10周年同窓会(20・3・15)

高校卒業50周年同窓会(20・4・6)

### ■支部・地域成蹊会

埼玉成蹊会(19・11・2)

秋田成蹊会(19・11・9)

長野成蹊会(19・11・10)

岐阜成蹊会(19・11・17)

長崎成蹊会(19・11・17)

三重成蹊会(19・11・29)

徳島成蹊会(19・11・30)

上海成蹊会(20・1・21)

渋谷成蹊会(20・2・8)

北海道支部「枯林忌の集い」(20・2・21)

八王子成蹊会(20・3・29)

兵庫成蹊会(20・4・12)

讃岐成蹊会(20・4・12)

## 二、その他

育英奨学金返還説明会(19・12・19)

成蹊会誌106号(20・1・1)

第85回枯林忌追悼会(20・2・16)

第31回成蹊桜祭(20・4・6)

平成20年7月1日 発行所 社団法人 成蹊会 発行人 相川 一成  
企画・編集 成蹊会広報委員会・成蹊会事務局 印刷・製本 株式会社 光邦  
〒180-8633 武蔵野市吉祥寺北町3-3-1 電話 0422-51-2244 FAX 0422-54-6766  
メールアドレス seikeikai@jim.seikei.ac.jp ホームページ http://alumnnet.ne.jp/

# 成蹊会の事業活動は あなたの会費に支えられています



成蹊会は同窓会事業とともに、母校の発展に寄与すべくさまざまな公益事業を行っております。公益事業費は昭和31年に育英奨学事業を開始して以来、事業総額約4億9千5百万円の多きに達しております。これもひとえに会員の皆様の多大なご協力の賜物であります。

しかしながら、これら同窓会事業・公益事業の主要財源である年会費のここ数年の納入状況は、会員数は毎年約3%増加していますが、納入者数・納入率とも減少し憂慮すべき状況にあります。

成蹊会の事業活動の維持発展のため、年会費のご納入になにとぞご協力を賜わりたくお願い申し上げます。

**年会費のご納入をご案内する方には、払込人住所・氏名・金額を印刷した払込用紙を同封させていただいております。**

年会費のご納入はつぎの3つの方法からご都合に合せお選び下さい。  
預金口座振替制度（詳細次頁）を是非ご利用下さい。

年会費ご納入方法	ご納入額	
①預金口座振替	3,000円（1年分）	
②成蹊会DCカード	5,600円（2年分）	成蹊会年会費400円割引。カードご利用額の一部が成蹊会に還元され、事業に活用。お申し込みは成蹊会まで。
③振込用紙	3,000円（1年分）	郵便局に加え、コンビニエンスストアを利用しての振込みが可能です。

## 住所変更された方は成蹊会へお知らせください

現在会員数約79,600名のうち約18,600名（23%）の方が住所不明となっております。

判型も大きくなり、内容の充実は勿論のこと情報量もますます豊富になりました『成蹊会誌』を一人でも多くの会費納入者にお届けするため、また、周年行事など人的交流の広がり等のお役に立てていただくためには、住所・電話番号・姓名等の情報が正確であることが不可欠です。

お届けいただいている内容に変更があった方は必ず成蹊会にお知らせ下さい。（お知り合いの方が住所不明となっておられましたら、ご本人にご連絡をいただくとともに成蹊会へもご一報下さい。）

成蹊会ホームページに住所・勤務先等変更届けがあります。

<http://alumnet.ne.jp/>

\*電話 0422-51-2244 FAX 0422-54-6766 でも受け付けます。

お届けいただいている内容に変更があった方は必ず成蹊会にお知らせ下さい。（お知り合いの方が住所不明となっておられましたら、ご本人にご連絡をいただくとともに成蹊会へもご一報



# 年会費の預金口座振替のお願い



成蹊会年会費のご納入につきましては、預金口座振替にてお支払いいただけます。これは年会費を所定日に、ご指定の金融機関の口座から、自動引落しによりお払込みいただくもので、皆様にお手数をお掛けしない便利なものです。是非ご利用下さいますようお願いいたします。

## 預金口座振替のあらまし

### 1. お手続きの方法

(1) 本誌終面の「預金口座振替依頼書」の太枠の中に所要事項（会員名、会員番号〈宛名用紙右端の下6ケタの番号〉、預金者名、金融機関名、支店名、口座番号）をご記入いただき、金融機関届出印をご捺印の上、成蹊会までご返送ください。（捺印もお願いいたします。）

(2) ご利用いただける金融機関は、つぎのほぼ全金融機関です。

- 全国都市銀行
- 全国労働金庫
- 全国地方銀行
- 全国農業協同組合
- 全国信託銀行
- 全国信用組合（一部提携外の組合有り）
- 全国第二地方銀行
- ゆうちょ銀行
- 全国信用金庫

### 2. 預金口座振替の方法

(1) 振替方法 お届けの「預金口座振替依頼書」により、ご指定の預金口座から年会費を自動引落しさせていただきます。

(2) 振替金額 3,000円（1年分——平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

口座振替日	振替依頼書受付日	1回目振替日	2回目以降振替日
	1月16日～6月15日	7月27日	
	6月16日～8月15日	9月27日	毎年7月27日
	8月16日～1月15日	2月27日	

● 予め振替日と振替金額をお知らせしますので、口座振替日の前日までにご指定の口座にご入金くださいますようお願いいたします。

(4) 預金通帳の表示 通帳等には「DF・セイケイカイカイヒ」と印字されます。（「三菱UFJファクター」は当会が委託している三菱東京UFJ銀行グループの収納代行会社です。）

「預金口座振替」或いは「預金口座振替依頼書」記入その他何かご不明な点などございましたら、成蹊会（TEL 0422-51-2244 FAX 0422-54-6766）迄ご連絡下さい。

(4) 預金通帳の表示 通帳等には「DF・セイケイカイカイヒ」と印字されます。（「三菱UFJファクター」は当会が委託している三菱東京UFJ銀行

## 第53回通常総会のご案内

日時：平成20年6月21日（土）  
午前11時受付～午後3時

会場：成蹊学園講堂／大学10号館12階ホール

行事：第一部 成蹊会通常総会  
第二部 講演 黒川 清氏  
成蹊高等学校 卒業 内閣特別顧問  
第三部 懇親パーティー  
(含 第48回成蹊会謝恩顕彰)

## 経済学部創立40周年 記念行事のご案内

日時：平成20年11月15日（土）  
午後1時からを予定

会場：大学4号館／学園内施設

行事：第一部 講演  
第二部 懇親パーティー

## 法学部創立40周年 記念行事のご案内

日時：平成20年11月22日（土）  
午後からを予定

会場：大学8号館／学園内施設

行事：第一部 講演  
第二部 懇親パーティー